

第三十九條 前條ノ規定ニ依ル實施權者ハ特許權者又ハ意匠權者ニ對シ相當ノ補償金ヲ支拂フヘシ  
補償金額ハ前條ノ評定ニ於テ之ヲ評決ス

第三十一條第四項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル實施權者ニ付之ヲ準用ス

第四十條 第三十八條ノ規定ニ依ル實施權ハ其ノ特許權ニ附隨ス

特許發明ノ實施權ニシテ前項ノ實施權ニ非サルモノハ其ノ事業ト共ニスル場合又ハ特許權者ノ承諾アル場合ニ於テハ之ヲ移轉スルコトヲ得

第四十一條 特許發明ノ實施權ノ設定、移轉、消滅、變更若ハ處分ノ制限又ハ實施權ヲ目的トスル質權ノ設定、移轉、消滅、變更若ハ處分ノ制限ハ登録ヲ受クルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第四十二條 特許發明ノ實施權ハ其ノ特許權ヲ爾後取得シタル者及之ヲ目的トスル爾後設定ノ質權ヲ有スル者ニモ對抗スルコトヲ得

第十八條、第三十一條及第三十八條ノ規定ニ依ル實施權ハ其ノ登録前設定ノ質權ヲ有スル者ニ對シテモ對抗スルコトヲ得

第四十三條 質權ハ本法ニ依リ受クヘキ補償金其ノ他特許權ノ對價又ハ特許發明ノ實施ニ對シテ受クヘキ金錢若ハ金錢以外ノモノニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但シ其ノ拂渡又ハ引渡前ニ差押ヲ爲スコトヲ要ス

第四十四條 特許權者ハ左ノ各號ノ一ニ掲クル事項ヲ目的トスル場合ニ於テハ其ノ特許發明ノ明細書又ハ圖面ノ訂正ノ許可ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

一 特許請求範圍ノ減縮

二 誤記ノ訂正

三 不明瞭ナル記載ノ釋明

特許權者ハ二以上ノ發明ヲ一特許出願ニ包含セシメタル場合ニ於テハ各發明毎ニ各別ノ特許權ト爲スノ許可ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

第一項第一號ノ場合ニ於テハ其ノ殘部、前項ノ場合ニ於テハ其ノ各發明カ特許出願ノ際獨立シテ新規ノ發明ナルコトヲ要ス

第四十五條 前條ノ場合ニ於テハ特許請求範圍ノ實質ヲ擴張シ又ハ變更スルコトヲ得ス

第四十六條 第四十四條ノ許可ノ評決確定シタルトキハ特許ノ登録ノ時ニ遡リテ其ノ效力ヲ生ス

第四十七條 特許權者ハ質權者又ハ第十五條第二項若ハ第三十七條ノ規定ニ依ル實施權者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ特許權ヲ拋棄シ又ハ第四十四條ノ規定ニ依ル許可ノ評定ヲ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第四十八條 特許カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ利害關係人ハ特許ノ無効ノ評定ヲ請求スルコトヲ得  
一 特許カ第一條、第二條、第七條又ハ第八條ノ規定ニ違反シテ與ヘラレタルトキ

- 二 特許カ特許請求權ヲ有セサル者ニ對シテ與ヘラレタルトキ
  - 三 願書ニ表示シタル發明者眞正ナラサリシトキ
  - 四 特許發明ノ明細書又ハ圖面ニ其ノ實施ニ必要ナル事項ヲ記載セス又ハ其ノ實施ヲ不能若ハ困難ナラシムル爲必要ナラサル事項ヲ記載シタルトキ
  - 五 特許カ第二十二條第二項ノ勅令ニ違反シテ與ヘラレタルトキ又ハ之ニ違反スルニ至リタルトキ
  - 六 特許カ第二十三條ノ條約若ハ之ニ準スヘキモノニ違反シテ與ヘラレタル場合又ハ違反スルニ至リタル場合ニ於テ其ノ違反カ第一號乃至第四號ニ掲クルモノニ準スヘキモノナルトキ
- 第四十四條ノ許可カ同條第三項又ハ第四十五條ノ規定ニ違反シタルトキハ利害關係人ハ許可ノ無効ノ評定ヲ請求スルコトヲ得
- 特許又ハ第四十四條ノ許可カ前二項ノ規定ニ該當スルトキハ特許權消滅後ト雖其ノ無効ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

特許ノ無効ノ評定ノ請求ハ審査官ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得但シ第一項第二號ニ該當シ又ハ第七條若ハ第八條ノ規定ニ違反ストノ理由ニ依ル評定ノ請求ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 特許カ無効ト爲リタルトキハ特許權ハ初ヨリ存在セサリシモノト看做ス但シ特許カ第二十三條ノ條約若ハ之ニ準スヘキモノ又ハ第二十二條第二項ノ勅令ニ違反スルニ至リタルニ因リ無効ト爲

リタルトキハ其ノ違反ノ時ヨリ存在セサリシモノト看做ス

第四十四條ノ許可カ無効ト爲リタルトキハ初ヨリ許可ナカリシモノト看做ス

特許ノ取消又ハ第二十條第二項若ハ第三十二條ノ規定ニ依ル實施權ノ取消アリタルトキハ特許權又ハ實施權ハ其ノ登録ノ時ヨリ效力ヲ失フ

第五十條 利害關係人ハ特許範圍確定ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

特許範圍確定ノ評定ハ特許權消滅後ト雖之ヲ請求スルコトヲ得

第五十一條 特許範圍確定シタルトキハ特許權ハ初ヨリ其ノ範圍ヲ有シタルモノト看做ス

第五十二條 特許權ハ相續人ナキトキハ消滅ス

第五十三條 特許物又ハ特許方法ニ依ル製作物ニハ特許標記ヲ附スルコトヲ要ス物ノ性質ニ依リ其ノ物ニ附スルコト能ハサルトキハ其ノ物ノ容器包装ノ類ニ之ヲ附スルコトヲ要ス

特許權者ハ實施權者又ハ第二十七條第一號ノ實施ヲ爲ス者ニ對シ特許標記ヲ附スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

### 第三章 特許料

第五十四條 特許ノ登録ヲ受クル者又ハ特許權者ハ特許料トシテ毎件左ノ金額ヲ納付スヘシ

一 第一年乃至第三年 毎年 十五圓

二 第四年乃至第六年 毎年 二十圓  
 三 第七年乃至第九年 毎年 二十五圓  
 四 第十年乃至第十二年 毎年 三十圓  
 五 第十三年乃至第十五年 毎年 四十五圓  
 第四十四條第二項ノ規定ニ依ル各別ノ特許ノ登録ヲ受クル者又ハ特許權者ハ各別ノ特許權ニ付原特許權ノ當該年分ヨリノ特許料ヲ納付スヘシ但シ既納ノ特許料ノ金額ハ納付スヘキ特許料ノ金額中ニ之ヲ充當ス

第十三條ノ規定ニ依リ正當權利者ニ特許ヲ與ヘタル場合ニ於テハ特許ノ登録ヲ受クル者又ハ特許權者ハ原特許權ノ當該年分ヨリノ特許料ヲ納付スヘシ  
 前三項ノ規定ハ國ニ屬スル特許權ニ付之ヲ適用セス

第五十五條 前條第一項ノ規定ニ依ル第一年乃至第三年ノ特許料ハ一時ニ之ヲ前納シ其ノ第四年以後ノ特許料ハ前年ニ之ヲ納付スヘシ但シ數年分ヲ前納スルコトヲ妨ケス  
 特許發明局長ハ前條第一項ノ規定ニ依ル第一年乃至第三年ノ特許料ヲ納付スヘキ者カ其ノ特許發明ノ發明者又ハ其ノ相續人ナル場合ニ於テ之ヲ納付スルノ資力ナシト認ムルトキハ三年内之カ納付ヲ猶豫シ又ハ之ヲ減免スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ特許料ノ納付ヲ猶豫セラレタル者納付期間内ニ之ヲ納付セサルトキハ特許權ハ初ヨリ存在セザリシモノト看做ス

第五十六條 利害關係人ハ特許料ヲ納付スヘキ者ニ代リ之ヲ納付スルコトヲ得

第五十七條 既納ノ特許料ハ之ヲ還付セス

第五十八條 特許權者ハ特許料ヲ納付スヘキ期間ヲ經過シタル後ト雖六月間ヲ限り特許料ヲ追納スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第五十四條ニ規定スル特許料ノ二倍ニ相當スル金額ヲ特許料トシテ納付スヘシ

前項ニ規定スル追納期間内ニ特許料ヲ追納セサルトキハ特許料ヲ納付スヘキ期限經過ノ時ニ遡リ特許權ハ消滅シタルモノト看做ス

第二編 手續規定

第一章 總則

第五十九條 當事者能力及手續能力ニ付テハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ノ當事者能力及訴訟能力ニ關スル規定ヲ準用ス手續ヲ爲スニ必要ナル授權ニ付亦同シ

第六十條 帝國內ニ住所ヲモ居所ヲモ有セサル者ハ勅令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外帝國內ニ住所又ハ居所ヲ有スル特許手續代理人ニ依ルニ非サレハ特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲シ又ハ

特許權若ハ特許ニ關スル權利ヲ主張スルコトヲ得ス

第六十一條 特許手續代理人ハ委任ヲ受ケタル事件ニ付本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル手續ヲ爲スコトヲ得

左ニ掲クル事項ニ付テハ特別ノ委任ヲ受クルコトヲ要ス

一 出願、請求其ノ他ノ手續ノ取下

二 抗告評定請求權ノ拋棄

三 出願ノ變更

四 代理人ノ選任

第六十二條 第六十條ノ特許手續代理人ハ民事訴訟、附帶民事訴訟及告訴ニ付テモ代理權ヲ有ス

前條第二項ノ規定ハ第六十條ノ特許手續代理人ニハ之ヲ適用セス

第六十三條 前二條ノ代理權ハ之ヲ制限スルコトヲ得ス

第六十四條 特許手續代理人ノ選任若ハ解任又ハ代理權ノ消滅、變更ハ特許發明局ニ届出ツルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第六十條ノ特許手續代理人ニシテ特許權者又ハ特許權ニ關シ登録シタル權利ヲ有スル者ノ特許手續代理人ノ選任若ハ解任又ハ代理權ノ消滅ハ登録ヲ受クルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第六十五條 特許手續代理人ノ代理權ハ本人ノ死亡若ハ能力ノ喪失、本人タル法人ノ合併ニ因ル消滅又ハ法定代理人ノ死亡、能力ノ喪失若ハ代理權ノ消滅、變更ニ因リテ消滅セス

第六十六條 特許手續代理人數人アルトキハ各別ニ本人ヲ代理ス

當時者カ前項ノ規定ニ異ル定ヲ爲スモ其ノ效力ヲ生セス

第六十七條 評定長又ハ審査官ニ於テ特許手續代理人ヲ適當ナラスト認ムルトキハ其ノ改任ヲ命スルコトヲ得

評定長又ハ審査官ニ於テ當事者若ハ參加人又ハ其ノ特許手續代理人カ手續又ハ演述ヲ爲スノ能力ナシト認ムルトキハ辨理士ヲシテ代理セシムヘキコトヲ命スルコトヲ得

前二項ニ規定スル命令アリタル後第一項ノ特許手續代理人又ハ前項ノ當事者若ハ參加人又ハ其ノ特許手續代理人ノ爲シタル行爲ハ之ヲ無効ト爲スコトヲ得

第六十八條 數人共同シテ特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲サントスル者ハ代表者ヲ選定スヘシ特許權ノ共有者カ手續ヲ爲サントスルトキ亦同シ

第六十四條第一項ノ規定ハ前項ノ代表者ニ付之ヲ準用ス

第六十九條 特許權者帝國内ニ住所ヲモ居所ヲモ有セサルトキハ第六十條ノ特許手續代理人ノ住所又ハ居所、其ノ特許手續代理人ナキモノニ在リテハ特許發明局ノ所在地ヲ以テ民事訴訟ニ關スル財産所在

地ト看做ス

第七十條 第二十四條ノ規定ハ本編又ハ本編ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ依ル法定又ハ指定ノ期間ノ計算ニ付之ヲ準用ス

手續ニ關スル期間ノ末日カ日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ニ當ルトキハ其ノ日ノ翌日ヲ以テ其ノ期間ノ末日トス

第七十一條 出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲シタル者之ニ關スル爾後ノ行爲ニ付指定ノ期間ヲ懈怠シタルトキ又ハ登録ヲ受クル際納付スヘキ特許料ノ納付ヲ怠リタルトキハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ出願、請求其ノ他ノ手續ハ之ヲ取下ケタルモノト看做ス前項ノ場合ニ於テ期間ヲ經過シタル後ト雖期間滿了後六月内ニ限り勅令ヲ以テ定ムル手数料ヲ納付シテ手續ノ追完ヲ爲スコトヲ得

第七十二條 出願、請求其ノ他ノ手續ノ取下アリタル場合ニ於テハ其ノ手續ハ初ヨリ繫屬ナカリシモノト看做ス

第七十三條 書類其ノ他ノ物件ニ付差出ノ效力ヲ生スヘキ時期ニ付テハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十四條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ特許權者又ハ特許ニ關スル權利ヲ有スル者ノ爲シタル又ハ其ノ者ニ對シ爲サレタル手續ノ效力ハ其ノ特許權又ハ特許ニ關スル權利ノ承繼人ニ及フ

第七十五條 事件ノ繫屬中ニ於テ特許權又ハ特許ニ關スル權利ノ移轉アリタルトキハ評定長又ハ審査官

ハ承繼人ニ對シ手續ヲ續行ス但シ原權利者ヲ當事者トシテ手續ヲ續行スルコトヲ妨ケス  
前條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十六條 本法ニ規定スルモノノ外手續ノ中斷中止及中斷中止シタル手續ノ續行ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十七條 特許ニ關シ證明、特許證ノ複本、書類ノ謄本若ハ明細書ノ繙譯ヲ求メ又ハ書類ノ閱覽若ハ謄寫ヲ爲サントスル者ハ特許發明局長ニ之ヲ申請スルコトヲ得但シ特許發明局長ニ於テ秘密ニ付スルノ必要アリト認ムル場合ニ於テハ之ヲ許可セス

第七十八條 軍事上秘密ヲ要スル發明ニ付テハ本法ニ規定スルモノノ外勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

## 第二章 審 査

第七十九條 審査ハ審査官之ヲ行フ

特許發明局長ハ各出願事件ニ付審査官ヲ指定ス

第八十條 第九十一條ノ規定ハ審査官ニ付之ヲ準用ス

第八十一條 審査官ハ出願ヲ拒絶スヘキモノト認ムルトキハ出願人ニ對シ拒絶ノ理由ヲ示シ期間ヲ指定

シテ之ニ意見書提出ノ機會ヲ與フヘシ

第八十二條 審査ハ査定ヲ以テ之ヲ終結ス

出願ヲ拒絶スルトキハ拒絶査定ヲ爲スヘシ

出願拒絶ノ理由ヲ發見セサルトキハ特許査定ヲ爲スヘシ

査定ニハ理由ヲ附スヘシ

第八十三條 第百條、第百九條、第百十二條、第百十四條、第一項及第百十六條ノ規定ハ審査ニ付之ヲ準用ス

第八十四條 本法ニ規定スルモノノ外審査ニ關スル書類ニシテ送達スヘキモノ及送達ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 民事又ハ刑事ノ訴訟ニ於テ必要アルトキハ法院ハ査定ノ確定ニ至ル迄其ノ訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

### 第三章 登録、特許證及特許公報

第八十六條 特許發明局ニ特許原簿ヲ備ヘ特許權及實施權竝ニ之ヲ目的トスル質權ノ設定、保存、移轉、消滅、變更、處分ノ制限其ノ他法令ニ定ムル事項ヲ登録ス  
登録ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十七條 特許査定又ハ特許スヘシトノ評決確定シタルトキハ之ヲ特許原簿ニ登録シ特許證ヲ下付ス

第四十四條ノ許可ノ評決確定シタルトキ亦同シ

第八十八條 特許發明局ハ特許公報ヲ發行シ特許發明ニ關スル必要ナル事項ヲ之ニ記載スヘシ但シ軍事上秘密ヲ要スル特許發明ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

### 第四章 評 定

#### 第一節 總 則

第八十九條 評定ハ評定官之ヲ行フ

特許發明局長ハ各評定事件ニ付評定官ヲ指定ス

評定官中評定ニ關與スルニ故障アル者アルトキハ其ノ指定ヲ解キ更ニ他ノ評定官ヲ以テ之ヲ補充ス

評定官ハ評定ニ關シ獨立シテ職務ヲ行フ

第九十條 第一評定ハ評定官三人、抗告評定ハ評定官三人又ハ五人ノ合議ニ依リ之ヲ行フ合議ハ過半數ニ依リ之ヲ決ス

評定長ハ評定官中ノ上席者ヲ以テ之ニ充ツ

評定長ハ其ノ評定事件ニ關スル事務ヲ掌理ス

第九十一條 評定官ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ評定ノ關與ヨリ除斥セラル

- 一 評定官又ハ其ノ妻若ハ妻タリシ者カ事件ノ當事者又ハ參加人ナルトキ又ハナリシトキ
- 二 評定官カ事件ノ當事者又ハ參加人ノ親族ナルトキ又ハナリシトキ又ハ養親養子ノ關係ヲ有スルトキ若ハ有シタルトキ

- 三 評定官カ事件ノ當事者又ハ參加人ノ婚約者ナルトキ
  - 四 評定官カ事件ノ當事者又ハ參加人ノ法定代理人又ハ戶主若ハ家族ナルトキ
  - 五 評定官カ事件ニ付證人又ハ鑑定人ト爲リタルトキ
  - 六 評定官カ事件ニ付當事者又ハ參加人ノ代理人ナルトキ又ハナリシトキ
  - 七 評定官カ事件ニ付審査官又ハ評定官トシテ査定又ハ評決ニ關與シタルトキ
  - 八 評定官カ事件ニ付直接ノ利害關係ヲ有スルトキ
- 第九十二條 除斥ノ原因アルトキハ當事者又ハ參加人ハ除斥ノ申立ヲ爲スコトヲ得
- 第九十三條 評定官ニ付評定ノ公正ヲ妨クヘキ事情アルトキハ當事者又ハ參加人ハ之ヲ忌避スルコトヲ得

當事者又ハ參加人カ事件ニ付申述ヲ爲シタル後ハ評定官ヲ忌避スルコトヲ得ス但シ忌避ノ原因アルコトヲ知ラサリシトキ又ハ忌避ノ原因カ其ノ後ニ生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九十四條 前二條ニ規定スル申立ハ其ノ原因ヲ開示シテ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ口頭審理ニ於テ

口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

除斥又ハ忌避ノ原因ハ申立ヲ爲シタル日ヨリ三日内ニ之ヲ疏明スヘシ前條第二項但書ノ事實ニ付亦同シ

第九十五條 除斥又ハ忌避ノ申立アリタルトキハ評定ニ依リ裁決ヲ爲スヘシ

評定官ハ其ノ除斥又ハ忌避ニ付評定ニ關與スルコトヲ得ス但シ意見ヲ述フルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依ル裁決ニハ理由ヲ附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル裁決ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第九十六條 除斥又ハ忌避ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ付テノ裁決アル迄評定手續ヲ停止スヘシ但シ急速ヲ要スル行爲ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十七條 第四十八條ノ規定ニ依リ無効ノ評定ハ口頭審理ニ依ル但シ評定長ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ書面審理ニ依ルモノト爲スコトヲ得

前項ノ評定以外ノ評定ハ書面審理ニ依ル但シ評定長ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ口頭審理ニ依ルモノト爲スコトヲ得

口頭審理ハ之ヲ公開ス但シ公益又ハ風俗ヲ害スル虞アルトキハ此ノ限ニ在ラス

口頭審理ニ付テハ民事訴訟ノ口頭辯論ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十八條 利害關係人ハ審理ノ終結ニ至ル迄其ノ評定ニ參加スルコトヲ得

第九十九條 參加ノ申請ハ參加申請書ヲ提出シテ之ヲ爲スヘシ

評定長ハ參加申請書ヲ受理シタルトキハ之ヲ當事者及參加人ニ送達シ期間ヲ指定シテ之ニ異議申立ノ機會ヲ與フヘシ

參加ノ申請アリタルトキハ其ノ許否ヲ裁決ス

第九十五條第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル裁決ニ付之ヲ準用ス

第一百條 評定ニ於テハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スコトヲ得

前項ノ證據調ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ヲ管轄スル區法院ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

民事訴訟ノ證據調ニ關スル規定ハ前二項ノ規定ニ依ル證據調ニ付之ヲ準用ス但シ評定官ハ勾引ヲ命スルコトヲ得ス

第一百一條 當事者又ハ參加人カ法定若ハ指定ノ期間内ニ手續ヲ爲サス又ハ期日ニ出頭セサルトキト雖評定長ハ評定ヲ進行スルコトヲ得

第一百二條 評定ニ於テハ當事者又ハ參加人ノ申立テサル理由又ハ撤回シタル理由ニ付テモ之ヲ審理スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ニ付當事者又ハ參加人ニ期間ヲ指定シテ意見申立ノ機會ヲ與フヘシ

第一百三條 評定官ハ當事者ノ雙方又ハ一方ノ同一ナル二以上ノ評定ニ付其ノ審理又ハ評決ノ併合ヲ爲ス

コトヲ得

評定官ハ前項ノ規定ニ依リ審理ノ併合ヲ爲シタル場合ニ於テ更ニ審理又ハ評決ノ分離ヲ爲スコトヲ得

第一百四條 事件カ評決ヲ爲スニ熟シタルトキハ評定長ハ審理ノ終結ヲ當事者及參加人ニ通知スヘシ

評定長ハ必要アルトキハ前項ノ規定ニ依リ審理ノ終結ヲ通知シタル後ト雖申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ審理ノ再開ヲ爲スコトヲ得

評決ハ審理ノ終結ヲ通知シタル日ヨリ三十日内ニ之ヲ爲スヘシ

第一百五條 評決ニハ理由ヲ附スヘシ

第一百六條 不適法ナル評定ノ請求ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナル場合ニ於テハ被請求人ニ答辯書提出ノ機會ヲ與ヘスシテ評決ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第一百七條 第八十四條ノ規定ハ評定ニ付之ヲ準用ス

第一百八條 第八十一條ノ規定ハ第四十四條ノ評定ニ付之ヲ準用ス

第九十八條、第九十九條及第三條ノ規定ハ第四十四條ノ評定ニ付之ヲ適用セス

第一百九條 評決ニ違算、書損其ノ他之ニ類スル明白ナル誤謬アルトキハ何時ニテモ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ更正裁決ヲ爲スコトヲ得

第一評定ノ評決ニ對シ適法ノ抗告評定ノ請求ヲ爲シタルトキハ更正裁決ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ



得ス

二八

第一百十條 評定費用ノ負擔ハ職權ニ依リ本案評決又ハ裁決ニ於テ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ其ノ金額モ亦之ヲ定ムルコトヲ得

評定費用ノ負擔ノミヲ定メタルトキハ其ノ金額ハ請求ニ依リ之ヲ裁決ス

前項ノ規定ニ依ル裁決ニハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

評定費用ニ付テハ民事訴訟ノ訴訟費用ニ關スル規定ヲ準用ス

第一百十一條 評決又ハ裁決ニ於テ評定費用ノ判斷ヲ脱漏シタル場合ニ於テハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ費用ニ付裁決ス

前項ノ規定ニ依ル費用ノ裁決ニ付テハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第一項ノ規定ニ依ル評定費用ノ裁決ハ本案評決ニ對シ適法ノ抗告評定ノ請求アリタルトキ又ハ本案裁決ニ對シ適法ノ抗告アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ抗告評定ニ於テ評定ノ總費用ニ付評決又ハ裁決ヲ爲スヘシ

第一百十二條 費用ヲ要スル行爲ニ付評定官ハ其ノ費用ノ豫納ヲ命スルコトヲ得

前項ノ豫納ヲ爲ササルトキハ評定官ハ其ノ行爲ヲ爲ササルコトヲ得

第一百十三條 特許若ハ第四十四條ノ許可ノ效力又ハ特許範圍ニ關スル確定評決ノ登録アリタルトキハ何

人ト雖同一事實及同一證據ニ基キ同一評定ヲ請求スルコトヲ得ス

第一百十四條 評定ニ於テ必要アルトキハ民事又ハ刑事ノ訴訟手續ノ完結ニ至ル迄其ノ手續ヲ中止スルコトヲ得

民事又ハ刑事ノ訴訟ニ於テ必要アルトキハ法院ハ特許ニ關シ評決ノ確定ニ至ル迄其ノ訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

第一百十五條 評定費用ノ額ノ確定ノ評決又ハ裁決竝ニ本法ニ規定スル補償金額ノ確定ノ評決又ハ決定ハ強制執行ニ關シテハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス但シ其ノ執行力アル正本ハ特許發明局官吏之ヲ付與ス

第一百十六條 評定ニ於テハ外國又ハ遠隔若ハ交通不便ノ地ニ在ル者ノ爲請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ出訴期間、抗告評定請求期間又ハ抗告期間ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ期間ノ延長ハ評決又ハ裁決ニ記載スヘシ

第一百十七條 當事者其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ出訴期間、抗告評定請求期間又ハ抗告期間ヲ遵守スルコト能ハサル場合ニ於テハ其ノ事由ノ止ミタル日ヨリ十四日內ニシテ且其ノ期間滿了後六月內ニ限り懈怠シタル手續ノ追完ヲ爲スコトヲ得

## 第二節 第一評定

二九

第一百十八條 評定ノ請求ハ評定請求書ヲ提出シテ之ヲ爲スヘシ

評定請求書ニハ一定ノ申立及理由ヲ記載スヘシ

第一百十九條 評定請求書カ法令ニ定メタル方式ニ違背シタル場合ニ於テハ評定長ハ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ欠缺ヲ補正スヘキコトヲ命スヘシ成規ノ手数料ヲ納付セサル場合亦同シ

請求人カ欠缺ノ補正ヲ爲ササルトキハ評定長ハ裁決ヲ以テ評定請求書ヲ却下スヘシ

前項ノ裁決ニハ理由ヲ附スヘシ

第二項ノ裁決ニ對シ抗告ヲ爲ス場合ニ於テハ抗告狀ニ却下セラレタル評定請求書ヲ添附スヘシ

第二十條 評定長ハ評定請求書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ被請求人ニ送達シ期間ヲ指定シテ之ニ答辯書提出ノ機會ヲ與ヘ其ノ答辯書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ請求人ニ送達スヘシ

評定ニ關シテハ當事者ノ提出シタル書類ニ對シ相手方ヲシテ答辯書ヲ提出セシメ又ハ當事者ニ訊問書ヲ發シテ之ニ對スル意見書ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十一條 評定ノ請求ハ第一評定ノ審理ノ終結ニ至ル迄之ヲ取下クルコトヲ得但シ答辯書ノ提出アリタル後ニ於テハ被請求人ノ承諾ヲ要ス

### 第三節 抗 告 評 定

第二十二條 拒絕査定又ハ第一評定ノ評決ヲ受ケタル者不服アルトキハ其ノ査定又ハ評決ノ送達ヲ受

ケタル日ヨリ三十日内ニ抗告評定ヲ請求スルコトヲ得

第三十九條第二項ノ規定ニ依ル補償金額ノ評決及第一百十條第一項ノ規定ニ依ル費用ノ評決ニ付テハ獨立シテ抗告評定ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十三條 數人共同シテ特許出願ヲ爲シタル場合又ハ第一評定ノ一方ノ當事者ト爲リタル場合ニ於テハ其ノ一員ニ於テ全員ヲ代表シテ抗告評定ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條 抗告評定ノ請求ハ抗告評定請求書ヲ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第一百十八條第二項ノ規定ハ前項ノ請求書ニ付之ヲ準用ス

第二十五條 不適法ナル抗告評定ノ請求ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナル場合ニ於テハ被請求人ニ答辯書提出ノ機會ヲ與ヘシテ評決ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第二十六條 第一百十九條及第二十條ノ規定ハ抗告評定ニ付之ヲ準用ス

第二十七條 抗告評定ノ請求ハ其ノ審理ノ終結ニ至ル迄之ヲ取下クルコトヲ得

第二十八條 抗告評定ヲ請求スル權利ハ其ノ審理ノ終結ニ至ル迄之ヲ拋棄スルコトヲ得

抗告評定ヲ請求シタル後抗告評定請求權ヲ拋棄シタルトキハ抗告評定ノ請求ハ之ヲ取下ケタルモノト看做ス

第二十九條 抗告評定ニ於テハ評定請求ノ理由ヲ變更シ又ハ新ナル事實若ハ證據方法ヲ提出スルコト

ヲ得

三二

第三百三十條 審査又ハ第一評定ニ於テ爲シタル手續ハ抗告訴定ニ於テモ其ノ効力ヲ有ス

第三百三十一條 抗告訴定ニ於テハ其ノ事件ニ付更ニ評決ヲ爲スヘシ

第三百三十二條 査定又ハ第一評定ノ評決ノ手續カ法令ニ違反シタルトキハ其ノ査定又ハ評決ヲ破毀スヘシ

第三百三十三條

拒絕査定ニ對スル抗告訴定ニ於テ其ノ査定ノ理由ト異ル拒絕ノ理由ヲ發見シタルトキハ

請求人ニ對シ其ノ理由ヲ示シ期間ヲ指定シテ之ニ意見書提出ノ機會ヲ與フヘシ

明細書又ハ圖面ノ訂正ヲ許可セストノ評決ニ對シ抗告訴定ノ請求アリタル場合ニ於テ前評決ノ理由ト

異ル不許可ノ理由ヲ發見シタルトキ亦前項ニ同シ

第三百三十四條

抗告訴定ニ於テ拒絕査定又ハ第一評定ノ評決ヲ破毀スル場合ニ於テハ拒絕査定ニ對スル

抗告訴定ニ在リテハ更ニ審査ニ、第一評定ノ評決ニ對スル抗告訴定ニ在リテハ更ニ第一評定ニ付スヘ

シトノ評決ヲ爲スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル評決アリタル場合ニ於テハ其ノ破毀ノ基本ト爲シタル理由ハ其ノ事件ニ付テハ審査官又ハ第一評定ノ評定官ヲ羈束ス

#### 第四節 抗 告

第三百三十五條 第一評定ニ於テ爲シタル裁決ニ對シテハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ送達アリタル日ヨリ十日内ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條 第一評定ニ於テ抗告ヲ理由アリト認ムルトキハ其ノ裁決ヲ更正スヘシ

抗告ヲ理由ナシト認ムルトキハ意見ヲ附シ事件ヲ抗告訴定ニ送付スヘシ

第三百三十七條 抗告ハ抗告訴定ニ於テ裁決ス

第三百三十八條 抗告ニ關スル手續ニ付テハ其ノ性質ニ反セサル限り前節ノ規定ヲ準用ス

第三百三十九條 抗告ハ執行停止ノ効力ヲ有ス

#### 第五節 出 訴

第四百十條 第三十一條第三項ノ決定又ハ第三十九條ノ評決ヲ受ケタル者補償金額ニ不服アルトキハ其ノ決定又ハ評決ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ三十日内ニ法院ニ出訴スルコトヲ得

第四百十一條 第三十九條ノ評決ニ對シ抗告訴定ノ請求アリタルトキハ抗告訴定ノ評決アル迄ハ出訴スルコトヲ得ス

第三十九條ノ評決ニ對シ出訴アリタル場合ニ於テ抗告訴定ノ請求アリタルトキハ訴ノ取下アリタルモノト看做ス

第四百二十二條 特許權ヲ侵害シタル者又ハ特許權ヲ侵害スヘキ物ヲ輸入若ハ移入シタル者ハ五年以下ノ有期徒刑又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第四百二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ有期徒刑又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 詐僞ノ行爲ヲ以テ特許ヲ受ケ又ハ評決ヲ受ケタル者

二 非特許物若ハ非特許方法ニ依ル製作物ヲ特許物若ハ特許方法ニ依ル製作物ナルカ如ク僞裝シ又ハ僞裝シタル非特許物若ハ非特許方法ニ依ル製作物ヲ販賣若ハ擴布シタル者

三 非特許物又ハ非特許方法ニ依ル製作物ヲ製作若ハ使用セシムル爲又ハ販賣若ハ擴布スル爲文書、圖畫、口頭又ハ其ノ他ノ手段ニ依リ人ヲシテ其ノ物若ハ方法カ特許ニ係ルコトヲ誤信セシムルニ足ル表示ヲ爲シタル者

四 非特許方法ヲ使用セシムル爲又ハ販賣若ハ擴布スル爲文書、圖畫、口頭又ハ其ノ他ノ手段ニ依リ人ヲシテ其ノ方法カ特許ニ係ルコトヲ誤信セシムルニ足ル表示ヲ爲シタル者

第四百二十四條 第四百二十二條ノ犯罪行爲ヲ組成シ又ハ之ヨリ生シタル物ニシテ刑法ノ規定ニ依リ沒收スルコトヲ得ヘキモノニ付判決言渡前被害者ノ請求アリタルトキハ所有權ヲ被害者ニ移ス旨ノ言渡ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ被害者ハ其ノ物ノ價額ヲ超過スル損害ノ額ニ限り賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百二十五條 法律ニ依リ宣誓シタル證人、鑑定人又ハ通譯特許發明局又ハ其ノ囑託ヲ受ケタル法院ニ對シ虛僞ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以上七年以下ノ有期徒刑ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者事件ノ査定、評決又ハ裁決ノ確定前自白シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除ス

第四百二十六條 特許發明局職員又ハ其ノ職ニ在リタル者故ナク其ノ職務上知得タル特許出願中ノ發明又ハ特許出願者ノ事業上ノ秘密ヲ洩漏シ又ハ竊用シタルトキハ三年以下ノ有期徒刑又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百二十七條 特許發明局ヨリ證人、鑑定人又ハ通譯トシテ呼出サレタル者正當ノ理由ナクシテ呼出ニ應セス又ハ其ノ義務ヲ盡ササルトキハ二百圓以下ノ過怠金ニ處ス

第四百二十八條 特許發明局ヨリ證據調ニ關シ書類其ノ他ノ物件ノ提出又ハ提示ヲ命セラレタル者正當ノ理由ナクシテ其ノ命ニ從ハサルトキハ二百圓以下ノ過怠金ニ處ス

第四百二十九條 過怠金ニ處スヘキトキハ第一評定ニ於テ裁決ヲ爲スヘシ

過怠金事件ノ評定長ハ裁決前被評定者ヲシテ辯明書ヲ提出セシムルコトヲ得

第一項ノ裁決ニハ理由ヲ附スヘシ

第四百五十條 過怠金ヲ科スル裁決ハ特許發明局長ノ命令ニ依リ之ヲ執行ス

前項ノ命令ハ強制執行ニ關シテハ執行力ヲ有スル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

附 則

第五百十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五百十二條 本法施行ノ際外國ニ於テ登録ヲ受ケ現ニ其ノ效力ヲ有スル發明ニ付登録ヲ受ケタル權利者ハ實業部大臣ノ許可ヲ得タル場合ニ限り其ノ發明ニ付第二條第一號ノ規定ニ拘ラス本法施行ノ日ヨリ一年內ニ特許ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ特許ノ出願アリタルトキハ第八條ノ規定ニ拘ラス之ヲ特許ス

第五百十三條 前條ノ規定ニ依ル特許權ハ本法施行ノ日ニ於テ發生シタルモノト看做ス

前項ノ特許權ノ存續期間ハ其ノ外國ニ於ケル殘期間トス

第一項ノ特許權ハ外國ニ於ケル特許カ無効ト爲リタルトキハ初ヨリ存在セザリシモノト看做ス

第五百十四條 本法施行前外國ニ於テ特許出願ヲ爲シタル者ハ實業部大臣ノ許可ヲ得タル場合ニ限り其ノ未タ登録ナキ發明ニ付本法施行ノ日ヨリ一年內ニ特許ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル出願アリタルトキハ其ノ順位及發明ノ新規ナリヤ否ヤハ外國ニ爲シタル出願ノ時ヲ標準トシテ之ヲ定ム

特許登録令

目 次

第一章	總 則
第二章	登録ニ關スル帳簿
第三章	登録手續
第一節	通 則
第二節	特許權及實施權ニ關スル登録手續
第三節	質權ニ關スル登録手續
第四節	抹消ニ關スル登録手續
第五節	異 議
附 則	

勅令第 號

特許登録令

第一章 總 則

第一條 特許ニ關スル登録ハ登録官之ヲ爲ス

第二條 特許ニ關スル登録ハ左ニ掲クル事項ニ付之ヲ爲ス

- 一 特許權及實施權並ニ之ヲ目的トスル質權ノ設定、保存、移轉、消滅、變更又ハ處分ノ制限
- 二 特許ノ效力、特許發明法第四十四條ノ許可ノ效力又ハ特許範圍ニ關スル確定評決
- 三 特許發明法第六十四條第二項ニ規定スル特許手續代理人ノ選任若ハ解任又ハ代理權ノ消滅

第三條 假登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

- 一 前條第一號ニ掲クル權利ノ設定、保存、移轉、消滅、變更又ハ處分ノ制限ニ關スル登録ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セサルトキ
- 二 前號ノ事項ニ關シ請求權ヲ保全セントスルトキ

第四條 豫告登録ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

- 一 登録原因ノ無効又ハ取消ニ依ル登録ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタルトキ但シ登録原因ノ取消ニ依ル訴ニ付テハ其ノ取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ場合ニ限ル

二 特許ノ效力、特許發明法第四十四條ノ許可ノ效力、特許範圍若ハ實施權ノ取得ニ關スル評定ノ請求アリタルトキ、實施權許與ノ請求アリタルトキ又ハ特許若ハ實施權許與ノ取消ノ請求アリタルトキ

三 特許發明法第十八條ニ規定スル政府ノ處分ニ關スル特許收用審査委員會ノ裁決ノ要求書カ特許發明局長ニ差出サレタルトキ

第五條 左ニ掲クル事項ノ登録ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

- 一 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正
- 二 質權ノ移轉
- 三 一部抹消登録ノ回復

第六條 左ニ掲クル事項ノ登録ハ登録上利害關係ヲ有スル第三者ナキトキ又ハ登録ノ申請書ニ登録上利害關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限リ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

- 一 特許權以外ノ權利ノ變更
- 二 登録ノ更正

第七條 特許權又ハ之ニ關スル權利ニ關シ登録シタル權利ノ順位ハ登録ノ前後ニ依ル

登録ノ前後ハ登録用紙中同區ニ爲シタル登録ニ付テハ順位番號ニ依リ別區ニ爲シタル登録ニシテ受付

番號アルモノニ付テハ受付番號ニ依ル

第八條 附記登録ノ順位ハ主登録ノ順位ニ依リ附記登録間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル

第九條 假登録ヲ爲シタルモノニ付本登録ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ順位ハ假登録ノ順位ニ依ル

第十條 詐欺又ハ強迫ニ依リテ登録ノ申請ヲ妨ケタル第三者ハ登録ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス

第十一條 他人ノ爲登録ヲ申請スル義務アル者ハ其ノ登録ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス但其ノ登録ノ原因カ自己ノ登録ノ原因ノ後ニ發生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

#### 第二章 登録ニ關スル帳簿

第十二條 特許發明ノ明細書、圖面及其ノ附屬書類ハ之ヲ特許原簿ノ一部ト看做ス

評決ノ原本ニ依リ第二條第二號ニ掲クル事項ノ登録ヲ爲シタルトキハ其ノ原本ハ之ヲ特許原簿ノ一部ト看做ス

第十三條 特許原簿及受付簿ノ様式竝ニ其ノ記載ニ關スル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 特許原簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テ其ノ回復ニ關スル手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 特許原簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又ハ特許原簿若ハ其ノ附屬書類ノ閱覽ヲ請求セントスル者ハ命令ヲ以テ定ムル手数料ヲ納付スヘシ

特許原簿ノ謄本若ハ抄本ノ送付ヲ請求セントスル者ハ前項ノ手数料ノ外ニ郵送料ヲ納付スヘシ

### 第三章 登録手續

#### 第一節 通 則

第十六條 登録ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請又ハ囑託ニ依ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

囑託ニ依ル登録ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外申請ニ依ル登録ニ關スル規定ヲ準用ス

第十七條 左ニ掲クル事項ノ登録ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

- 一 特許權ノ設定、特許ノ無効又ハ拋棄ニ依ラサル特許權ノ消滅
- 二 特許發明法第四十四條ノ許可又ハ其ノ許可ノ無効
- 三 特許ノ效力、特許發明法第四十四條ノ許可ノ效力又ハ特許範圍ニ關スル確定評決
- 四 特許發明法第三十一條第一項ノ規定ニ依ル實施權許與、其ノ許與ノ取消、又ハ確定評決ニ依ル實施權ノ設定
- 五 特許發明法第十八條及第二十條ニ規定スル政府ノ處分

第十八條 登録ノ申請ハ登録權利者及登録義務者之ヲ爲スヘシ但シ申請書ニ登録義務者ノ承諾書ヲ添附

シタルトキハ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第十九條 判決又ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ依ル登録ノ申請ハ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第二十條 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ノ申請ハ登録名義人ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 特許發明法第六十四條第二項ニ規定スル登録ノ申請ハ本人又ハ受任者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得特許手續代理人ノ表示ノ變更又ハ特許手續代理人ノ表示若ハ代理權ノ更正ノ登録ノ申請ニ付亦同シ

第二十二條 假登録ハ第十八條ノ場合ヲ除クノ外假登録權利者ノ申請ニ依リ假登録義務者ノ住所若ハ居所又ハ特許發明法第六十九條ニ規定スル財産所在地ヲ管轄スル區法院ニ對シ假登録原因ヲ説明シテ假處分ニ依ル假登録ノ囑託ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請アリタルトキハ所轄區法院ハ囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ假登録ヲ特許發明局ニ囑託スヘシ

假處分ニ依ル假登録ノ申請ヲ却下スル裁決ニ對シテハ其ノ送達アリタル日ヨリ十日内ニ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ニ付テハ民事訴訟ノ抗告ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十三條 官廳ハ其ノ爲シタル處分ニ基ク處分ノ制限ノ登録又ハ其ノ抹消登録ヲ遲滯ナク特許發明局



ニ囑託スヘシ公賣其ノ他法令ノ規定ニ依ル處分ニ基ク權利移轉ノ登録ニ付亦同シ

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ當該官廳ハ登録名義人ノ表示ノ變更若ハ更正又ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ依ル權利移轉ノ登録ヲ特許發明局ニ囑託スヘシ

第二十四條 第四條第一號ニ掲クル訴ヲ受理シタル法院ハ遲滯ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ其ノ豫告登録ヲ特許發明局ニ囑託スヘシ

第四條第二號又ハ第三號ニ掲クル請求又ハ要求書ノ差出アリタルトキハ職權ヲ以テ其ノ豫告登録ヲ爲ス

第二十五條 登録ノ申請書ハ一件毎ニ一通ヲ作り之ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

一 特許番號及發明ノ名稱並登録ノ目的カ特許權以外ノ權利ニ關スル場合ニ於テハ尙其ノ權利ノ表示

二 申請人ノ姓名名稱及住所又ハ居所並ニ申請人カ外國人ナル場合ニ在リテハ尙其ノ國籍

三 特許手續代理人又ハ代表者ニ依リテ申請スルトキハ其ノ姓名及住所又ハ居所

四 登録原因及其ノ日附

五 登録ノ目的

六 年月日

第二十六條 數箇ノ特許權、若ハ意匠權又ハ之ニ關スル權利ヲ目的トスル質權ノ設定ノ登録ヲ申請スル

場合ニ於テ登録原因カ同一ナルトキハ同一ノ申請書ヲ以テ登録ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ處分ノ制限ノ登録ヲ囑託スル場合ニ付之ヲ準用ス

第二十七條 登録ノ申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一 登録原因ヲ證スル書面

二 登録原因ニ付第三者ノ允許、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

三 申請人カ外國人ナル場合ニ在リテハ其ノ國籍ヲ證スル書面

四 申請人カ外國法人ナル場合ニ在リテハ其ノ法人タルコトヲ證スル書面

五 代理人又ハ代表者ニ依リテ登録ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

特許發明法第六十四條第二項ノ規定ニ依リ登録ヲ受ケタル特許手續代理人又ハ同法第六十四條第一項若ハ第六十八條第二項ノ規定ニ依リ届出テタル特許手續代理人若ハ代表者カ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ第一項第五號ノ書面ヲ添付スルコトヲ要セス

登録原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ第一項第二號乃至第四號ノ書面ヲ添付スルコトヲ要セス

第二十八條 債權者カ民法第二百四十二條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登録ヲ申請スルニハ申請書ニ

第二十五條ニ掲クル事項ノ外債權者ノ姓名名稱及住所又ハ居所並ニ代位原因ヲ記載シ債權者之ニ署名

捺印シ且前條第一項各號ニ掲クル書面ノ外代位原因ヲ證スル書面ヲ之ニ添附スヘシ但シ登録上代位原因明ナル場合ニ於テハ之ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第二十九條 登録原因ニ登録ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

第三十條 登録權利者カ多數ナル場合ニ於テ登録原因ニ持分ノ定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スヘシ特許權又ハ之ニ關スル權利ノ一部移轉ノ登録ヲ申請スル場合亦同シ

前項ノ場合ニ於テ特許發明法第三十四條第二項ノ同意、同法第三十六條ノ契約又ハ民法第八百二十三條第一項但書ノ契約アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

第三十一條 抹消シタル登録ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テ登録上利害關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第三十二條 左ノ場合ニ於テハ申請書ニ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

一 登録原因カ相續其ノ他ノ一般承繼ナルトキ

二 申請人カ登録權利者又ハ登録義務者ノ相續人其ノ他ノ一般承繼人ナルトキ

三 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ヲ申請スルトキ

第三十三條 數箇ノ申請書ニ依リ登録ヲ申請スル場合ニ於テ第二十七條第一項第一號乃至第五號又ハ前

條ノ書面カ一通ナルトキハ一ノ申請書ニ之ヲ添附シ他ノ申請書ニハ其ノ旨ヲ記載スヘシ他ノ事件ニ付特許發明局ニ對シ既ニ第二十七條第一項第二號乃至第五號又ハ前條ノ書面ヲ差出シタル者ハ其ノ事項ニ變更ナキトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ更ニ其ノ書面ヲ申請書ニ添附セサルコトヲ得但シ特許發明局長必要ト認ムルトキハ其ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第三十四條 申請書ニ第三者ノ允許、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スヘキ場合ニ於テハ其ノ第三者ヲシテ申請書ニ署名捺印セシメ其ノ書面ノ添附ニ代フルコトヲ得

第三十五條 左ノ場合ニ於テハ登録ノ申請ハ之ヲ受理セス

一 事件カ登録スヘキモノニ非サルトキ

二 申請書カ方式ニ適合セサルトキ

三 第二十五條第一號ノ事項カ特許原簿ト符合セサルトキ

四 第三十二條第二號ニ規定スル書面ヲ添附スル場合ヲ除クノ外申請書ニ掲クル登録義務者ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ

五 申請人カ登録名義人ナル場合ニ於テ其ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ

六 特許手續代理人又ハ代表者ノ表示カ特許原簿又ハ届出ト符合セサルトキ

七 申請書ニ掲クル事項カ登録原因ヲ證スル書面ト符合セサルトキ

四八

八 申請書ニ必要ナル書面ヲ添附セサルトキ

九 登録税ヲ納付セサルトキ

第三十六條 行政區劃又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ特許原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ之ヲ變更シタルモノト看做ス

第三十七條 登録ヲ完了シタル後其ノ登録ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ登録権利者及登録義務者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ハ第二十八條ノ場合ニ於テハ債権者ニ對シテモ亦之ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル通知ハ登録権利者、登録義務者又ハ債権者カ多數ナル場合ニ於テ其ノ代表者ナキトキハ其ノ一人ニ對スル通知ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第三十八條 前條ノ場合ニ於テ登録ノ錯誤又ハ遺漏カ特許發明局ノミノ錯誤ニ出テタルトキハ登録上利害關係ヲ有スル第三者アル場合ヲ除クノ外遲滞ナク其ノ登録ノ更正ヲ爲シ其ノ旨ヲ登録権利者及登録義務者ニ通知スヘシ

前者條二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

### 第二節 特許權及實施權ニ關スル登録手續

第三十九條 特許權移轉ノ登録又ハ特許權ノ登録名義人ノ表示ノ變更若ハ更正ノ登録ヲ申請スル場合ニ

於テ特許發明法第三十八條ノ規定ニ依ル實施權アルトキハ同時ニ其ノ實施權ニ付テモ同一事項ノ登録ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ同一ノ申請書ヲ以テ登録ヲ申請スルコトヲ得

第四十條 實施權ノ設定、保存又ハ移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ範圍ヲ記載シ尙登録原因ニ報酬若ハ其ノ支拂時期ノ定アルトキ又ハ特許發明法第四十條第二項ノ承諾アルトキハ之ヲ記載スヘシ

實施權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テ特許發明實施ノ事業ト共ニ移轉スルトキハ申請書ニ之ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

### 第三節 質權ニ關スル登録手續

第四十一條 質權設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權ノ目的タル權利及債權額ヲ記載シ尙登録原因ニ存續期間、辨濟期、利息、違約金若ハ賠償額ニ關スル定アルトキ又ハ債權ニ條件ヲ附シタルトキハ亦之ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テ質權設定者カ債務者ニ非サルトキハ申請書ニ尙債務者ヲ表示スヘシ

質權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ質權カ債權ト共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スヘシ

第四十二條 一定ノ金額ヲ目的トセサル債權ノ擔保タル質權ノ設定ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請

書ニ其ノ債權ノ價格ヲ記載スヘシ

第四十三條 債權ノ一部讓渡又ハ代位辨濟ニ依ル質權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スヘシ

第四十四條 未登録ノ實施權ヲ目的トスル質權ニ關スル登録ハ之ヲ命スル裁判ニ依リテ自己ノ權利ヲ證スル者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第二十三條ノ規定ニ依リ官廳カ未登録ノ權利ニ關スル登録ヲ特許發明局ニ囑託スル場合ニ於テハ裁判ニ依リテ其ノ權利ヲ證スルコトヲ要セス

#### 第四節 抹消ニ關スル登録手續

第四十五條 特許權又ハ之ニ關スル權利拋棄ニ依ル登録ノ抹消ハ登録名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

第四十六條 登録シタル權利カ或人ノ死亡ニ依リ消滅シタル場合ニ於テ申請書ニ其ノ死亡ヲ證スル書面ヲ添附シタルトキハ登録權利者ノミニテ登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四十七條 登録權利者カ登録義務者ノ行方ノ知レサルニ依リ登録ノ抹消ヲ申請スルコト能ハサルトキハ民事訴訟ニ關スル法令ノ規定ニ從ヒ公示催告ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ除權判決アリタルトキハ申請書ニ其ノ謄本ヲ添附シ登録權利者ノミニテ登録ノ抹消

ヲ申請スルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テ申請書ニ債權證書又ハ元本ノ受取證書及登録セラレタル債務ノ辨濟證書ヲ添附シタルトキハ登録權利者ノミニテ質權ニ關スル登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四十八條 假登録ノ抹消ハ假登録名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

申請書ニ假登録名義人ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキハ登録上利害關係ヲ有スル者ノミニテ假登録ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第四十九條 登録ノ抹消ヲ申請スル場合ニ於テ登録上利害關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第五十條 第四條第一號ノ豫告登録アリタル場合ニ於テ訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ敗訴ヲ言渡シタル裁判カ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリタルトキハ第一審法院ハ遲滞ナク囑託書ニ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若ハ和解ヲ證スル法院書記官ノ書面ヲ添附シテ豫告登録ノ抹消ヲ特許發明局ニ囑託スヘシ

第四條第二號ノ豫告登録アリタル場合ニ於テ評定請求書ヲ却下シタル裁決確定シタルトキ、請求ヲ否認シタル評決確定シタルトキ、請求ノ取下アリタルトキ又ハ請求ノ拋棄アリタルトキハ職權ヲ以テ豫告登録ヲ抹消ス實施權許與ノ請求若ハ特許若ハ實施權許與ノ取消ノ請求ヲ却下シタルトキ又ハ請求ノ

取下アリタルトキ亦同シ

特許發明局長ハ特許收用法第十四條ニ依リ處分ヲ爲ササル旨ノ通知ヲ受ケタルトキハ職權ヲ以テ其ノ豫告登録ヲ抹消スヘシ

第五章 異議

第五十一條 登録ニ關スル處分ヲ不當トスル者ハ其ノ處分ノ了リタル日ヨリ三十日內ニ特許發明局長ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得  
異議ニ對スル裁決ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ  
前項ノ裁決ニハ理由ヲ附スヘシ

附則

本令ハ特許發明施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
特許發明法第五十三條第三項ノ場合ハ本令ノ適用ニ關シテハ之ヲ特許權ノ消滅ト看做シ登録ノ抹消ハ登録名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得

勅令第 號

軍事上秘密ヲ要スル發明ニ關スル件

第一條 軍事上秘密ヲ要スル發明ニ付主管部大臣カ特許ノ出願ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ發明ノ明細書及圖面其ノ他秘密ヲ要スル物件ヲ密封シ封印シテ特許發明局長ニ之ヲ差出スヘシ

特許權者カ軍事上秘密ヲ要スル特許發明ニ付特許發明法第四十四條ノ許可ノ評定ノ請求ヲ爲ス場合亦前項ニ同シ

第二條 特許發明局長ハ前條第一項ノ規定ニ依ラサル特許ノ出願アリタル場合ニ於テ其ノ發明カ軍事上秘密ヲ要スルモノト認メタルトキハ遲滯ナク之ヲ主管部大臣ニ移牒シ意見ヲ求ムヘシ

第三條 第一條ノ出願又ハ請求アリタルトキハ特許發明局長ハ特ニ評定官又ハ審査官一人ヲ指定シ之ヲ審査又ハ評定セシム

特許査定若ハ特許スヘシトノ評決確定シ又ハ許可スヘシトノ評決確定シタルトキハ特許發明局長ハ出願願又ハ請求ニ係ル書類及物件ヲ密封シ之ニ封印スヘシ

拒絕査定若ハ拒絕スヘシトノ評決確定シ又ハ許可セストノ評決確定シタルトキハ特許發明局長ハ出願願又ハ請求ニ係ル書類及物件ヲ密封シ封印シテ主管部大臣ニ之ヲ交付スヘシ

第四條 前條ノ規定ハ第一條第一項ノ規定ニ依ラサル特許ノ出願アリタル場合ニ於テ主管部大臣カ其ノ

發明ヲ軍事上秘密ニ付スヘキ旨ノ請求ヲ爲シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第五條 第三條第二項ノ規定又ハ前條ニ依リ準用スル同項ノ規定ニ依リ密封シタル書類及物件ハ主管部大臣ノ請求又ハ承諾アリタル場合ヲ除クノ外之ヲ開封スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ開封シタル書類及物件ハ特許發明局長更ニ之ヲ密封シ封印スヘシ

第六條 主管部大臣ハ前條第一項ニ規定スル書類及物件ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル書類及物件ハ主管部大臣更ニ密封シ封印シテ之ヲ還付スヘシ

第七條 軍事上秘密ヲ要スル特許發明ニ對スル請求ハ主管部大臣密封シタル書類及物件ノ開封ヲ承諾シタル場合ニ限り之ヲ受理スルコトヲ得

前項ノ評定ノ評決ニハ理由ヲ附セス

第八條 軍事上秘密ヲ要スル特許發明ニ關スル評定ノ口頭審理ハ之ヲ公開セス

第九條 軍事上秘密ヲ要スル特許發明カ秘密ニスルノ必要ナキニ至リタルトキハ主管部大臣ハ其ノ旨ヲ特許發明局長ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ特許發明局長ハ其ノ特許發明ヲ特許公報ニ記載スヘシ

附則

本令ハ特許發明法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本令ハ特許發明法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

特許收用法

第一章 收用、取消及實施

第一條 特許發明局長ニ於テ特許出願ニ係ル發明カ特許發明法第十七條第一項ニ該當スト認ムルトキハ之ヲ主管部大臣ニ通知スヘシ

第二條 主管部大臣ニ於テ特許出願ニ係ル發明カ特許發明法第十七條第一項ニ該當シ又ハ特許發明カ同法第十八條第一項ニ該當スト認ムルトキハ實業部大臣ニ協議シタル上特許收用審査委員會ノ裁決ヲ要求スヘシ

第三條 前條ノ要求ヲ爲スニハ要求書ニ左ニ掲クル事項ヲ記載シ特許發明局長ニ差出スヘシ

- 一 願書番號又ハ特許番號
- 二 發明ノ名稱
- 三 特許請求權者又ハ特許權者及特許權ニ關シ登録シタル權利ヲ有スル者ノ姓名名稱及住所又ハ居所
- 四 補償金ノ見積金額及其ノ内譯
- 五 處分ノ種類
- 六 處分ノ理由

發明ヲ軍事上秘密ニ付スヘキ旨ノ請求ヲ爲シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第五條 第三條第二項ノ規定又ハ前條ニ依リ準用スル同項ノ規定ニ依リ密封シタル書類及物件ハ主管部

大臣ノ請求又ハ承諾アリタル場合ヲ除クノ外之ヲ開封スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ開封シタル書類及物件ハ特許發明局長更ニ之ヲ密封シ封印スヘシ

第六條 主管部大臣ハ前條第一項ニ規定スル書類及物件ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル書類及物件ハ主管部大臣更ニ密封シ封印シテ之ヲ還付スヘシ

第七條 軍事上秘密ヲ要スル特許發明ニ對スル評定ノ請求ハ主管部大臣密封シタル書類及物件ノ開封ヲ

承諾シタル場合ニ限り之ヲ受理スルコトヲ得

前項ノ評定ノ評決ニハ理由ヲ附セス

第八條 軍事上秘密ヲ要スル特許發明ニ關スル評定ノ口頭審理ハ之ヲ公開セス

第九條 軍事上秘密ヲ要スル特許發明カ秘密ニスルノ必要ナキニ至リタルトキハ主管部大臣ハ其ノ旨ヲ

特許發明局長ニ通知スヘシ

前項ノ通知アリタルトキハ特許發明局長ハ其ノ特許發明ヲ特許公報ニ記載スヘシ

附則

本令ハ特許發明法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

特許收用法

第一章 收用、取消及實施

第一條 特許發明局長ニ於テ特許出願ニ係ル發明カ特許發明法第十七條第一項ニ該當スト認ムルトキハ之ヲ主管部大臣ニ通知スヘシ

第二條 主管部大臣ニ於テ特許出願ニ係ル發明カ特許發明法第十七條第一項ニ該當シ又ハ特許發明カ同法第十八條第一項ニ該當スト認ムルトキハ實業部大臣ニ協議シタル上特許收用審査委員會ノ裁決ヲ要求スヘシ

第三條 前條ノ要求ヲ爲スニハ要求書ニ左ニ掲クル事項ヲ記載シ特許發明局長ニ差出スヘシ

- 一 願書番號又ハ特許番號
- 二 發明ノ名稱
- 三 特許請求權者又ハ特許權者及特許權ニ關シ登録シタル權利ヲ有スル者ノ姓名名稱及住所又ハ居所
- 四 補償金ノ見積金額及其ノ内譯
- 五 處分ノ種類
- 六 處分ノ理由

第四條 要求書ノ差出アリタルトキハ特許發明局長ハ前條第三號ニ掲クル者ニ對シ同條第四號乃至第六號ニ掲クル事項ヲ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日內ニ意見書ヲ特許發明局長ニ差出スコトヲ得

第五條 前條第一項ノ通知ヲ受ケタル者ハ第十四條又ハ第十五條ノ通知アル迄特許請求權、特許權又ハ特許權ニ關スル權利ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第六條 特許發明局長ハ第四條第二項ニ規定スル期間經過後ニ於テ要求書ニ意見ヲ具シ第四條第二項ノ意見書ヲ添附シテ之ヲ特許收用審査委員會ニ差出スヘシ

第七條 委員長要求書ヲ受理シタルトキハ直ニ特許收用審査委員會ヲ開クコトヲ要ス

第八條 特許收用審査委員會ハ必要ト認ムルトキハ第三條第三號ニ掲クル者ノ意見ヲ聽クコトヲ得

特許收用審査委員會ハ事實參考ノ爲必要ト認ムルトキハ鑑定人ヲ選ヒ又ハ前項ニ掲クル者以外ノ者ノ意見ヲ聽クコトヲ得

第九條 鑑定人及事實參考人ニハ旅費及手當ヲ支給ス

前項ノ旅費及手當ノ支給ニ關シテハ國務總理大臣之ヲ定ム

第十條 特許收用審査委員會ハ開會ノ日ヨリ一週間內ニ裁決ヲ爲スヘシ但シ委員長必要ト認ムルトキハ

其ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第十一條 特許收用審査委員會ノ裁決ハ要求ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條 裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附シ裁決ニ關與シタル委員長及委員之ニ署名捺印スヘシ

裁決書ノ謄本ニハ特許收用審査委員會ノ印章ヲ押捺スヘシ

第十三條 特許收用審査委員會ノ裁決アリタルトキハ委員長ハ特許發明局長ヲ經由シテ主管部大臣及第三條第三號ニ掲クル者ニ對シ裁決書ノ謄本ヲ送達スヘシ

第十四條 主管部大臣ハ特許收用審査委員會ノ裁決ニ拘ラス處分ヲ爲ササルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ特許發明局長及第三條第三號ニ掲クル者ニ通知スヘシ

第十五條 主管部大臣特許收用審査委員會ノ裁決ニ基キ特許請求權若ハ特許權ヲ收用シ又ハ特許權ヲ取消若ハ特許發明ヲ實施スルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ特許發明局長及第三條第三號ニ掲クル者ニ通知スヘシ

第十六條 特許發明法第十九條但書ノ規定ニ基キ主管部大臣特許收用審査委員會ノ議ヲ經スシテ直ニ特許發明ヲ實施セントスルトキハ實業部大臣ニ協議スヘシ但シ補償金ニ關シテハ特許收用審査委員會ノ議ヲ經ルコトヲ要ス



前項ノ實施ヲ爲ストキハ主管部大臣ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ特許發明局長及第三條第三號ニ掲クル者ニ通知スヘシ

第十七條 補償金ハ特許收用審査會ノ裁決書ノ定ムル金額ニ從ヒ特許出願人ノ名義變更ノ届出又ハ特許權ノ移轉、抹消若ハ實施權設定、抹消ノ登録アル迄ニ之カ支給ヲ爲スヘシ但シ第十六條第一項ノ規定ニ依リ特許發明ノ實施ヲ爲ス場合ニ於テハ補償金ニ關スル特許收用審査委員會ノ裁決後遲滯ナク之カ支給ヲ爲スヘシ

左ニ掲クル場合ニ於テハ補償金ハ之ヲ提存スヘシ

- 一 補償金ヲ受クヘキ者カ其ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ之ヲ受領スルコト能ハサルトキ
- 二 補償金ヲ受クヘキ者ノ所在不明ナルトキ

第十八條 特許發明法第十七條又ハ第十八條ニ規定スル政府ノ處分ヲ受ケタル者補償金額ニ不服アルトキハ處分ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日內ニ法院ニ出訴スルコトヲ得

第二章 移轉、實施許諾及取消

第十九條 主管部大臣特許發明法第二十條ノ規定ニ依リ特許權ノ移轉、特許發明ノ實施許諾又ハ實施權ノ取消ヲ爲サントスルトキハ實業部大臣ニ協議シタル上特許收用審査委員會ノ裁決ヲ要求スヘシ

第二十條 前條ノ要求ヲ爲スニハ要求書ニ左ニ掲クル事項ヲ記載シテ之ヲ特許發明局長ニ差出スヘシ

一 特許番號

二 發明ノ名稱

三 移轉若ハ實施許諾契約ノ内容又ハ實施權取消ノ時期

四 要求ノ理由

第二十一條 特許發明局長ハ要求書ノ差出アリタルトキハ意見ヲ具シテ之ヲ特許收用審査委員會ニ差出スヘシ

第二十二條 要求書ノ差出アリタルトキハ委員長ハ直ニ特許收用審査委員會ヲ開クコトヲ要ス

第二十三條 第八條乃至第十三條及第十五條ノ規定ハ特許發明法第二十條ノ規定ニ依ル特許權ノ移轉、特許發明ノ實施許諾又ハ實施權ノ取消ニ付之ヲ準用ス

附則

本法ハ特許發明法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

特許登録税法

第一條 特許ニ關シ登録ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録税ヲ納ムヘシ

一 特許權ノ移轉

(一) 相續ニ因ル移轉 每一件 一圓

(二) 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 十圓

二 實施權ノ設定又ハ保存 每一件 五圓

三 特許權又ハ實施權ヲ目的トスル質權ノ設定 債權金額ノ千分ノ五、五

四 實施權ノ移轉又ハ特許權若ハ實施權ヲ目的トスル質權ノ移轉

(一) 相續ニ因ル移轉 每一件 五角

(二) 相續以外ノ原因ニ因ル移轉 每一件 二圓

五 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限

債權金額ノ千分ノ四

六 代理人ノ選任又ハ代理權ノ登録 每一件 五角

七 假登録 每一件 五角

- 八 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 五角
- 九 抹消シタル登録ノ回復 每一件 五角
- 第二條 政府自己ノ爲ニスル登録ニハ登録税ヲ課セス
- 第三條 登録税ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ
- 第四條 登録ノ抹消、錯誤又ハ遺漏カ當該官吏ノ過誤ニ出テタルモノナルトキハ其ノ回復又ハ更正ノ登録ニ付テハ登録税ヲ課セス

附則

本法ハ特許登録令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

意匠法  
目次

- 第一編 實體規定
- 第二編 手續規定
- 第三編 罰則
- 附則

勅令第 號

意匠法

第一編 實體規定

第一條 物品ニ關シ形狀、構造、組合ハセ、模様若ハ色彩又ハ其ノ結合ニ係ル有用ナル型ニ付産業上利用シ得ヘキ考案ヲ爲シタル者ハ其ノ物品ノ型ニ付意匠ノ登録ヲ請求スルコトヲ得

第二條 左ニ掲クル意匠ニ付テハ意匠ノ登録ヲ請求スルコトヲ得ス

- 一 新規ナラサルモノ
- 二 秩序若ハ風俗ヲ紊リ又ハ衛生ヲ害スル虞アルモノ
- 三 蘭花御紋章ト同一又ハ類似ノ形狀ヲ有スルモノ
- 四 世人ヲ欺瞞スル虞アルモノ

第三條 本法ニ於テ意匠ノ新規ト稱スルハ意匠カ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトナキヲ謂フ

- 一 登録出願前帝國內ニ於テ公然知ラレ若ハ公然用キラレタルモノト同種ノモノ
- 二 登録出願前帝國內ニ頒布セラレタル刊行物ニ容易ニ實施スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ記載セラレタルモノト同種ノモノ

第四條 同種ノ意匠ニ付テハ一登録トス

第五條 同種ノ意匠ニ付テハ最先ノ出願者ニ限り登録ス但シ同日ノ各別ノ出願者アルトキハ協議ニ依ル協議調ハサルトキハ共ニ登録セス

第六條 特許出願者カ其ノ特許出願ヲ意匠登録出願ニ變更シタルトキハ其ノ意匠登録出願ハ特許出願ノ時ニ於テ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七條 外國ニ出願ヲ爲シタル考案ニ付意匠登録請求權者カ意匠ノ登録ヲ出願シタルトキハ其ノ出願ハ外國ニ爲シタル最初ノ出願ノ時ニ於テ之ヲ爲シタルモノト看做ス但シ外國ニ最初ノ出願ヲ爲シタル日ヨリ六月ヲ經過シタル後ノ出願ニ係ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 意匠權ハ登録ニ依リ發生ス

意匠權者ハ其ノ登録意匠ニ係ル物品ヲ業トシテ製作シ及之ヲ使用、販賣又ハ擴布スルノ權利ヲ專有ス意匠權カ其ノ出願ノ日前ノ出願ニ係ル特許權ト牴觸スル場合又ハ登録意匠カ其ノ出願ノ日前ノ出願ニ係ル登録意匠又ハ特許發明ヲ利用スルモノナル場合ニ於テハ意匠權者ハ其ノ意匠權者又ハ特許權者ノ實施許諾アルニ非サレハ其ノ登録意匠ヲ實施スルコトヲ得ス

第九條 意匠登録出願ノ際現ニ善意ニテ帝國内ニ於テ其ノ意匠實施ノ事業ヲ爲シ又ハ事業設備ヲ有スル者ハ其ノ登録意匠ニ付事業ノ目的ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有ス

第十條 同種ノ意匠ニ對スルニ以上ノ登録中其ノ一カ無効ト爲リタル場合又ハ登録ヲ無効トシ同種ノ意

匠ニ付正當權利者ノ爲ニ登録ヲ爲シタル場合ニ於テ原意匠權者及其ノ登録意匠ノ實施權者カ登録ノ無効評定請求ノ登録前現ニ帝國内ニ於テ善意ニテ其ノ意匠實施ノ事業ヲ爲シ又ハ事業設備ヲ有スルトキハ其ノ意匠ニ付事業ノ目的ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有ス

意匠登録出願ノ日前又ハ之ト同日ノ出願ニ係リ其ノ意匠權ト牴觸スル特許權ノ存續期間満了シタル場合ニ於テ其ノ特許發明ノ實施權者ハ其ノ登録意匠ニ付原實施權ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有ス

意匠權者ハ前二項ノ規定ニ依ル實施權者ヨリ相當ノ補償金ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第十一條 意匠登録出願ノ日前又ハ之ト同日ノ出願ニ係リ其ノ意匠權ト牴觸スル特許權ノ存續期間満了後ニ於ケル原特許權者ハ其ノ登録意匠ニ付原權利ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有ス

第十二條 意匠權ノ存續期間ハ本法ニ別段ノ定ナキ限り登録ノ日ヨリ十年トス

第二十四條ノ規定ニ依リ準用スル特許發明法第十三條ノ規定ニ依リ正當權利者ノ爲ニ登録ヲ爲シタルトキハ其ノ意匠權ノ存續期間ハ無効ト爲リタル登録意匠ノ登録ノ日ヨリ十年トス

第十三條 意匠權者ハ他人ノ登録意匠ヲ實施スルニ非サレハ自己ノ登録意匠ヲ實施スルコト能ハサル場合ニ於テ其ノ他人カ正當ノ理由ナクシテ實施ヲ許諾セサルトキ又ハ其ノ他人ノ實施許諾ヲ得ルコト能ハサルトキハ評定ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ實施セラルヘキ登録意匠ノ登録ノ日ヨリ二年ヲ經過セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ實施セラルル登録意匠ノ意匠權者其ノ實施ヲ必要トスル相手方ノ登録意匠ニ付實施ノ許諾ヲ求メタル場合ニ於テ其ノ相手方カ正當ノ理由ナクシテ實施ヲ許諾セサルトキ又ハ其ノ相手方ノ實施許諾ヲ得ルコト能ハサルトキハ評定ヲ請求スルコトヲ得

第十四條 前條ノ規定ニ依ル實施權者ハ意匠權者ニ對シ相當ノ補償金ヲ支拂フヘシ  
補償金額ハ前條ノ評定ニ於テ之ヲ評決ス

第一項ノ實施權者ハ補償金ノ支拂ヲ爲スニ非サレハ其ノ登録意匠ヲ實施スルコトヲ得ス但シ前條ノ評決又ハ第三十條ノ規定ニ依リ準用スル特許發明法第四百十條ノ判決確定前ニ於テハ其ノ評決又ハ判決ニ依ル補償金ニ相當スル金額ヲ提存シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十五條 登録意匠ノ實施權ノ設定、移轉、消滅、變更若ハ處分ノ制限又ハ實施權ヲ目的トスル質權ノ設定、移轉、消滅、變更若ハ處分ノ制限ハ登録ヲ受クルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第十六條 登録意匠ノ實施權ハ其ノ意匠權ヲ爾後取得シタル者及之ヲ目的トスル爾後設定ノ質權ヲ有スル者ニモ對抗スルコトヲ得

第十三條及第二十四條ノ規定ニ依リ準用スル特許發明法第十八條ノ規定ニ依ル實施權ハ其ノ登録前設定ノ質權ヲ有スル者ニ對シテモ對抗スルコトヲ得

第十七條 意匠權者ハ左ノ各號ノ一ニ掲クル事項ヲ目的トスル場合ニ於テハ其ノ登録意匠ノ圖面又ハ說

明書ノ訂正ノ許可ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

一 登録請求範圍ノ減縮

二 誤記ノ訂正

三 不明瞭ナル記載ノ釋明

前項第一號ノ場合ニ於テハ其ノ殘部カ登録出願ノ際獨立シテ新規ノ意匠ナルコトヲ要ス

第十八條 前條ノ場合ニ於テハ登録請求範圍ノ實質ヲ擴張シ又ハ變更スルコトヲ得ス

第十九條 第十七條ノ許可ノ評決確定シタルトキハ登録ノ時ニ遡リテ其ノ效力ヲ生ス

第二十條 登録カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ利害關係人ハ登録ノ無効ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

一 登録カ第一條、第二條、第四條又ハ第五條ノ規定ニ違反シテ爲サレタルトキ

二 登録カ意匠登録請求權ヲ有セサル者ノ爲ニ爲サレタルトキ

三 願書ニ表示シタル考案者真正ナラサリシトキ

四 登録意匠ノ圖面及說明書ニ其ノ實施ニ必要ナル事項ヲ記載セス又ハ其ノ實施ヲ不能若ハ困難ナラシムル爲必要ナラサル事項ヲ記載シタルトキ

五 登録カ第二十四條ノ規定ニ依リ準用スル特許發明法第二十二條第二項ノ勅令ニ違反シテ爲サレタルトキ又ハ之ニ違反スルニ至リタルトキ

六 登録カ第二十四條ノ規定ニ依リ準用スル特許發明法第二十三條ノ條約又ハ之ニ準スヘキモノニ違反シテ爲サレタル場合又ハ違反スルニ至リタル場合ニ於テ其ノ違反カ第一號乃至第四號ニ掲クルモノニ準スヘキモノナルトキ

第十七條ノ許可カ同條第二項又ハ第十八條ノ規定ニ違反シタルトキハ利害關係人ハ許可ノ無効ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

登録又ハ第十七條ノ許可カ前二項ノ規定ニ該當スルトキハ意匠權消滅後ト雖其ノ無効ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

登録ノ無効ノ評定ノ請求ハ審査官ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得但シ第一項第二號ニ該當シ又ハ第四條若ハ第五條ノ規定ニ違反ストノ理由ニ依ル評定ノ請求ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 利害關係人ハ登録範圍確定ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

登録範圍確定ノ評定ハ意匠權消滅後ト雖之ヲ請求スルコトヲ得

第二十二條 登録範圍確定シタルトキハ意匠權ハ初ヨリ其ノ範圍ヲ有シタルモノト看做ス

第二十三條 意匠ノ登録ヲ受クル者又ハ意匠權者ハ登録料トシテ每件左ノ金額ヲ納付スヘシ

一 第一年乃至第三年

毎年 七 圓

二 第四年乃至第七年

毎年 十 圓

三 第八年乃至第十年

毎年 十五 圓

第二十四條 特許發明法第五條、第六條、第十二條乃至第二十四條、第二十七條、第三十四條乃至第三十七條、第四十條、第四十三條、第四十七條、第四十九條、第五十二條、第五十三條、第五十四條第三項第四項、第五十五條乃至第五十八條ノ規定ハ意匠ニ付之ヲ準用ス

#### 第二編 手續規定

第二十五條 審査ハ審査官之ヲ行フ

特許發明局長ハ各出願事件ニ付審査官ヲ指定ス

第三十條ノ規定ニ依リ準用スル特許發明法第八十九條第三項及第四項ノ規定ハ審査官ニ付之ヲ準用ス

第二十六條 特許發明局ニ意匠原簿ヲ備ヘ意匠權及實施權並ニ之ヲ目的トスル質權ノ設定、保存、移轉、消滅、變更、處分ノ制限其ノ他法令ニ定ムル事項ヲ登録ス

登録ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 登録査定又ハ登録スヘシトノ評決確定シタルトキハ之ヲ意匠原簿ニ登録シ意匠登録證ヲ下付ス第十七條ノ許可ノ評決確定シタルトキ亦同シ

第二十八條 特許發明局ハ意匠公報ヲ發行シ登録意匠ニ關スル必要ナル事項ヲ之ニ記載スヘシ但シ軍事上秘密ヲ要スル登録意匠ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條 拒絶査定又ハ第一評定ノ評決ヲ受ケタル者不服アルトキハ其ノ査定又ハ評決ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ抗告評定ヲ請求スルコトヲ得

第十四條第二項ノ規定ニ依ル補償金額ノ評決及第三十條ノ規定ニ依リ準用スル特許發明法第一百十條第一項ノ規定ニ依ル費用ノ評決ニ付テハ獨立シテ抗告評定ヲ請求スルコトヲ得ス

第三十條 特許發明法第五十九條乃至第七十八條、第八十條乃至第八十五條、第八十九條乃至第二百一十條、第二百二十三條乃至第四百一十條ノ規定ハ意匠ニ付之ヲ準用ス

### 第三編 罰 則

第三十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ有期徒刑又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 他人ノ登録意匠ニ係ル物品ト同一ノ物品ヲ業トシテ製作、使用、販賣又ハ擴布シタル者

二 他人ノ登録意匠ニ係ル物品ト類似ノ物品ヲ業トシテ製作、使用、販賣又ハ擴布シタル者

三 他人ノ登録意匠ニ係ル物品ト同一又ハ類似ノ物品ヲ業トシテ製作、使用、販賣若ハ擴布シ又ハセシムル目的ヲ以テ輸入又ハ移入シタル者

前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ有期徒刑又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 詐偽ノ行爲ヲ以テ意匠ノ登録ヲ受ケ又ハ評決ヲ受ケタル者

二 非登録意匠物ヲ登録意匠物ナルカ如ク偽裝シ又ハ偽裝シタル非登録意匠物ヲ販賣若ハ擴布シタル者

三 非登録意匠物ヲ製作若ハ使用セシムル爲又ハ販賣若ハ擴布スル爲文書、圖畫、口頭又ハ其ノ他ノ手段ニ依リ人ヲシテ其ノ物カ登録意匠ニ係ルコトヲ誤信セシムルニ足ル表示ヲ爲シタル者

第三十三條 第三十一條ノ犯罪行爲ヲ組成シ又ハ之ヨリ生シタル物ニシテ刑法ノ規定ニ依リ沒收スルコトヲ得ヘキモノニ付判決言渡前被害者ノ請求アリタルトキハ所有權ヲ被害者ニ移ス旨ノ言渡ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ被害者ハ其ノ物ノ價額ヲ超過スル損害ノ額ニ限り賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 法律ニ依リ宣誓シタル證人、鑑定人又ハ通譯特許發明局又ハ其ノ囑託ヲ受ケタル法院ニ對シ虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以上七年以下ノ有期徒刑ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者事件ノ査定、評決又ハ裁決ノ確定前自白シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三十五條 特許發明局職員又ハ其ノ職ニ在リタル者故ナク其ノ職務上知得タル意匠登録出願中ノ考案又ハ意匠登録出願者ノ事業上ノ秘密ヲ洩漏シ又ハ竊用シタルトキハ三年以下ノ有期徒刑又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十六條 特許發明局ヨリ證人、鑑定人又ハ通譯トシテ呼出サレタル者正當ノ理由ナクシテ呼出ニ應セス又ハ其ノ義務ヲ盡ササルトキハ二百圓以下ノ過怠金ニ處ス



第三十七條 特許發明局ヨリ證據調ニ關シ書類其ノ他ノ物件ノ提出又ハ提示ヲ命セラレタル者正當ノ理

由ナクシテ其ノ命ニ從ハサルトキハ二百圓以下ノ過怠金ニ處ス

第三十八條 特許發明法第四百十九條及第五百十條ノ規定ハ過怠金ヲ科スル場合ニ之ヲ準用ス

附 則

第三十九條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十條 本法施行ノ際外國ニ於テ登録ヲ受ケ現ニ其ノ效力ヲ有スル考案ニ付登録ヲ受ケタル權利者ハ

實業部大臣ノ許可ヲ得タル場合ニ限り其ノ登録意匠ニ付第二條第一號ノ規定ニ拘ラス本法施行ノ日ヨ

リ一年內ニ登録ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意匠ノ登録出願アリタルトキハ第五條ノ規定ニ拘ラス之ヲ登録ス

第四十一條 前條ノ規定ニ依ル意匠權ハ本法施行ノ日ニ於テ發生シタルモノト看做ス

前項ノ意匠權ノ存續期間ハ其ノ外國ニ於ケル殘期間トス

第一項ノ意匠權ハ外國ニ於ケル登録カ無効ト爲リタルトキハ初ヨリ存在セサリシモノト看做ス

第四十二條 本法施行前外國ニ於テ意匠登録出願ヲ爲シタル者ハ實業部大臣ノ許可ヲ得タル場合ニ限り

其ノ未タ登録ナキ意匠ニ付本法施行ノ日ヨリ一年內ニ意匠ノ登録ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル出願アリタルトキハ其ノ順位及發明ノ新規ナリヤ否ヤハ外國ニ爲シタル出願ノ時ヲ

標準トシテ之ヲ定ム

勅令第 號

意匠ノ登録ニ關スル件

意匠ニ關スル登録ニ付テハ特許登録令ヲ準用ス

附 則

本令ハ意匠法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

軍事上秘密ヲ要スル意匠ニ關スル件

軍事上秘密ヲ要スル意匠ニ付テハ康徳三年勅令第

號ヲ準用ス

附則

本令ハ意匠法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

意匠ノ收用ニ關スル件

意匠法第二十四條ノ規定ニ依ル政府ノ處分ニ付テハ特許收用法ノ規定ヲ準用ス

附則

本法ハ意匠法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第

號

意匠登録税法

第一條 意匠ニ關シ登録ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 意匠權ノ移轉

(一) 相續ニ因ル移轉

每一件 一圓

(二) 相續以外ノ原因ニ因ル移轉

每一件 五圓

二 實施權ノ設定又ハ保存

每一件 二圓

三 意匠權又ハ實施權ヲ目的トスル質權ノ設定

債權金額ノ千分ノ五、五

四 實施權ノ移轉又ハ意匠權若ハ實施權ヲ目的トスル質權ノ移轉

(一) 相續ニ因ル移轉

每一件 五角

(二) 相續以外ノ原因ニ依ル移轉

每一件 一圓

五 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限

債權金額ノ千分ノ四

六 代理人ノ選任又ハ代理權ノ登録

每一件 五角

勅令第

號

意匠登録税法

第一條 意匠ニ關シ登録ヲ受クル者ハ左ノ區別ニ從ヒ登録稅ヲ納ムヘシ

一 意匠權ノ移轉

(一) 相續ニ因ル移轉

每一件

一圓

(二) 相續以外ノ原因ニ因ル移轉

每一件

五圓

二 實施權ノ設定又ハ保存

每一件

二圓

三 意匠權又ハ實施權ヲ目的トスル質權ノ設定

債權金額ノ千分ノ五、五

四 實施權ノ移轉又ハ意匠權若ハ實施權ヲ目的トスル質權ノ移轉

(一) 相續ニ因ル移轉

每一件

五角

(二) 相續以外ノ原因ニ依ル移轉

每一件

一圓

五 滯納處分以外ノ原因ニ因ル第一號乃至第三號ノ權利ノ處分ノ制限

債權金額ノ千分ノ四

六 代理人ノ選任又ハ代理權ノ登録

每一件

五角

- 七 假登録 每一件 五角
  - 八 登録ノ更正、變更又ハ抹消 每一件 二角
  - 九 抹消シタル登録ノ回復 每一件 五角
- 第二條 政府自己ノ爲ニスル登録ニハ登録税ヲ課セス
- 第三條 登録税ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ
- 第四條 登録ノ抹消、錯誤又ハ遺漏カ當該官吏ノ過誤ニ出テタルモノナルトキハ其ノ回復又ハ更正ノ登録ニ付テハ登録税ヲ課セス

附則

本法ハ意匠ノ登録ニ關スル件施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

特許發明局官制

第一條 特許發明局ハ實業部大臣ノ管理ニ屬シ發明、意匠及商標ニ關スル事項ヲ掌ル

第二條 特許發明局ニ左ノ職員ヲ置ク

局長	簡任
理事官	三人 薦任
技正	一人 薦任
事務官	六人 薦任
技佐	五人 薦任
屬官	二十一人 委任
技士	九人 委任

第三條 局長ハ實業部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ局務ヲ綜理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第四條 理事官及事務官ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

第五條 技正及技佐ハ上司ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第六條 特許發明局ニ評定官及審査官ヲ置キ局長、理事官、技正、事務官及技佐ヲ以テ之ニ充ツ

評定官ハ評定ニ關スル事務ヲ掌ル

審査官ハ審査ニ關スル事務ヲ掌ル

第七條 屬官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ従事ス

第八條 技士ハ上司ノ指揮ヲ承ケ技術ニ従事ス

第九條 特許發明局ニ評定官佐及審査官佐ヲ置キ屬官及技士ヲ以テ之ニ充ツ

評定官佐ハ評定官ノ指揮ヲ承ケ評定ニ關スル事務ニ従事ス

審査官佐ハ審査官ノ指揮ヲ承ケ審査ニ關スル事務ニ従事ス

第十條 特許發明局ニ登録官ヲ置キ屬官ヲ以テ之ニ充ツ

登録官ハ登録ニ關スル事務ヲ掌ル

附則

本令ハ康徳三年 月 日ヨリ之ヲ施行ス

商標局官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ左表上欄ニ掲クル官ニ在ル者別ニ辭令ヲ發セラレサルトキハ各其ノ相當下欄ニ掲クル官ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

商標局理事官	特許發明局理事官
商標局事務官	特許發明局事務官
商標局屬官	特許發明局屬官
商標局技士	特許發明局技士

勅令第 號

特許收用審査委員會官制

第一條 特許收用審査委員會ハ國務總理大臣ノ管理ニ屬シ特許發明法及意匠法ノ規定ニ依リ政府ノ要求ニ對シ裁決ヲ爲ス

第二條 特許收用審査委員會ハ委員長一人及委員六人ヲ以テ之ヲ組織ス

委員長ハ實業部大臣ヲ以テ之ニ充ツ

委員ノ内二人ハ實業部總務司長及特許發明局長ヲ以テ之ニ充テ其ノ他ノ委員ハ特許收用審査委員會ノ裁決ノ要求アリタル場合ニ於テ其ノ都度關係官廳ノ高等官中ヨリ國務總理大臣之ヲ命ス

第三條 委員長ハ議事及會務ヲ綜理ス委員長事故アルトキハ委員ノ一人命ヲ承ケ職務ヲ代理ス

第四條 特許收用審査委員會ノ議事ハ秘密トシ出席委員ノ過半數ニ依リ之ヲ決ス否可同數ナルトキハ委員長之ヲ決ス

第五條 特許收用審査委員會ニ幹事二人ヲ置ク

幹事ハ實業部高等官中ヨリ國務總理大臣之ヲ命シ委員長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

附 則

本令ハ特許發明法及意匠法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス



勅令第 號

特許、意匠ニ關スル各種ノ手数料ノ件

第一條 特許發明法若ハ意匠法又ハ之ニ基キテ發スル勅令ニ依リ出願、請求共ノ他ノ手續ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納付スヘシ

- 一 特許出願 每一件 十圓
- 二 特許出願人ノ名義變更
  - (一) 相續ニ因ル名義變更 每一件 一圓
  - (二) 相續以外ノ原因ニ因ル名義變更届 每一件 五圓
- 三 特許證複本ノ申請 每一件 五圓
- 四 特許ノ取消ノ請求 每一件 二十圓
- 五 實施權許與ノ請求 每一件 二十圓
- 六 實施權許與ノ取消ノ請求 每一件 二十圓
- 七 意匠登録出願 每一件 五圓
- 八 意匠登録出願人ノ名義變更
  - (一) 相續ニ因ル名義變更届 每一件 一圓

- (二) 相續以外ノ原因ニ因ル名義變更届 每一件 三 圓
- 九 意匠登録證複本ノ申請 每一件 三 圓
- 十 法定期間延長ノ請求 每一件 一 圓
- 十一 證明ノ申請 每一件 一 圓
- 十二 書類ノ謄本ノ申請 謄本一枚ニ付五角歐文書類ハ百語ニ付五角百語ニ滿タサルモ亦同シ但シ書類中圖面アルトキハ圖面一枚ニ付三十圓以下ニ於テ特許發明局ノ定ムル所ニ依ル 每一件 五 圓
- 十三 明細書ノ繙譯ノ申請 每一件 五 圓
- 十四 説明書ノ繙譯ノ申請 每一件 三 圓
- 十五 書類ノ閱覽又ハ謄寫ノ申請 每一件 六 圓
- 十六 意匠ノ登録出願ノ査定ニ對スル抗告評定ノ請求 每一件 十 圓
- 十七 第一評定又ハ抗告評定ノ請求 每一件 二十 圓

- 十八 第一評定又ハ抗告評定ノ參加申請 每一件 五 圓
- 十九 抗告ノ申立 每一件 二 圓
- 二十 費用額裁決ノ請求 每一件 一 圓
- 二十一 費用額裁決又ハ補償金額ノ評決若ハ決定ノ執行力アル正本ノ申請 每一件 一 圓
- 第二條 特許發明法第七十一條第二項ニ規定スル手数料ハ每一件二十圓トス
- 第三條 第一條ノ規定ハ國カ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス場合ニ之ヲ適用セス
- 第四條 手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

附 則

本令ハ特許發明法及意匠法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年四月五日印刷  
昭和十一年四月九日發行

定價金貳拾錢  
送料金四錢

發行所

東京市麴町區丸ノ内三丁目二番地  
社團 帝國發明協會  
法人

發行者

東京市杉並區堀之内二ノ六一五番地  
神田 龍雄

印刷者

東京市京橋區西八丁堀四丁目八番地  
渡邊 正雄

印刷所

東京市京橋區西八丁堀四丁目八番地  
昭文社印刷所  
電話 京橋七二五番

商標法及關係命令

目次

- 商標法
- 商標法施行細則
- 商標局ニ對スル手續ノ代理ニ關スル件
- 商標登録令
- 商標登録令施行細則
- 商標公報發行規程
- 商標公報賣捌人ノ指定
- 商標印版ノ輸入税免除方ニ關スル件

### ○商標法

(大同二年九月二十一日)  
敕令 第七七號

修正 明治卅九年三月勅令第一一號

茲經諮詢參議府制定商標法著即公布此令

(國務總理、實業部總長  
署)

商標法

#### 第一章 總 則

第一條 凡因表彰營業上自己所生產、製造、加工、揀選、證明、經紀或販賣之商品欲專用商標者得呈商標註冊

呈請註冊之商標須用文字、圖形或記號並其聯合式

商標得限定所施顏色呈請註冊

第二條 左列各款不得作為商標呈請註冊

- 一 相同或類似於元首肖像或紋章者

### ○商標法

(大同二年九月二十一日)  
敕令 第七七號

改正 明治卅九年三月勅令第一一號

茲參議府ノ諮詢ヲ經テ商標法ヲ制定シ之ヲ公布セシム

(國務總理、實業部總長  
署)

商標法

#### 第一章 總 則

第一條 營業トシテ自己ノ生産、製造、加工、選擇、證明、取扱又ハ販賣スル商品ナルコトヲ表彰スル爲商標ヲ專用セムトスル者ハ商標ノ登録ヲ受クルコトヲ得

登録ヲ受クルコトヲ得ヘキ商標ハ文字、圖形若ハ記號又ハ其ノ結合ナルコトヲ要ス

商標ハ之ニ施スベキ色ヲ限定シテ登録ヲ受クルコトヲ得

第二條 左ニ掲グル商標ハ之ヲ登録セズ

- 一 元首ノ肖像又ハ紋章ト同一又ハ類似ノモノ

- 二 相同或類似於國旗、國徽、國璽、軍旗或勳章、獎章、記章者
- 三 相同或類似於外國元首之肖像或紋章或國旗、國徽或軍旗者
- 四 相同或類似於白地紅十字之記章或紅十字或日內瓦十字之稱號或文字者
- 五 有紊亂秩序或風俗之虞者
- 六 相同或類似於同種商品習慣上所用之標章者
- 七 相同或類似於政府開辦或經政府許可開辦之博覽會或外國政府所開辦或許可之博覽會獎章牌或褒狀者但領受獎章牌或褒狀者作為其商標之一部分使用時不在此限
- 八 有他人之肖像、姓名、名稱或商號者但已得其承諾者不在此限
- 九 相同或類似於他人註冊商標失效後未滿一年而使用於同種之商品者但他人之該商標其註冊失效前已

- 二 國旗、國徽、國璽、軍旗又ハ勳章、褒章若ハ記章ト同一又ハ類似ノモノ
- 三 外國ノ元首ノ肖像若ハ紋章又ハ國旗、國徽若ハ軍旗ト同一又ハ類似ノモノ
- 四 白地ニ赤十字ノ記章又ハ赤十字若ハ「ジュネヴァ」十字ノ稱號若ハ文字ト同一又ハ類似ノモノ
- 五 秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルモノ
- 六 同種ノ商品ニ廣ク慣用セララル標章ト同一又ハ類似ノモノ
- 七 政府ノ開設シ若ハ政府ノ許可ヲ得テ開設スル博覽會又ハ外國ニ於ケル官設若ハ官許ノ博覽會ノ賞牌若ハ賞狀ト同一又ハ類似ノモノ但シ其ノ賞牌又ハ賞狀ヲ受領シタル者カ其ノ商標ノ一部分トシテ使用セムトスルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 八 他人ノ肖像、氏名名稱又ハ商號ヲ含ムモノ但シ其ノ承諾ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラズ
- 九 登録失效後一年ヲ經過セザル他人ノ登録商標ト同一又ハ類似ニシテ同種ノ商品ニ使用スルモノ但シ其ノ他人ノ商標

有一年以上不使用時不在此限

ガ登録失效前一年以上使用セラレザリシモノナル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

- 十 有發生商品之誤認或混同之虞者
  - 十一 相同或類似於他人之註冊商標而使用於同種商品者
  - 第三條 同一商人於同種商品使用類似商標以作聯合商標爲限得呈請註冊
  - 第四條 二人以上於同種商品以相同或類似之商標各別呈請註冊時限於最先使用者之呈請准其註冊
- 前項情形均未使用或二人以上均係同時使用或使用前後不明時限於最先之呈請准其註冊其在同日有二人以上呈請者由呈請人協議後註冊協議不諧時概不註冊
- 第五條 呈請商標註冊人須遵照實業部大臣所定商品類別指定其使用之商品但關於每一呈請得以指定之商品以同一類別內者爲限
  - 第六條 外國人欲專用商標者得依本法呈請註冊

- 十 商品ノ誤認又ハ混同ヲ生ゼシムル虞アルモノ
  - 十一 他人ノ登録商標ト同一又ハ類似ニシテ同種ノ商品ニ使用スルモノ
  - 第三條 同種ノ商品ニ使用スベキ自己ノ商標ニシテ相類似スルモノハ聯合ノ商標トシテノミ登録ヲ受タルコトヲ得
  - 第四條 同種ノ商品ニ使用スベキ同一又ハ類似ノ商標ニ付登録出願者二人以上アル場合ニ於テハ最先使用者ノ出願ニ限り登録ヲ爲ス
- 前項ノ場合ニ於テ既ニ使用セル者ナキトキ又ハ二人以上同時ノ使用ニ係ルトキ若ハ使用ノ前後不明ナルトキハ最先ノ出願ニ限り登録ヲ爲ス同日ニ二人以上ノ出願者アルトキハ出願者ノ協議ニ依リ登録ヲ爲シ協議調ハザルトキハ登録ヲ爲サズ
- 第五條 商標ノ登録ヲ出願スル者ハ實業部大臣ノ定ムル商品ノ類別ニ從ヒ其ノ使用スベキ商品ヲ指定スルコトヲ要ス但シ一出願ニ於テ指定シ得ベキ商品ハ同一類別内ノモノニ限ル
  - 第六條 外國人ニシテ商標ヲ專用セムトスル者ハ本法ニ依リ商

**第七條** 因商標註冊之呈請所生之權利以與其營業一併移轉者爲限得移轉之

因商標註冊之呈請所生之權利若係共同呈請時非經他方呈請人同意不得讓與自己之權利

因呈請商標註冊所生權利之受讓除繼承情事外非由受讓人呈報變更名義不發生效力

**第八條** 凡在國內住所、居所或營業所皆無者非委託在國內有住所、居所或營業所者爲代理人不得爲商標註冊之呈請及其他程序並不得主張商標專用權或關於商標之權利

**第九條** 關於商標之代理人選任或解任須呈商標局

商標局長對於商標之代理人認爲不適當時得命變更之

**第十條** 商標局長認爲有正當理由時得以職權或依請求

延展其對於商標局所應爲程序之法定期間

**第十一條** 凡爲關於商標之呈請及其他程序者對於其嗣後行爲延誤指定之期間或於註冊之際怠納應繳之註冊費時商標局長得置三月之展緩期間將呈請及其他程序作爲無效

**第十二條** 凡明示事由呈請關於商標之證明、圖樣之摹繪及文件之查閱或抄錄者商標局長應除認爲須守秘密者以外許可之

**第十三條** 本法中期間計之算除另有規定者外準用民法之規定

**第二章 商標專用權**

**第十四條** 已受商標註冊者依第五條規定對於所指定之商品取得其商標之專用權

**第十五條** 凡以普通所使用之方法表示自己之姓名、名稱、商號或該商品之普通名稱、產地、品質、用途、形狀、效用、製法、數量或價格等者不爲商標專用權

標ノ登録ヲ受ケルコトヲ得

**第七條** 商標ノ登録出願ニ依リ生ジタル權利ハ其ノ營業ト共ニスル場合ニ限り之ヲ移轉スルコトヲ得

商標ノ登録出願ニ依リ生ジタル權利ガ共同出願ニ係ルトキハ他ノ出願者ノ同意アルニ非ザレバ自己ノ權利ヲ讓渡スルコトヲ得ズ

商標ノ登録出願ニ依リ生ジタル權利ノ承繼ハ相續ノ場合ヲ除クノ外承繼人ヨリ名義ノ變更ヲ届出ヅルニ非ザレバ其ノ効力ヲ生ゼズ

**第八條** 國內ニ住所、居所及營業所ノ孰レヲモ有セザル者ハ國內ニ住所、居所又ハ營業所ヲ有スル代理人ニ依ルニ非ザレバ商標ノ登録出願其ノ他ノ手續ヲ爲シ又ハ商標專用權若ハ商標ニ關スル權利ヲ主張スルコトヲ得ズ

**第九條** 商標ニ關スル代理人ノ選任又ハ解任ハ商標局ニ届出ヅルコトヲ要ス

商標局長ハ商標ニ關スル代理人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ガ變更ヲ命ズルコトヲ得

**第十條** 商標局長ハ正當ノ理由アリト認ムルトキハ職權又ハ請

求ニ依リ商標局ニ對シ手續ヲ爲スベキ法定ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

**第十一條** 商標ニ關スル出願及其ノ他ノ手續ヲ爲シタル者之ニ關スル爾後ノ行爲ニ付指定ノ期間ヲ懈怠シタルトキ又ハ登録ヲ受クル際納付スベキ登録費ノ納付ヲ怠リタルトキハ商標局長ハ三月ノ猶豫期間ヲ置キ出願及其ノ他ノ手續ヲ無効ト爲スコトヲ得

**第十二條** 事由ヲ明ニシ商標ニ關スル證明、圖樣ノ抄寫又ハ文書ノ查閱若ハ抄錄ノ申請アリタルトキハ商標局長ハ秘密ヲ要スト認ムルモノノ外之ヲ許可スベシ

**第十三條** 本法ニ於ケル期間ノ計算ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外民法ノ規定ヲ準用ス

**第二章 商標專用權**

**第十四條** 商標ノ登録ヲ受ケタル者ハ第五條ノ規定ニ依リ指定シタル商品ニ付其ノ商標ヲ專用スルノ權利ヲ取得ス

**第十五條** 商標專用權ノ效力ハ普通ニ使用セラルル方法ヲ以テ自己ノ氏名名稱若ハ商號又ハ其ノ商品ノ普通名稱、產地、品質、用途、形狀、效用、製法、數量若ハ價格等ヲ表示セルモ



之效力所拘束但以惡意使用姓名、名稱、或商號者不在此限

**第十六條** 商標專用權之存續期間自註冊之日起爲二十年

前項之專用權存續期間得依呈請續展之但呈請續展註冊之商標若有第二條第一款至第七款或第十款情形者不在此限

**第十七條** 商標專用權以與營業一併移轉者爲限得移轉之

商標專用權不得分拆而移轉之  
聯合商標之商標專用權不得分離而移轉之

商標專用權係共有者各該共有人非經他方共有人同意不得移轉其應有部份

**第十八條** 商標專用權之移轉除繼承外非經註冊不生效力

**第十九條** 商標專用權因營業之廢止而消滅

**第二十條** 商標註冊之無效或撤銷均依評定

ノニ及バズ但シ惡意ヲ以テ氏名名稱又ハ商號ヲ使用セルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

**第十六條** 商標專用權ノ存續期間ハ登録ノ日ヨリ二十年トス

前項ノ專用權存續期間ハ更新登録ノ出願ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得但シ更新登録ノ出願ニ係ル商標ガ第二條第一號乃至第七號又ハ第十號ノ規定ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

**第十七條** 商標專用權ハ營業ト共ニスル場合ニ限り之ヲ移轉スルコトヲ得

商標專用權ハ分割シテ之ヲ移轉スルコトヲ得ズ  
聯合ノ商標ノ商標專用權ハ分離シテ之ヲ移轉スルコトヲ得ズ

商標專用權ガ共有ニ係ル場合ニ於テハ各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ズ

**第十八條** 商標專用權ノ移轉ハ相續ノ場合ヲ除クノ外其ノ登録ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

**第十九條** 商標專用權ハ營業ノ廢止ニ因リ消滅ス

**第二十條** 商標登録ノ無效又ハ取消ハ評定ニ依ル

**第二十一條** 註冊或爲無效時視爲起初商標專用權即不存在

註冊撤銷時商標專用權自撤銷之日起無效

### 第三章 註 冊

**第二十二條** 商標局應備置商標底冊註冊商標專用權之設定、移轉、變更、消滅及其他法令所定事項

關於註冊之規定由實業部大臣定之

**第二十三條** 審定確定或再審查決定應准註冊時經商標局註冊後發給註冊證

**第二十四條** 商標局應刊行商標公報登載商標之註冊及關於商標之必要事項

**第二十五條** 受商標之註冊者於其註冊時應繳納左列註冊費

- 一 商標專用權設定之註冊 每件五十圓
- 二 商標專用權存續期間續展之註冊 每件七十圓
- 三 商標專用權移轉之註冊 每件十圓

因繼承之移轉

每件十圓

**第二十一條** 登録ガ無効ト爲リタルトキハ商標專用權ハ初ヨリ存在セザリシモノト見做ス

登録ノ取消アリタルトキハ商標專用權ハ取消アリタル日ヨリ其ノ效力ナキモノトス

### 第三章 登 録

**第二十二條** 商標局ハ商標原簿ヲ備ヘ商標專用權ノ設定、移轉、變更、消滅其ノ他法令ニ定ムル事項ノ登録ヲ爲ス

**第二十三條** 登録ヲ爲スベシトノ審定確定シ又ハ再審査ノ決定アリタルトキハ商標局ハ登録ヲ爲シ登録證ヲ發給ス

**第二十四條** 商標局ハ商標公報ヲ發行シ商標ノ登録及商標ニ關スル事項ヲ登載ス

**第二十五條** 商標ノ登録ヲ受クル者ハ登録ヲ受クル際左ノ登録費ヲ納付スベシ

- 一 商標專用權設定ノ登録 每件五十圓
- 二 商標專用權ノ存續期間更新ノ登録 每件七十圓
- 三 商標專用權ノ移轉ノ登録 每件十圓

相續ニ因ル場合

每件十圓

因其他事由之移轉 每件二十四  
四 註冊事項之變更或塗銷 每件一圓  
已繳註冊費概不發還

第四章 審查及再審查

第二十六條 凡有呈請商標註冊或商標專用權存續期間  
續展之註冊時由商標局長指定審查員令其審查

依前項規定審查員關於審查獨立行使其職務

第二十七條 審查員對於呈請之商標認爲與他人呈請之  
商標相抵觸時應向各呈請人發商標互相抵觸之通知指  
定期間令各呈請人提出關於商標使用時期之辯明書受  
理該辯明書時應送達於相對人令其具呈答辯書

第二十八條 審查員認爲應核駁時對於呈請人示知其核  
駁之理由指定期間與以提出意見書之機會但有前條情  
形時不在此限

第二十九條 審查時得調查證據

其ノ他ノ事由ニ因ル場合 每件二十四  
四 登錄事項ノ變更又ハ消抹 每件一圓  
既納ノ登錄費ハ之ヲ還付セズ

第四章 審查及再審查

第二十六條 商標ノ登錄又ハ商標專用權存續期間更新ノ登錄出  
願アリタルトキハ商標局長ハ審查官ヲ指定シテ之ヲ審查セシ  
ム

前項ノ規定ニ依ル審查官ハ審查ニ關シ獨立シテ職務ヲ行フ

第二十七條 審查官ハ出願ニ係ル商標ガ他人ノ出願ニ係ル商標  
ト抵觸スト認メタル場合ニ於テハ各出願人ニ商標抵觸ノ通知  
ヲ爲シ期間ヲ指定シテ各出願人ニ商標使用ノ時期ニ關スル辯  
明書ヲ提出セシメ其ノ辯明書ヲ受理シタルトキハ之ヲ相手方  
ニ送達シ期間ヲ指定シテ答辯書ヲ差出サシムベシ

第二十八條 審查官ハ出願ヲ拒絕スベキモノト認メタルトキハ  
出願人ニ對シ拒絕ノ理由ヲ示シ期間ヲ指定シテ之ニ意見書提  
出ノ機會ヲ與フベシ但シ前條ノ規定ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在  
ラス

第二十九條 審查ニ於テハ證據調ヲ爲スコトヲ得

調查證據時得用通譯

第三十條 調查證據之費用得令預先繳納

關於審查爲調查證據所需費用之負擔依職權以該案件  
之審定之在此種情形斟酌其事由亦得定其額數

以審定只定調查證據費用之負擔時其金額據其請求由  
商標局長決定之

第三十一條 審查以審定終了之

審定應附理由

第三十二條 受審定有不服者自其審定送達之日起六十  
日以内得對於商標局長請求再審查

有審查之請求時由商標局長審查之

第二十六條第二項之規定於前項情形準用之

第三十三條 請求再審查時應提出再審查請求書

再審查請求書內應記述一定之聲請及理由

第三十四條 再審查時即關於再審查請求人未經聲請之

證據調ヲ爲ス場合ニ於テハ通譯ヲ用キルコトヲ得

第三十條 證據調ノ費用ハ之ヲ豫納セシムルコトヲ得

審查ニ關シ爲シタル證據調ノ費用ノ負擔ハ職權ニ依リ其ノ事  
件ノ審定ヲ以テ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ事情ニ依リ其ノ金  
額ヲモ決定スルコトヲ得

審定ヲ以テ證據調ノ費用ノ負擔ノミヲ定メタルトキハ其ノ金  
額ハ請求ニ依リ商標局長之ヲ決定ス

第三十一條 審查ハ審定ヲ以テ之ヲ終了ス

審定ニハ理由ヲ附スベシ

第三十二條 審定ヲ受ケタル者不服アルトキハ其ノ審定ノ送達  
ヲ受ケタル日ヨリ六十日以内ニ商標局長ニ對シ再審查ヲ請求  
スルコトヲ得

再審查ノ請求アリタルトキハ商標局長之ヲ審查ス

第二十六條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條 再審查ノ請求ハ再審查請求書ヲ提出シテ之ヲ爲ス  
ベシ

再審查請求書ニハ一定ノ申立及理由ヲ記載スベシ

第三十四條 再審查ニ於テハ再審查請求者ノ申立テザル事由ニ

理由亦得審査

**第三十五條** 第二十九條第三十條及第四十七條之規定於再審査亦準用之

**第三十六條** 第二十八條之規定對於核駁審定之再審査發見其審定與核駁相異之理由時準用之

**第三十七條** 於再審査駁斥審定時得爲發回審查之決定

依前項規定爲決定時其所爲駁斥理由之事項關於該件拘束審查員

**第三十八條** 再審査以決定終了之

決定應附理由

**第三十九條** 除本法規定者外關於審查及再審査應送達之文件及關於送達之規定由實業部大臣定之

**第四十條** 於民事或刑事訴訟有必要時法院得迄至其審定確定或再審査決定爲止停止其訴訟程序

付テモ審査スルコトヲ得

**第三十五條** 第二十九條第三十條及第四十七條ノ規定ハ再審査ニ付之ヲ準用ス

**第三十六條** 第二十八條ノ規定ハ拒絕ノ審定ニ對スル再審査ニ於テ其ノ審定ノ理由ト異ナル拒絕ノ理由ヲ發見シタル場合ニ之ヲ準用ス

**第三十七條** 再審査ニ於テ審定ヲ破毀スル場合ニ於テハ更ニ審査ニ付スベシトノ決定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル決定アリタル場合ニ於テハ其ノ破毀ノ理由ト爲シタル事項ハ其ノ事件ニ付テハ審査官ヲ羈束ス

**第三十八條** 再審査ハ決定ヲ以テ之ヲ終了ス

決定ニハ理由ヲ附スベシ

**第三十九條** 本法ニ規定スルモノノ外審査及再審査ニ關スル書類ニシテ送達スベキモノ及送達ニ關スル規定ハ實業部大臣之ヲ定ム

**第四十條** 民事又ハ刑事ノ訴訟ニ於テ必要アルトキハ法院ハ審定ノ確定又ハ再審査ノ決定アル迄其ノ訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

## 第五章 評定

**第四十一條** 有左列各款之一者應依評定撤銷商標註冊

一 商標專用權人無正當理由而自註冊之日起一年間未使用其商標或繼續二年間已停止其使用者但於聯合商標至少尙使用其一者不在此限

二 商標專用權人於該註冊商標故意自行變換或加附記以致商品有誤認混同之虞而使用者

依前項第二款之規定被撤銷註冊者自撤銷註冊之日起一年間對於同種商品不得呈請相同或類似之商標註冊

**第四十二條** 有左列各款之一者應依評定將商標註冊作爲無效

一 商標之註冊違背第一條至第四條前條第二項或第七十條之規定而註冊者

二 商標之註冊非因呈請註冊所生之權利受讓人爲之者

## 第五章 評定

**第四十一條** 左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ評定ニ依リ商標ノ登録ヲ取消ス

一 商標專用權者正當ノ理由ナクシテ登録ノ日ヨリ一年間其ノ商標ヲ使用セザリシトキ又ハ引續キ二年間其ノ使用ヲ中止セルトキ但シ聯合ノ商標ノ内少クトモ其一ヲ使用セルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二 商標專用權者故意ニ其ノ登録商標ニ商品ノ誤認混同ヲ生ゼシムル虞アル附記又ハ變更ヲ爲シテ使用シタルトキ

前項第二號ノ規定ニ依リ登録ヲ取消サレタル者ハ登録ノ取消アリタル日ヨリ一年間同種ノ商品ニ付同一又ハ類似ノ商標ノ登録ヲ受クルコトヲ得ズ

**第四十二條** 左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ評定ニ依リ商標ノ登録ヲ無効ト爲ス

一 商標ノ登録ガ第一條乃至第四條前條第二項又ハ第七十條ノ規定ニ違反シテ爲サレタルトキ

二 商標ノ登録ガ登録出願ヨリ生ジタル權利ノ承繼人ニ非ザル者ノ爲ニ爲サレタルトキ

三 商標之註冊除有第四條情形外非爲最先使用人爲之者但依第七十條已受註冊時不在此限

商標專用權存續期間續展之註冊有左列各款之一者應依評定作爲無效

一 違背第十六條第三項但書之規定者

二 註冊係非商標專用權者

第四十三條 前二條所規定之撤銷及無效之評定限於利害關係人或審查員得請求之但有前條第一項第二款第三款或第二項第二款之情形或依有違背第二條第八款第九款第十一款第三款第四條之理由時審查員不得請求無效之評定

依前條規定爲無效之評定雖在商標專用權消滅後仍遵照前項之規定得請求之

第四十四條 第四十二條所規定之無效之評定自註冊之日起經過三年時不得請求之但有同條第一項第三款情形並違背第二條第一款至第七款第十款或第四條規定

三 第四條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外商標ノ登録方最先使用

者ニ非ザル者ノ爲ニ爲サレタルトキ但シ第七十條ノ規定ニ依リ登録ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

商標專用權存續期間更新登録方左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ評定ニ依リ之ヲ無効ト爲ス

一 登録方第十六條第二項但書ノ規定ニ違反シテ爲サレタルトキ

二 登録方商標專用權者ニ非ザル者ノ爲ニ爲サレタルトキ

第四十三條 前二條ニ規定スル場合ニ於ケル取消及無効ノ評定ハ利害關係人又ハ審査官ニ限り之ヲ請求スルコトヲ得但シ審査官ハ前條第一項第二號第三號若ハ第二項第二號ニ該當シ又ハ第二條第八號第九號第十號第三條若ハ第四條ニ違反ストノ理由ニ依ル無効ノ評定ヲ請求スルコトヲ得ズ

前條ニ規定スル場合ニ於ケル無効ノ評定ハ商標專用權消滅後ト雖前項ノ規定ニ從ヒ之ヲ請求スルコトヲ得

第四十四條 第四十二條ニ規定スル場合ニ於ケル無効ノ評定ハ登録ノ日ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ズ但シ同條第一項第三號ニ該當ストノ理由ニ依ル場合並ニ第

之理由時不在此限

第四十五條 關於認定商標專用權之範圍利害關係人得

請求評定

第四十六條 請求評定時應提出評定請求書

評定請求書應記述一定之聲請及理由

第四十七條 評定請求書違背法令所定方式時評定長應

指定相當期間令其補正其缺欠其不繳納法定公費時亦同

請求人不爲缺欠之補正時評定長應以決定駁回評定請求書

前項決定應附理由

第四十八條 評定長受理評定請求書時應以其副本送達於被請求人指定期間令提出答辯書

關於評定對當事人所提出之文件得令相對人提出答辯

二條第一號乃至第七號第十號又ハ第四條ノ規定ニ違反ストノ理由ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十五條 利害關係人ハ商標專用權ノ範圍ノ確認ノ評定ヲ請求スルコトヲ得

第四十六條 評定ノ請求ハ評定請求書ヲ提出シテ之ヲ爲スベシ

評定請求書ニハ一定ノ申立及理由ヲ記載スベシ

第四十七條 評定請求書ガ法令ニ定メタル方式ニ違背シタル場合ニ於テハ評定長ハ相當ノ期間ヲ定メ其ノ期間内ニ欠缺ヲ補正スベキコトヲ命ズベシ成規ノ手数料ヲ納付セザル場合亦同

請求人ガ欠缺ノ補正ヲ爲サザルトキハ評定長ハ決定ヲ以テ評定請求書ヲ却下スベシ

前項ノ決定ニハ理由ヲ附スベシ

第四十八條 評定長ハ評定請求書ヲ受理シタルトキハ其ノ副本ヲ被請求人ニ送達シ期間ヲ指定シテ答辯書ヲ提出セシムベシ

評定ニ於テハ當事者ノ提出シタル書類ニ對シ相手方ヲシテ答

書或對當事人發訊問書令其提出意見書

**第四十九條** 評定依評定員三人之合議以過半數決之

評定長以評定員中資深者充之

**第五十條** 評定員關於各該評定案件由商標局長指定之

評定員如有障礙不應干與評定時商標局長撤銷其指定另派評定員補充之

**第二十六條**第二項規定於評定員準用之

**第五十一條** 評定除依聲請或以職權評定長定爲口頭審理者外以書狀審理之

口頭審理公開之但有妨害秩序或風俗之虞者評定長得停止其公開

口頭審理得用通譯

**第五十二條** 第二十九條之規定於評定準用之

**第五十三條** 第三十條之規定關於評定之費用準用之

**第五十四條** 當事人雖於法定或指定期間內不爲程序或

辯書ヲ提出セシメ又ハ當事者ニ訊問書ヲ發シテ之ニ對スル意見書ヲ提出セシムルコトヲ得

**第四十九條** 評定ハ評定官三人ノ合議ニ依リ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

評定長ハ評定官中ノ上席者ヲ以テ之ニ充ツ

**第五十條** 評定官ハ各評定事件ニ付商標局長之ヲ指定ス

評定ニ干與スルニ故障アル評定官アルトキハ商標局長ハ其ノ指定ヲ解キ更ニ他ノ評定官ヲ以テ之ヲ補充ス

**第二十六條**第二項ノ規定ハ評定官ニ付之ヲ準用ス

**第五十一條** 評定ハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ評定長口頭審理ニ依ルト爲シタル場合ノ外書面審理ニ依ル

口頭審理ハ之ヲ公開ス但シ秩序又ハ風俗ヲ害スルノ虞アルトキハ評定長ハ其ノ公開ヲ停止スルコトヲ得

口頭審理ニ於テハ通譯ヲ用キルコトヲ得

**第五十二條** 第二十九條ノ規定ハ評定ニ付之ヲ準用ス

**第五十三條** 第三十條ノ規定ハ評定ニ關スル費用ニ付之ヲ準用ス

**第五十四條** 當事者ガ法定若ハ指定ノ期間内ニ手續ヲ爲サズ又

臨期不到時評定長亦得進行其評定

**第五十五條** 評定之請求在其審理終結前得撤回之但已提出答辯書後須得相對人之承諾

**第五十六條** 評定時對於未經當事人聲請或已撤回之理由亦得審理在此情形對於其理由應指定期間與當事人以聲明意見之機會

**第五十七條** 案件適至評決時評定長應對當事人通知審理終結

評定長有必要時依前項規定雖已通知審理終結後亦得依聲請或以職權再開審理

**第五十八條** 評定除另有規定外以評決終了之

評決應附理由

**第五十九條** 第三十九條之規定於評定準用之

ハ期日ニ出頭セザルトキト雖評定長ハ評定ヲ進行スルコトヲ得

**第五十五條** 評定ノ請求ハ其ノ審理ノ終結ニ至ル迄之ヲ取下グルコトヲ得但シ答辯書ノ提出アリタル後ニ於テハ相手方ノ承諾ヲ要ス

**第五十六條** 評定ニ於テハ當事者ノ申立テザル理由又ハ取下グタル理由ニ付テモ之ヲ審理スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ理由ニ付當事者ニ期間ヲ指定シテ意見申立ノ機會ヲ與フベシ

**第五十七條** 事件ガ評決ヲ爲スニ熟シタルトキハ評定長ハ審理ノ終結ヲ當事者ニ通知スベシ

評定長ハ必要アルトキハ前項ノ規定ニ依リ審理ノ終結ヲ通知シタル後ト雖申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ審理ノ再開ヲ爲スコトヲ得

**第五十八條** 評定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外評決ヲ以テ之ヲ終了ス

評決ニハ理由ヲ附スベシ

**第五十九條** 第三十九條ノ規定ハ評定ニ付之ヲ準用ス

第六十條 關於註冊商標之效力或認定商標專用權範圍之評決註冊後無論何人均不得以同一事實請求再行評定

第六十一條 於民事或刑事訴訟有必要時法院得關於商標之註冊迄至評決間停止其訴訟程序

第六十二條 審查及再審查調查證據之費用額之決定並評定費用額之決定關於強制執行與有執行力之債務名義有同一效力

#### 第六章 罰 則

第六十三條 有左列各款之一者處以三年以下之有期徒刑或拘役或三千圓以下之罰金

一 以相同或類似於他人註冊商標之商標使用於同種商品者

二 以前款商品交付販賣或意圖交付販賣而輸入或持有者

三 意圖以相同或類似於他人註冊商標之商標令使用於同種商品交付販賣或意圖交付販賣而持有者

第六十條 商標ノ登録ノ效力又ハ商標專用權ノ範圍ノ確認ニ關スル評決ノ登録アリタルトキハ何人ト雖同一事實ニ基キ更ニ評定ヲ請求スルコトヲ得ズ

第六十一條 民事又ハ刑事ノ訴訟ニ於テ必要アルトキハ法院ハ商標ノ登録ニ關シ評決アル迄其ノ訴訟手續ヲ中止スルコトヲ得

第六十二條 審査及再審査ノ證據調ノ費用額ノ決定並ニ評定ニ關スル費用額ノ決定ハ強制執行ニ關シテハ執行力アル債務名義ト同一效力ヲ有ス

#### 第六章 罰 則

第六十三條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ有期徒刑若ハ拘役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 他人ノ登録商標ト同一又ハ類似ノ商標ヲ同種ノ商品ニ使用シタル者

二 前號ノ商品ヲ交付又ハ販賣シ若ハ交付販賣ノ目的ヲ以テ輸入シ又ハ所持スル者

三 他人ノ登録商標ト同一又ハ類似ノ商標ヲ同種ノ商品ニ使用セシムルノ目的ヲ以テ交付シ若ハ販賣シ又ハ交付、販賣

四 意圖以相同或類似於他人註冊商標之商標使用或令使用於同種商品而輸入者

五 意圖以相同或類似於他人註冊商標之商標使用或令人使用於同種商品而偽造或仿造者

六 意圖偽造或仿造他人之註冊商標或令人偽造或仿造而製造交付販賣或持有其器具者

七 關於同種之商品以相同或類似於他人註冊商標之商標使用於營業上所用之廣告、招牌、單票或交易字據者

第六十四條 有左列各款之一者處以二年以下之有期徒刑或拘役二千圓以下之罰金

一 以詐欺行為取得商標之註冊或商標專用權存續期間續展之註冊或意圖取得者

二 以未經註冊之商標以令人誤認爲已註冊之方法使用於商品者

ノ目的ヲ以テ所持スル者

四 他人ノ登録商標ト同一又ハ類似ノ商標ヲ同種ノ商品ニ使用スルノ目的又ハ使用セシムルノ目的ヲ以テ輸入シタルモノ

五 他人ノ登録商標ヲ同種ノ商品ニ使用スルノ目的又ハ使用セシムルノ目的ヲ以テ偽造又ハ模造シタル者

六 他人ノ登録商標ヲ偽造若ハ模造スルノ目的又ハ偽造若ハ模造セシムルノ目的ヲ以テ其ノ用具ヲ製作、交付、販賣又ハ所持スル者

七 同種ノ商品ニ關シ他人ノ登録商標ト同一又ハ類似ノモノヲ營業ニ用キル廣告、看板、引札又ハ取引書類ニ使用シタル者

第六十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二年以下ノ有期徒刑若ハ拘役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 詐偽ノ行為ヲ以テ商標ノ登録若ハ商標專用權存續期間更新ノ登録ヲ受ケ又ハ受ケムトシタル者

二 登録ヲ受ケザル商標ヲ登録商標ト誤認セシムル方法ヲ以テ商品ニ使用シタル者

三 以前款商品交付販賣或意圖交付販賣而持有者

四 以未經註冊之商標以使人誤認爲已註冊商標之方法使用於營業所用之廣告、招牌、單票或交易字據者

第六十五條 出具甘結之證人、鑑定人或通譯對於商標局爲虛偽之陳述時處以一年以下之有期徒刑拘役

犯前項之罪者於該案之審定決定或評決以前自白時得減輕或免除其刑罰

第六十六條 商標局所傳喚之證人、鑑定人或通譯無正當理由不應傳喚或不盡其義務者處以一百圓以下之過怠金

第六十七條 商標局關於調查證據令其提出或提示文件及其他物件時無正當理由不遵服命令者處以一百圓以下之過怠金

第六十八條 於施行本法有必要之規定由實業部大臣定之

三 前號ノ商品ヲ交付シ販賣シ若ハ交付、販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持スル者

四 登録ヲ受ケザル商標ヲ登録商標ト誤認セシムル方法ヲ以テ營業ニ用キル廣告、看板、引札又ハ取引書類ニ使用シタル者

第六十五條 宣誓シタル證人、鑑定人ハ又通譯ガ商標局ニ對シ虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ有期徒刑又ハ拘役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者事件ノ審定決定又ハ評決前ニ自白スルトキハ其ノ刑罰ヲ輕減又ハ免除ス

第六十六條 商標局ヨリ證人、鑑定人又ハ通譯トシテ招カレタルモノ正當ノ理由ナクシテ其ノ招キニ應ゼズ又ハ其ノ義務ヲ盡サザルトキハ百圓以下ノ過怠金ニ處ス

第六十七條 商標局ヨリ證據調ニ關シ書類其ノ他ノ物件ノ提出又ハ提示ヲ命ゼラレタル者正當ノ理由ナクシテ其ノ命ニ從ハザルトキハ百圓以下ノ過怠金ニ處ス

第六十八條 本法施行ニ關シ必要ナル規定ハ實業部大臣之ヲ定ム

#### 附 則

第六十九條 本法自大同二年十一月二十日施行

第七十條 大同元年三月一日以前依法令已經註冊之商標於本法施行之際仍有其效力者自施行本法之日起一年以內呈請其註冊時得不拘第二條第十一款並第四條之規定註冊之  
依前項規定之註冊費每件爲四十圓

#### ○商標法施行細則

(大同二年九月二十一日  
實業部令第六號)

茲制定商標法施行細則公布之

商標法施行細則

#### 第一章 總 則

第一條 對於商標局呈請商標註冊或請求或其他程序除有本細則特別規定外以文書爲之  
文書須每一件具一份應載明呈送人之住所或營業所及呈送之年月日由呈送人記名蓋章

#### 附 則

第六十九條 本法ハ大同二年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

第七十條 大同元年三月一日以前法令ニ依リ商標ノ登録ヲ受ケ本法施行ノ際現ニ其ノ效力ヲ有スル者本法施行ノ日ヨリ一年以內ニ本法ニ依リ其ノ登録ヲ出願スルトキハ第二條第十一款並第四條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ登録ス  
前項ノ規定ニ依ル登録費ハ每件四十圓トス

#### ○商標法施行細則

(大同二年九月二十一日  
實業部令第六號)

茲ニ商標法施行細則ヲ制定シ之ヲ公布ス

商標法施行細則

#### 第一章 總 則

第一條 商標局ニ對シ爲ス出願、請求其ノ他ノ手續ハ本則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ  
書面ハ一件毎ニ一通ヲ作り之ニ差出人ノ住所又ハ營業所及差出ノ年月日ヲ記載シ差出人記名捺印スベシ

**第二條** 文書須以國文書之

證明代理權之文書、國籍證明書或其他文書原係外國  
文者應添附譯本

**第三條** 呈送商標局文書者有相對人時應添具需要數之  
副本但有相對者數人而有第二十四條但書規定之代表  
時其副本以對其代表者之數爲足

**第四條** 代理人爲呈請商標註冊、請求或其他程序者應  
附呈證明代理權之文書

**第五條** 外國人爲呈請商標註冊、請求或其他程序者應  
附呈國籍證明書

前項外國人係法人時應呈送爲法人之證明書

**第六條** 關於商標代理人之代理權其發生、消滅、變更  
應添附證明事實之文書呈報之

**第七條** 依前三條之規定所呈送之證明書同時呈請數件  
之商標註冊、請求或其他程序時於其一程序呈送一份  
其餘程序得表示其事由省略之

**第二條** 書面ハ國文ヲ以テ之ヲ認ムベシ

代理權ヲ證スル書面、國籍證明書其ノ他ノ書類ニシテ外國文  
ヲ以テ認メタルモノニハ其ノ譯文ヲ添附スベシ

**第三條** 商標局ニ書面ヲ差出ス者ハ相手方ニ送付スル爲必要ナ  
ル員數ノ副本ヲ差出スベシ但シ相手方數人アル場合ニ於テ第  
二十四條但書ノ代表者アルトキハ其ノ代表者ノ數ニ應ズル副  
本ヲ差出スヲ以テ足ル

**第四條** 代理人ガ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テハ  
其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スベシ

**第五條** 外國人ガ出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テハ  
其ノ國籍ヲ證スル書面ヲ差出スベシ

前項ノ外國人ガ法人ナルトキハ其ノ法人タルコトヲ證スル書  
面ヲ差出スベシ

**第六條** 商標ニ關スル代理人ノ代理權ノ發生消滅變更ハ其ノ事  
實ヲ證スル書面ヲ添附シテ之ヲ届出ヅベシ

**第七條** 前三條ノ規定ニ依リ差出スベキ證明書ハ同時ニ數個ノ  
出願請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ一ノ手續ニ付  
之ヲ差出シ其ノ他ノ手續ニ付テハ其ノ旨ヲ表示シテ其ノ差出

ヲ省略スルコトヲ得

**第八條** 對於商標局商標之呈請註冊或商標專用權存續  
期間續展之呈請註冊後所呈文書或其他物件應表示商  
標呈請號數其請求再審查或評定後所呈文書或其他物  
件應表示再審查號數或評定號數

**第九條** 對於商標局所爲商標之呈請、請求或其他程序  
違背商標法或本細則規定或於其程序不呈送證明代理  
權之文書或不繳納規定之公費、所呈文書或樣本不明  
瞭或不完備時商標局長得指定期間令其改正或補充

對於商標局呈送文書或樣本者限於審查、再審查或評  
定之繫屬中得改正或補充但變更其要旨者不在此限

**第十條** 於前條第二項規定之適用以單獨呈請之商標變  
更爲聯合之商標或以聯合之商標變更爲單獨之商標呈  
請註冊者不爲變更要旨

**第八條** 商標局ニ對シ商標又ハ商標專用權存續期間更新ノ登錄  
出願後其ノ出願ニ關シ書類其ノ他ノ物件ヲ差出ス者ハ之ニ其  
ノ願書番號ヲ表示シ再審查又ハ評定ノ請求後其ノ請求ニ關シ  
書類其ノ他ノ物件ヲ差出ス者ハ之ニ再審查番號又ハ評定番號  
ヲ表示スベシ

**第九條** 商標局ニ對シテ爲シタル出願、請求其ノ他ノ手續ガ商  
標法若ハ本則ニ定メタル方式ニ違背シタル場合、其ノ手續ニ  
付代理權ヲ證スル書面ヲ差出サズ若ハ成規ノ手数料ヲ納付セ  
ザル場合又ハ商標局ニ差出シタル書類若ハ見本ガ不明瞭若ハ  
不完備ナル場合ニ於テハ商標局長ハ期間ニ指定シテ其ノ訂正  
又ハ補充ヲ命ズルコトヲ得

商標局ニ書類又ハ見本ヲ差出シタル者ハ審查、再審查又ハ評  
定ノ繫屬中ニ限り之ヲ訂正シ又ハ補充スルコトヲ得但シ其ノ  
要旨ヲ變更スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

**第十條** 前條第二項ノ規定ノ適用ニ關シテハ單獨ノ商標登錄出  
願ヲ聯合ノ商標登錄出願ニ、聯合ノ商標登錄出願ヲ單獨ノ商  
標登錄出願ニ變更スルハ其ノ要旨ヲ變更スルモノト看做サズ



**第十一條** 關於審查、再審查或評定商標局長、評定長或審查員認為必要時對於當事人得指定期間令其呈送樣本

**第十二條** 對於商標局所呈商標印版或樣本欲發還者於呈送時豫行聲明

前項印版樣本或呈送商標局之證據物件須自商標局通知之日起三十日以內為其領取程序

呈送人不為第一項之聲明或不為前項程序時商標局長得將其印版、樣本或證據物件之分處

**第十三條** 商標局長、評定長或審查員得依請求或以職權變更商標法或本細則所指定之期日或期間

**第十四條** 關於審查、再審查或評定之文書依法令應送達者及指定期日或期間者或依送達為開始期間之進行者除有本細則特別規定外以郵便或商標局傳達夫送達之

**第十一條** 審查、再審查又ハ評定ニ關シ商標局長一評定長又ハ審查官必要ノ認ムルトキハ當事者ニ對シ期間ヲ指定シテ見本ノ差出ヲ命ズルコトヲ得

**第十二條** 商標局ニ差出シタル商標ノ印版又ハ見本ノ返還ヲ受ケムトスル者ハ差出ノ際其ノ旨ヲ申出ヅベシ

前項ノ印版若ハ見本又ハ商標局ニ差出シタル證據物件ハ商標局ヨリ還付ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內ニ其ノ受取ノ手續ヲ為スベシ

差出人ガ第一項ノ申出又ハ前項ノ手續ヲ為サザルトキハ商標局長ハ其ノ印版若ハ見本又ハ證據物件ヲ處分スルコトヲ得

**第十三條** 商標局長、評定長又ハ審查官ハ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ商標法又ハ本則ニ依リ其ノ指定シタル期日又ハ期間ヲ變更スルコトヲ得

**第十四條** 審查、再審查又ハ評定ニ關スル書類ニシテ法令ニ送達スベシトノ規定アルモノ、期日若ハ期間ヲ指定セルモノ又ハ送達ニ依リ期間ノ進行ヲ始ムルモノハ本則ニ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外郵便又ハ商標局ノ傳達夫ヲ以テ之ヲ送達ス

**第十五條** 依郵便送達時以雙掛號郵便為之

**第十六條** 受送達之人其住所、居所、營業所其他送達之地點不明或未能依前條規定送達者得為公示送達

公示送達須將該送達之文書無論何時均可交付受送達人之旨公告於政府公報及商標公報並揭示於商標局揭示板

公示送達自政府公報登載之日起經過二十日發生其效力

於同一案件對於同一人之公示送達得省略政府公報及商標公報之登載於此情形以揭示於商標局揭示板之日發生其效力

**第十七條** 商標法第八條規定之代理人不存在時對於國內住所或營業所皆無者所為之送達得將該文書託付郵便為之於此情形以託付郵便之日即視為送達

**第十八條** 文書或其他物件之呈送以商標局接收之日發

**第十五條** 郵便ニ依リ送達ヲ為ス場合ニ於テハ配達證明郵便ヲ以テ之ヲ為ス

**第十六條** 送達ヲ受クベキ者ノ住所、居所、營業所其ノ他ノ送達ヲ為スベキ場所ノ知レザル場合又ハ前條ノ規定ニ依リ送達ヲ為スコト能ハザル場合ニ於テハ公示送達ヲ為スコトヲ得

公示送達ハ送達スベキ書類ヲ何時ニテモ送達ヲ受クベキ者ニ交付スベキ旨ヲ政府公報及商標公報ニ公告シ且商標局ノ揭示板ニ揭示シテ之ヲ為ス

公示送達ハ政府公報公告ノ日ヨリ二十日ヲ經過スルニ依リ其ノ效力ヲ生ズ

同一事件ニ付同一人ニ對シテ為ス公示送達ニ付テハ政府公報及商標公報ノ公告ハ之ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ商標局ノ揭示板ニ揭示シタル日ニ於テ其ノ效力ヲ生ズ

**第十七條** 商標法第八條ニ規定スル代理人ノ存セザル場合ニ於テ國內ニ住所或營業所又ハ營業所ノ孰レヲモ有セザル者ニ對シテ為ス送達ハ書類ヲ郵便ニ付シテ之ヲ為スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ郵便ニ付シタル日ニ於テ送達アリタルモノト看做ス

**第十八條** 書類其ノ他ノ物件ノ差出ハ商標局ニ之ガ到達シタル

生效力

**第十九條** 請求文書之謄本或欲閱覽或謄寫者得以口頭申請之

**第二十條** 文書之謄本應於其末尾記載證明與原本無誤之字樣由商標局官吏記名蓋章

**第二章 呈請**

**第二十一條** 欲受商標之註冊者應依第三十條所定商品類別每一類別繕具呈請書添附商標圖樣五紙暨所必要之說明書呈送商標局

欲受着色商標之註冊時呈請書上指定其顏色附呈着色商標圖樣五紙

依前二項規定所呈商標圖樣應用強韌紙料長寬二十釐以內而以不易變色或不退色之顏料鮮明繪之

欲受聯合之商標之註冊時應於呈請書上表示與此聯合之商標

**第二十二條** 關於商標之呈請、請求或其他程序商標局受理其所呈送之文書或物件時應發給收據

日時ニ於テ其ノ效力ヲ生ズ

**第十九條** 書類ノ謄本ヲ求メ又ハ書類若ハ見本ノ閱覽若ハ謄寫ヲ爲サムトスル者ハ口頭ヲ以テ之ヲ申請スルコトヲ得

**第二十條** 書類ノ謄本ニハ其ノ末尾ニ原本ト相違ナキコトヲ認證スル旨ヲ記載シ商標局官吏之ニ記名捺印スベシ

**第二章 出願**

**第二十一條** 商標ノ登録ヲ受ケムトスル者ハ第三十條ニ定ムル類別毎ニ願書ヲ作り之ニ商標見本五通及必要ナル説明書ヲ添ヘ商標局ニ差出スベシ

着色シタル商標ノ登録ヲ受ケムトスル場合ニ於テハ願書ニ其ノ色ヲ指定シ着色シタル商標見本五通ヲ差出スベシ

前二項ノ規定ニ依リ差出スベキ商標見本ハ強韌ナル紙料ヲ用ヒ其ノ長サ及幅ハ各二十「センチメートル」以內ノ面内ニ容易ニ變色又ハ褪色セザル繪具ヲ以テ鮮明ニ顯ハスベシ

聯合ノ商標ノ登録ヲ受ケムトスル場合ニ於テハ願書ニ之ト聯合スベキ商標ヲ表示スベシ

**第二十二條** 商標ノ出願、請求其ノ他ノ手續ニ付差出シタル書類又ハ物件ヲ受理シタルトキハ商標局ハ受領證ヲ發給スベシ

**第二十三條** 數人共同呈請商標註冊時應呈送共同營業之證明書

**第二十四條** 數人共同爲商標之呈請、請求或其他程序者或商標專用權之共有者對於商標局各人互爲代表但特定代表呈報商標局者不在此限

**第二十五條** 依商標法第七條第三項規定爲呈報更換名義者應附呈營業一併受讓之證明書

**第二十六條** 欲受續展商標專用權存續期間之註冊者應於期滿前三個月乃至一年以內對於商標局呈送呈請書但限於截止期滿三十日以前辯明遲誤之事由仍得呈請之

前項呈請書應附呈商標圖樣五紙及證明營業之文書

**第二十七條** 商標局長受理商標或續展商標專用權存續期間之呈請書時應附記呈請號數將其號數通知呈請人

**第二十三條** 數人共同シテ商標ノ登録ヲ出願スル場合ニ於テハ營業ヲ共ニスルコトヲ證スル書面ヲ差出スベシ

**第二十四條** 數人共同シテ商標ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲スモノ又ハ商標專用權ノ共有者ハ商標局ニ對シ各人互ニ代表スルモノトス但シ特ニ代表者ヲ定メ商標局ニ届出デタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

**第二十五條** 商標法第七條第三項ニ規定スル名義變更ノ届出ヲ爲ス者ハ屆書ニ營業ト共ニスルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

**第二十六條** 商標專用權存續期間更新ノ登録ヲ受ケムトスル者ハ其ノ期間滿了前三月乃至一年以內ニ願書ヲ商標局ニ差出スベシ但シ期間滿了ノ日ヨリ三十日以前ニ限り遲延ノ事由ヲ疏明シテ之ヲ差出スコトヲ得

前項ノ願書ニハ商標見本五通及營業ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

**第二十七條** 商標局長商標又ハ商標專用權存續期間更新ノ登録願書ヲ受理シタルトキハ之ニ番號ヲ附シ其ノ番號ヲ出願人ニ通知スベシ

**第二十八條** 於商標法第四條第二項後段之情形商標局長指定相當期間通知呈請人及關係人於其期間內協議決定孰爲受註冊者呈報商標局  
前項期間內尙無呈報時商標局長得視爲協議不諧

**第二十九條** 依商標法第七十條規定呈請商標之註冊者應附呈原註冊證或證明其事實之文書

**第三十條** 商標呈請註冊者應依左列商品類別指定其使用商標之商品

**第一類** 化學品、藥劑及醫療補助品  
酸類、鹽類、亞爾加里、漂白粉、樹脂、膠、燐、酒精、個里設林、規那鹽、莫兒比涅、丁幾劑、舍利別、煎劑、水劑、浸劑、丸藥、膏藥、散藥、錠藥、煉藥、生藥、藥油、香精、石灰、硫黃、鑛水、麝香、打粉、食鹽、艾、黑燒、防腐劑、防臭劑、驅蟲劑、繻帶、綿紗、綿撒絲、脫脂綿、海綿、江米紙、水囊、水枕等

**第二類** 染料、顏料、媒染料及塗料

藍玉、藍靛、紫根、紅、朱、丹、綠青、群青、洋靛、鉛白、胡粉、金銀粉、藤黃、染齒料、綠礬、明礬、漆、假漆、油漆、澁、靴油、革油、防鏽料、防水材料、耐火塗料等

**第三類** 香料及不屬他類之化粧品

香水、香油、香袋、髮膏、白粉、化粧下等

**第四類** 胰皂

**第五類** 牙粉及不屬他類之洗料

牙粉、牙膏、刷牙水、洗粉、洗髮、洗液等

**第六類** 不屬他類之金屬及其半加工品

鐵鐵、鍛鐵、鋼鐵、條鐵、鐵葉、軌條、鐵板、鐵線、銅、銅板、銅線、鉛、鉛板、亞鉛、亞鉛板、錫、鋁、鎳、水銀

卑金屬之合金等

**第七類** 不屬他類之金屬製品

鑄物、打壓物、彫鏤品、編物、玳瑁鐵器、銅箔、錫箔等

**第二十八條** 商標法第四條第二項後段ノ場合ニ於テハ商標局長ハ相當ノ期間ヲ指定シ其ノ期間内ニ協議ニ依リ登録ヲ受クベキ者ヲ定メ之ヲ届出ヅベキ旨ヲ出願人及關係人ニ通知スベシ  
前項ノ期間内ニ届出ナキトキハ商標局長ハ協議調ハザルモノト看做スコトヲ得

**第二十九條** 商標法第七十條ノ規定ニ依ル商標ノ登録出願スル者ニ願書ニ原登録證又ハ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

**第三十條** 商標登録出願者ハ左ノ類別ニ從ヒ商標ヲ使用スベキ商品ヲ指定スベシ

**第一類** 化學品、藥劑及醫療補助品  
酸類、鹽類、亞爾加里、漂白粉、樹脂、膠、燐、酒精、個里設林、規那鹽、莫兒比涅、丁幾劑、舍利別、煎劑、水劑、浸劑、丸藥、膏藥、散藥、錠藥、煉藥、生藥、藥油、香精、石灰、硫黃、鑛水、麝香、打粉、食鹽、艾、黑燒、防腐劑、防臭劑、驅蟲劑、繻帶、綿紗、綿撒絲、脫脂綿、海綿、「オブラート」、水囊、水枕等

**第二類** 染料、顏料、媒染料及塗料

藍玉、藍靛、紫根、紅、朱、丹、綠青、群青、洋靛、鉛白、胡粉、金銀粉、藤黃、染齒料、綠礬、明礬、漆、假漆、「ベイント」、澁、靴墨、革油、防鏽料、防水材料、耐火塗料等

**第三類** 香料及他類ニ屬セザル化粧品

香水、香油、香袋、髮膏、白粉、化粧下等

**第四類** 石鹼

**第五類** 齒磨粉及他類ニ屬セザル洗料

齒磨粉、煉齒磨、齒磨液、洗粉、洗髮、洗液等

**第六類** 他類ニ屬セザル金屬及其ノ半加工品

鐵鐵、鍛鐵、鋼鐵、條鐵、鐵葉、軌條、鐵板、鐵線、銅、銅板、銅線、鉛、鉛板、亞鉛、亞鉛板、錫、「アルミニウム」、「ニッケル」、水銀

卑金屬ノ合金等

**第七類** 他類ニ屬セザル金屬製品

鑄物、打物、彫鏤品、編物、玳瑁鐵器、銅箔、錫箔等

第八類 利器及尖刃器

鎌、鋸、鑿、錐、鑿、斧、鉞、小刀、剃刀、菜刀、鉋、鑿、針、魚串、釘、鳶嘴等

第九類 貴金屬、其仿造品、鋁金、鍍銀、英錫及不屬他類之其製品

金、銀、白金、四合一、紫銅其他貴金屬之合金、鍍品、金片條、金箔、銀箔、彫鏤品等

第十類 寶玉類、其仿造品及不屬他類之其製品

金剛石、珊瑚、眞珠、瑪瑙、水晶、黃玉、碧玉、彫鏤品等

第十一類 礦物類

第十二類 石材、其仿造品及不屬他類之其製品

大理石、花崗石、人造石、砥石等

第十三類 水泥及土砂類

水泥、洋灰、石膏、土瀝青、土砂、火山灰等

第十四類 不屬他類陶器、磁器、七寶製品、土器、瓦及磚類

第十五類

玻璃並不屬他類之玻璃製品及珽瑯質品

第八類 利器及尖刃器

鎌、鋸、鑿、錐、鑿、斧、鉞、小刀、剃刀、庖丁、鉋、鑿、針、魚串、釘、鳶嘴等

第九類 貴金屬、其ノ模造物、「アルミニウム」金、「ニッケル」銀、「ブリタニヤ、メタル」及他類ニ屬セザル其ノ製品

金、銀、白金、四合一、紫銅其ノ他貴金屬ノ合金、鍍品、「モール」、金箔、銀箔、彫鏤品等

第十類 寶玉類、其ノ模造物及他類ニ屬セザル其ノ製品

金剛石、珊瑚、眞珠、瑪瑙、水晶、黃玉、碧玉、彫鏤品等

第十一類 礦物類

第十二類 石材、其ノ模造物及他類ニ屬セザル其ノ製品

大理石、花崗石、人造石、砥石等

第十三類 漆喰及土砂ノ類

漆喰、「セメント」、石膏、土瀝青、土砂、火山灰等

第十四類 他類ニ屬セザル陶器、磁器、七寶製品、土器、瓦及煉瓦ノ類

第十五類

玻璃並他類ニ屬セザル玻璃製品及珽瑯質品

璃板、玻璃管、玻璃瓶、玻璃球等

第十六類 膠皮、硬性黑橡皮、格搭伯查、膠皮代用物及不屬他類之其軟質製品

第十七類 不屬他類之機械器具及其各部並各種機器

帶、水管、填料、汽罐、汽機、織機、紡績機、裁縫機、印刷機、揚水機、消火機、潛水機、鈎機、龍頭、皮機器帶、膠皮機器帶、綿布機器帶、膠皮水管、布水管、石棉填料、膠皮填料等

第十八類 理化學、醫術、測定、照像、教育用之器械器具、眼鏡及算數器類並其各部

試驗管、外科用器械、齒科用具、度量衡器、工光膜、電影照像、製圖器、體操用器具、望遠鏡、顯微鏡等

第十九類 農工器具

犁、鋤、鉞、稻梳器、梳桑器、簸箕、耙、拔釘器、鐵鏈、繩墨、螺絲鉗子、屏斗、鏟、鳥嘴鋤等

第二十類 車輛、船舶其他運搬用機械器具及其各部

玻璃板、玻璃管、玻璃壘、玻璃球等

第十六類 護謨、「エポナイト」、「ガタベルチャ」、「ラバー」プラスチック「ニート」及他類ニ屬セザル其ノ軟質製品

第十七類 他類ニ屬セザル機械器具及其ノ各部並各種ノ調帶、「ホース」及「パツキング」

汽罐、汽機、織機、紡績機、裁縫機、印刷機、揚水機、消火機、潛水器、「バルブ」、「コック」、皮革調帶、護謨調帶、綿布調帶、護謨「ホース」、布「ホース」、「アスベスト」、パツキング、「ゴム」、パツキング」等

第十八類 理化學、醫術、測定、寫真、教育用ノ器械器具、眼鏡及算數器ノ類並其ノ各部

試驗管、外科用器械、齒科用具、度量衡器、感光膜、活動寫真映畫、製圖器、體操用器具、顯微鏡等

第十九類 農工器具

犁、鋤、鉞、稻拔、桑拔、唐箕、耙、釘拔、鐵鏈、繩墨、鐵鏈シ、「スコップ」、「シヨール」、「鶴嘴」等

第二十類 車輛、船舶其ノ他運搬用機械器具及其ノ各部

部

貨車、馬車、洋車、汽車、腳踏車、小兒用車、航空機、鐵道車、車輪、車膠輪、車鞍、車足踏板等

第二十一類 鐘表及其各部及附屬品

第二十二類 樂器、留聲機及其各部及附屬品

鋼琴、風琴、伐烏林琴、曼寧令琴、三絃、胡琴、琵琶、月琴、木琴、笛、口琴、弦撥、樂器絃、留聲機、唱片、留聲機用針等

第二十三類 銃砲、彈丸及爆發物類

大砲、小銃、獵鎗、手鎗、火藥、綿火藥、炸藥、雷管、煙火、水雷等

第二十四類 蠶種、野蠶種及繭

第二十五類 繭綿、棉花、麻、羽毛及毛類並其半加工品

工品

第二十六類 生絲、繭絲、人造絲、野蠶絲、天蠶絲、金絲及銀絲

第二十七類 綿紗線

第二十八類 毛紗線

荷車、馬車、人力車、自動車、自轉車、小兒用車、航空機、鐵道車、車輪、「タイヤ」、「サドル」、「ペダル」等

第二十一類 時計並其ノ各部附屬品

第二十二類 樂器、蓄音機並其ノ各部附屬品

「ピアノ」、「オルガン」、「ヴァイオリン」、「マンドリン」、三絃、胡弓、琵琶、月琴、木琴、笛、「ハーモニカ」、撥、樂器絃、蓄音機、音譜盤、蓄音機用針等

第二十三類 銃砲、彈丸及爆發物類

大砲、小銃、獵銃、短銃、火藥、綿火藥、「ダイナマイト」、雷管、煙火、水雷等

第二十四類 蠶種、野蠶種及繭

第二十五類 眞綿、木棉綿、麻、羽及毛ノ類並其ノ半加工品

第二十六類 生絲、絹絲、人造絹絲、野蠶絲、天蠶絲、金絲及銀絲

第二十七類 綿絲

第二十八類 毛絲

第二十九類 麻紗及不屬第二十六類乃至第二十八類之紗線類

第三十類 絲織品

第三十一類 綿織品

第三十二類 毛織品

第三十三類 麻織品

第三十四類 不屬第三十類乃至第三十三類之織品

第三十五類 不屬他類之編組摺品、花紗片、拔絲花布、繡品及各種紐帶類

第三十六類 被服、手巾、鈕紐及裝身用別針類

衣服、冠、帽、洋服硬領、洋服袖頭、領帶、襟、襯衣、襯褲、肚帶、手套、襪子、手巾、手帕、毛巾、袂紗、包袱、甲馳、袖扣、領帶針、領花兒等

第三十七類 寢具及不屬他類之室內裝置品

臥床、被、枕、蚊帳、坐墊、屏風、額、桌布、窓簾、敷物等

第三十八類 酒類及其仿造品

第二十九類 麻絲及第二十六類乃至第二十八類ニ屬セザル絲類

第三十類 絹織物

第三十一類 木綿織物

第三十二類 毛織物

第三十三類 麻織物

第三十四類 第三十類乃至第三十三類ニ屬セザル織物

第三十五類 他類ニ屬セザル絲類ノ編物、組物、摺物、「レース」、「ドロン」、ウオーク、刺繡品及各種ノ紐類

第三十六類 被服、手巾、鈕紐及裝身用「ピン」ノ類

衣服、冠、帽子、「カラー」、「カフス」、領飾、襟、襯衣、「ツボン」下、胴締、手袋、足袋、「ハンカチーフ」、手拭、「タオル」、袂紗、風呂敷、甲馳、「カフス」、ボタン、「ネクタイ」、ピン、「ブローチ」等

第三十七類 寢具及他類ニ屬セザル室內裝置品

寢臺、蒲團、枕、蚊帳、座蒲團、屏風、額、桌被、窓掛、敷物等

第三十八類 酒類及其ノ模造品

紹興酒、日本清酒、味淋、白酒、燒酒、老酒、濁酒等

第三十九類 不屬第三十八類之各種酒類及其仿造品

葡萄酒、香檳酒、麥酒、白蘭地、別兒木托、威士忌等

第四十類 冰及清涼飲料類

曹達水、蜜柑水、甜汽水、汽水、果子露等

第四十一類 清醬、洋醬油及醋類

第四十二類 糖及蜜類

白糖、紅糖、砂糖、冰糖、糖蜜、蜂蜜等

第四十三類 點心及麵包類

乾點心、蒸點心、雜點心、餅乾、蛋糕、玉糖、冰淇淋、糖、餅、糖餞品、炒豆等

第四十四類 茶、咖啡、可及咖啡方糖類並其仿造品

紹興酒、日本清酒、味淋、白酒、燒酎、老酒、濁酒等

第三十九類 第三十八類ニ屬セザル各種ノ酒類及其ノ模造品

葡萄酒、「シヤンパン」、麥酒、「ブランデー」、「ベルモット」、「ウキスキー」等

第四十類 冰及清涼飲料類

曹達水、蜜柑水、「ラムネ」、「サイダー」、果實「シロップ」果實液等

第四十一類 醬油、「ソース」及酢ノ類

第四十二類 砂糖及蜜ノ類

白糖、黑砂糖、「サラメ」、氷砂糖、糖蜜、蜂蜜等

第四十三類 菓子及麵包ノ類

干菓子、蒸菓子、掛ケ物、「ビスケット」、「カステラ」、「ドロップス」、「アイスクリーム」、餡、餅、砂糖漬、炒豆等

第四十四類 茶、珈琲、「ココア」及珈琲入角砂糖ノ類並其ノ模造品

第四十五類 不屬他類之食料品及加味品

肉類、肉醬、卵、木魚、紫菜、海帶、荒布、醬小魚兒、豆醬、嗜物、甘酒、鹹菜、胡椒等

第四十六類 獸乳、其製品及其仿造品

牛乳、羊乳、煉乳、乳粉、奶油、人造奶油、乳餅等

第四十七類 穀菜類、種子、果物、穀粉、澱粉及其製品

米、麥、粟、黍、稗、豆、蘆姑、絲瓜乾、球根、麴種、豆牙、烘粉、炒粉、麥粉、藕粉、麵類、豆腐皮、豆腐、豆汁、苧蕪、凍豆腐、凍苧蕪等

第四十八類 煙草類

第四十九類 煙草具及袋物

煙管、煙盒、煙管筒、薄荷烟嘴、票夾子、錢袋、名片夾、口袋、手提包等

第五十類 紙及不屬他類之其製品

日本紙、西洋紙、板紙、糊壁紙、油紙、澁紙、書

第四十五類 他類ニ屬セザル食料品及加味品

肉類、越幾斯類、卵、鱈節、海苔、昆布、荒布、佃煮、味噌、嗜物、甘酒、漬物、胡椒等

第四十六類 獸乳、其ノ製品及其ノ模造品

牛乳、羊乳、「コンデンスミルク」、乳粉、「バター」、人造「バター」、「チーズ」等

第四十七類 穀菜類、種子、果物、穀粉、澱粉及其ノ製品

米、麥、粟、黍、稗、豆、蕪、乾瓢、球根、麴種、「モヤシ」、「ベーキングパウダー」、「イースト」、「パウダー」、麥粉、葛粉、麵類、湯葉、豆腐、豆乳、苧蕪、凍豆腐、凍苧蕪等

第四十八類 煙草類

第四十九類 煙草具及袋物

煙管、煙草入、煙管筒、薄荷「パイプ」、紙入、貨幣入、名片入、信文袋、「オペラバック」等

第五十類 紙及他類ニ屬セザル其ノ製品

日本紙、西洋紙、板紙、壁紙、油紙、澁紙、書筒筒、張文

簡筒、紙匣、一閑張、帳簿、水引等

第五十一類 文房具

毛筆、墨、印泥、印材、墨水、印刷墨油、石筆、鉛筆、自來水筆、鋼筆、鋼筆杆、硯、墨水壺、鎖紙、筆筒、筆架、石盤、釘紙具、削鉛筆器、吸墨紙具、筆夾等

第五十二類 皮革、其仿造品及不屬他類之其製品並各種皮靴類

毛皮、熟皮、仿皮紙、仿皮布、鞍粘、皮匣、皮襟、粗麻布等

第五十三類 固形燃料類

煤、煤焦子、薪、木炭、明子、懷爐灰等

第五十四類 火柴

第五十五類 油脂及蠟類

煤油、菜子油、魚油、獸脂、木蠟、蜜蠟、蠟燭等

第五十六類 肥料

肥料魚、油粕、肉粉、骨粉、血粉、糠、磷酸肥料、調合肥料、硫酸安母尼亞等

匣、一閑張、帳簿、水引等

第五十一類 文房具

筆、墨、印肉、印材、「インキ」、印刷「インキ」、石筆、鉛筆、萬年筆、「ペン」、「ペン」軸、硯、「インキ」壺、文鎮、筆筒、筆架、石盤、紙綴具、鉛筆削、「プロクター」、「シース」等

第五十二類 皮革、其ノ模造品及他類ニ屬セザル其ノ製品並各種ノ靴類

毛皮、柔革、擬革紙、擬革布、馬具、革文匣、縮革、「キヤットガット」等

第五十三類 固形燃料類

石炭、「コークス」、薪、炭、附木、懷爐灰等

第五十四類 燐寸

第五十五類 油脂及蠟ノ類

石油、菜子油、魚油、獸脂、木蠟、蜜蠟、蠟燭等

第五十六類 肥料

干鰯、油粕、肉粉、骨粉、血粉、糠、磷酸肥料、調合肥料、硫酸安母尼亞等

第五十七類 木竹材、籐、木皮、竹皮及木片類

第五十八類 不屬他類之木、竹、籐、木皮、竹皮類之製品、其塗漆品及漆繪品類

木器、竹器、籐器、編物、組物、桶、木片織片類

第五十九類 骨、角、齒牙及甲殼類、不屬他類之製品及其仿造品、不屬他類之硬性黑橡皮製品及格搭

伯查之硬質製品並假象牙及不屬他類之其製品

第六十類 藁、草及不屬他類之其製品

麥稈、疊表、筵、蓆、笠、繩、麥稈織片等

第六十一類 傘、杖、履及其附屬品

傘、洋傘、杖、靴、木履、草履、皮鞋、屐絲、爪掛等

第六十二類 扇子及團扇之類

第六十三類 燈器及其各部

洋燈、燭臺、提燈、燈罩、燈蓋、瓦斯燈、瓦斯爐架、欄板、燭心等

第六十四類 頭飾品、調髮具及花簪類、造花並刷子

第五十七類 木竹材、籐、木皮、竹皮及經木ノ類

第五十八類 他類ニ屬セザル木、竹、籐、木皮、竹皮類ノ製品、其ノ塗漆品及漆繪品ノ類

指物、挽物、曲物、編物、組物、桶、經木真田等

第五十九類 骨、角、齒牙及甲殼ノ類、他類ニ屬セザル其ノ製品及其ノ模造品、他類ニ屬セザル「エボナイト」製品及

「ガタベルチャ」ノ硬質製品並「セルロイド」及他類ニ屬セザル其ノ製品

第六十類 藁、草及他類ニ屬セザル其ノ製品

麥稈、疊表、筵、蓆、笠、繩、麥稈真田等

第六十一類 傘、杖、履物及其ノ附屬品

傘、洋傘、杖、靴、下駄、草履、雪駄、鼻緒、爪掛等

第六十二類 扇子及團扇ノ類

第六十三類 燈器及其ノ各部

洋燈、燭臺、提燈、火屋、燈蓋、瓦斯「バーナー」、瓦斯「マントル」、燭心等

第六十四類 頭飾品、調髮具及「リボン」ノ類、造花並刷子

類

櫛、筓、簪、髮針、髮網、手絡、頭繩、髮止、髻形、紫根、髮兒、假髮、添髮、髮蕊、髮掛、花簪、裝飾花簪、牙刷子、化粧刷子、除埃刷子等

第六十五類 玩具及運動遊戲具

鞠、碁、將棋、人形、抖翁、弓、撞球具、押繪、骨牌、棒球具、庭球具、卓球具、武術器等

第六十六類 圖畫、寫真片及印刷物類

書籍、新聞紙、雜誌、照片簿等

第六十七類 燻料

線香、炷香、煉香、粉末香、驅蚊線香、驅蚊炷香、驅蚊香末等

第六十八類 不屬他類之研磨料

磨粉、磨液、磨光布、磨光紙、研磨布、研磨紙等

第六十九類 電氣機械器具及其各部並電氣絕緣材料

發電機、電動機、迴轉變流機、整流機、周波數變換機、電信機、電話機、變壓器、電氣開閉器、電

類

櫛、筓、簪、「ヘヤ、ピン」、「ヘヤ、ネット」、手絡、根掛、髮止、髻形、元結、髻、附髻、入毛、髻芯、髮掛、「リボン」、裝飾「リボン」、齒刷子、化粧刷子、埃取刷子等

第六十五類 玩具及運動遊戲具

鞠、碁、將棋、人形、獨樂、弓、球突具、押繪、骨牌、野球具、庭球具、卓球具、擊劍柔道具等

第六十六類 圖畫、寫真及印刷物類

書籍、新聞紙、雜誌、「アルバム」等

第六十七類 燻料

線香、炷香、煉香、粉末香、蚊除線香、蚊除炷香、蚊除粉末香等

第六十八類 他類ニ屬セザル研磨料

磨粉、磨液、磨出布、出艶紙、研磨布、研磨紙等

第六十九類 電氣機械器具及其各部並電氣絕緣材料

發電機、電動機、迴轉變流機、整流機、周波數變換機、電信機、電話機、變壓器、電氣開閉器、電流制限器、電流制

流制限器、電流制御器、抵抗器、電熱器、電氣扇風機、電鈴、真空球、電氣醫療器、電氣測定器、電池、蓄電器、白熱電燈、弧光燈、懷中電燈、被覆電線、電氣絕緣用碍子、電氣機械器具用炭素、電氣絕緣用板、電氣絕緣用布、紙電氣絕緣用紙、電氣絕緣用膠皮製品、電氣絕緣用混和物等

第七十類 不屬他類之商品

第三章 審査及再審査

第三十一條 審定記載左列事項審査員記名蓋章

- 一 呈請號數
- 二 指定商品之類別及商品名稱
- 三 呈請人及代理人之姓名名稱
- 四 審定之主文及理由
- 五 審定之年月日

聯合之商標應准其註冊之審定之主文中須記載與此聯合之商標註冊號數或呈請號數

第三十二條 依商標法第二十七條規定商標抵觸之通知

御器、抵抗器、電熱器、電氣扇風機、電鈴、真空球、電氣醫療器、電氣測定器、電池、蓄電器、白熱電燈、弧光燈、懷中電燈、被覆電線、電氣絕緣用碍子、電氣機械器具用炭素、電氣絕緣用板、電氣絕緣用布、電氣絕緣用紙、電氣絕緣用護膜製品、電氣絕緣用混和物等

第七十類 他類ニ屬セザル商品

第三章 審査及再審査

第三十一條 審定ニハ左ノ事項ヲ記載シ審査官之ニ記名捺印スベシ

- 一 願書番號
- 二 指定シタル商品ノ類別及商品名
- 三 出願人及代理人ノ氏名名稱
- 四 審定ノ主文及理由
- 五 審定ノ年月日

聯合ノ商標ヲ登録スベシトノ審定ノ主文中ニハ之ト聯合スル商標ノ登録番號又ハ願書番號ヲ記載スベシ

第三十二條 商標法第二十七條ノ規定ニ依ル商標抵觸ノ通知ニ



記載事項審査員記名蓋章

一 各商標之呈請號數

二 各商標之指定商品類別及商品名稱

三 各商標之呈請人及代理人之姓名名稱及住所、居所或營業所

第三十三條 有審定時商標局長應將其謄本送達呈請人

第三十四條 再審查請求書記載左列事項

一 請求人及代理人之姓名名稱及住所、居所或營業所

二 案件之表示

三 一定之聲請及理由

第三十五條 商標局長受理再審查請求書時應附記號數

將其號數通知請求人及關係人

第三十六條 再審查之決定記載左列事項商標局長記名

蓋章

一 再審查號數

二 請求人及代理人之姓名名稱及住所、居所或營業

ハ左ノ事項ヲ記載シ審査官之ニ記名捺印スベシ

一 各商標ノ願書番號

二 各商標ニ付指定シタル商品ノ類別及商品名

三 各商標ノ出願人及代理人ノ氏名名稱及住所、居所又ハ營業所

第三十三條 審定アリタルトキハ商標局長其ノ謄本ヲ出願人ニ送達スベシ

第三十四條 再審查ノ請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 請求人及代理人ノ氏名、名稱及住所、居所又ハ營業所

二 事件ノ表示

三 一定ノ申立及理由

第三十五條 商標局長再審查ノ請求書ヲ受理シタルトキハ之ニ

番號ヲ附シ其ノ番號ヲ請求人及關係人ニ通知スベシ

第三十六條 再審查ノ決定ニハ左ノ事項ヲ記載シ商標局長之ニ

記名捺印スベシ

一 再審查番號

二 請求人及代理人ノ氏名、名稱及住所、居所又ハ營業所

所

三 案件之表示

四 請求人之聲請及理由之要綱

五 決定之主文及理由

六 決定之年月日

聯合之商標應准其註冊之決定之主文中須記載與此聯合之商標註冊號數或呈請號數

第三十七條 有決定時商標局長將其謄本送達於呈請人

及關係人

第三十八條 有送達應註冊之審定或決定時呈請人須三十

十日以內於商標局長所指定期間中呈送商標印版一枚

依前項規定所呈印版應用木版或細網版其他適宜印刷者其長寬各十種以內厚不得過二・四種

製作印版應彫於一個直角四方形之版面

着色商標之印版有分明區別相接二色之必要時須用境界線但不得以線點或他紋等有誤認構成商標之虞者表

三 事件ノ表示

四 請求人ノ申立及理由ノ要領

五 決定ノ主文及理由

六 決定ノ年月日

聯合ノ商標ヲ登録スベシトノ決定ノ主文中ニハ之ト聯合スル

商標ノ登録番號又ハ願書番號ヲ記載スベシ

第三十七條 決定アリタルトキハ商標局長ハ其ノ謄本ヲ請求人及關係人ニ送達スベシ

第三十八條 登録スベシトノ審定又ハ決定ノ送達アリタルトキ

ハ出願人ハ三十日以内ニ於テ商標局長ガ指定シタル期間内ニ

商標ノ印版一個ヲ商標局ニ差出スベシ

前項ノ規定ニ依リ差出スベキ印版ハ木版、細網版其ノ他活版印刷ニ適スルモノニシテ其ノ長サ及幅各十「センチメートル」以內厚サ二、四「センチメートル」ヲ超エザルコトヲ要ス

印版ハ一個ノ直角四邊形ノ版面ニ彫刻シテ之ヲ作成スベシ

著色シタル商標ノ印版ニアリテハ相接スル二色ヲ分明ニ區別スル必要アル場合ニハ境界線ヲ用ウルコトヲ要ス但シ其ノ商

顯其着色之部分

第三十九條 第四十三條及第五十條規定於審查及再審查準用之

第四章 評 定

第四十條 評定請求書記載左列事項

一 當事人及代理人之姓名名稱及住所、居所或營業所

二 評定案件之表示

三 一定之聲請及理由

四 利害關係

關於不註冊之標章有請求商標專用權範圍之確認評定時應呈送該標章樣本及記載使用標章之商品名稱其他必要事項之說明書

第四十一條 關於共有之商標專用權請求評定時應以其共有人之全數爲當事人

第四十二條 商標局長受理評定請求書時附記號數將其號數及該案件所指定之評定員之姓名通知當事人評定

標ヲ構成スルモノト誤認セラルベキ虞アル線、點又ハ地紋ヲ以テ著色シタル部分ヲ顯ハスコトヲ得ズ

第三十九條 第四十三條及第五十條ノ規定ハ審查及再審查ニ關シ之ヲ準用ス

第四章 評 定

第四十條 評定請求書ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一 當事者及代理人ノ氏名、名稱及住所、居所又ハ營業所

二 評定事件ノ表示

三 一定ノ申立及理由

四 利害關係

登錄ニ係ラザル標章ニ關シ商標專用權ノ範圍ノ確認評定ヲ請求スル場合ニ於テハ其ノ標章見本及之ヲ使用スル商品名其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル說明書ヲ差出スベシ

第四十一條 共有ニ係ル商標專用權ニ付評定ヲ請求スル場合ニ於テハ其ノ共有者ノ全員ヲ以テ當事者ト爲スベシ

第四十二條 商標局長評定請求書ヲ受理シタルトキハ之ニ番號ヲ附シ其ノ番號及其ノ事件ニ付指定シタル評定官ノ氏名ヲ當

員有變更時亦同

第四十三條 關於評定請求書答辯書或其他評定呈送商標局之文書應記載必要之證據方法如有證據物件則須一併附呈之

前項物件如係文書則用謄本、其他者應將其圖樣或樣本呈送商標局並須按相對人之數附呈之但呈送樣本時應附呈圖樣一份未能製作圖樣時添附說明書

第四十四條 口頭審理時評定長定期日通知當事人

第四十五條 評定之當事人應將口頭審理時所演述要綱之文書預先呈送商標局

第四十六條 於口頭審理應記錄供詞評定長或經手之官吏須記名蓋章

第四十七條 撤回評定請求時商標局長須將其事由通知相對人

第四十八條 有評決時商標局長須將其謄本送達於當事

事者ニ通知スベシ評定官ニ變更アリタルトキ亦同ジ

第四十三條 評定請求書、答辯書其ノ他評定ニ關シ商標局ニ差出スベキ書面ニハ必要ナル證據方法ヲ記載シ證據物件アルトキハ之ヲ添附スベシ

前項ノ物件ガ書面ナル場合ニアリテハ其ノ謄本ヲ、其ノ他ノモノナル場合ニアリテハ其ノ圖面又ハ見本ヲ商標局及相手方ノ數ニ應ジテ差出スベシ但シ見本ヲ差出ス場合ニ於テハ其ノ圖面一通ヲ其ノ圖面ヲ複製スル能ハザルトキハ說明書ヲ添附スベシ

第四十四條 口頭審理ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ評定長ハ期日ヲ定メ之ヲ當事者ニ通知スベシ

第四十五條 評定ノ當事者ハ口頭審理ニ於テ演述スベキ事項ノ要領ヲ記載シタル書面ヲ豫メ商標局ニ差出スベシ

第四十六條 口頭審理ニ於テハ調書ヲ作成シ評定長又ハ之ヲ作成シタル官吏之ニ記名捺印スベシ

第四十七條 評定ノ請求ノ取下アリタルトキハ商標局長ハ其ノ旨ヲ相手方ニ通知スベシ

第四十八條 評決アリタルトキハ商標局長ハ其ノ謄本ヲ當事者

人

第四十九條 評決應記載左列事項評定員須記名蓋章

- 一 評定號數
- 二 當事人及代理人之姓名、名稱及住所、居所或營業所
- 三 評定案件之表示
- 四 當事人之聲請及理由之要綱
- 五 評決之主文及理由
- 六 評決之年月日

第五十條 欲受評定費用額之決定者其請求書應附呈需要數之費用計算書及其費用之證明書呈送於商標局長

第五章 註冊證、註冊費及公費

第五十一條 註冊證依另定書式製作之並貼附商標圖樣

第五十二條 註冊證有遺失或毀損時得聲明事由申請補發但毀損時應呈送其註冊證

ニ送達スベシ

第四十九條 評決ニハ左ノ事項ヲ記載シ評定官之ニ記名捺印スベシ

- 一 評定番號
- 二 當事者及代理人ノ氏名、名稱及住所、居所又ハ營業所
- 三 評定事件ノ表示
- 四 當事者ノ申立及理由ノ要領
- 五 評決ノ主文及理由
- 六 評決ノ年月日

第五十條 評定ノ費用ノ額ノ決定ヲ受ケムトスル者ハ請求書ニ必要ナル員數ノ費用計算書及其ノ費用ヲ要シタルコトヲ證スル書面ヲ添ヘ之ヲ商標局長ニ差出スベシ

第五章 登録證、登録費及手数料

第五十一條 登録證ハ別記書式ニ依リ之ヲ作成シ之ニ商標見本ヲ貼付スベシ

第五十二條 登録證ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ疏明シ再下付ヲ申請スルコトヲ得但シ毀損ノ場合ハ其ノ登録

第五十三條 註冊費自准予註冊之審定確定或決定之日起三十日以内繳納之

前項期間限於三十日內得依請求延長之

第五十四條 關於商標之呈請、請求或其他程序者應按左列區別繳納公費

- 一 商標呈請註冊 每一件 五圓
- 二 商標呈請註冊人之名義變更 每一件 五圓
- 三 註冊證複本之申請 每一件 五圓
- 四 補給註冊證之申請 每一件 五圓
- 五 商標專用權存續期間續展呈請註冊 每一件 五圓
- 六 請求再審查 每一件 二十圓
- 七 請求評定 每一件 三十圓
- 八 請求費用額之決定 每一件 一圓
- 九 請求決定費用額有執行力之正本 每一件 一圓
- 十 請求法定期間之延展 每一件 一圓
- 十一 商標法施行細則第二十六條第一項但書之請求 每一件 二圓

證ヲ差出スベシ

第五十三條 登録費ハ登録スベシトノ審定確定シ又ハ決定ノ送達アリタル日ヨリ三十日內ニ之ヲ納付スベシ

前項ノ期間ハ三十日ヲ限り請求ニ依リ之ヲ延長スルコトヲ得

第五十四條 商標ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手数料ヲ納付スベシ

- 一 商標登録出願 每一件 五圓
- 二 商標登録出願人ノ名義變更届 每一件 五圓
- 三 登録證複本ノ申請 每一件 五圓
- 四 登録證再下付ノ申請 每一件 五圓
- 五 商標專用權存續期間更新ノ登録出願 每一件 五圓
- 六 再審査ノ請求 每一件 二十圓
- 七 評定ノ請求 每一件 三十圓
- 八 費用額決定ノ請求 每一件 一圓
- 九 費用額決定ノ執行力アル正本ノ請求 每一件 一圓
- 十 法定期間延長ノ請求 每一件 一圓
- 十一 商標法施行細則第二十六條第一項但書ノ請求 每一件 二圓

- 十二 商標法施行細則第五十三條第二項之請求 每一件 一圓
- 十三 請求指定期日或指定期間之變更 每一件 一圓
- 十四 證明之申請 每一件 一圓
- 十五 文書謄本之申請 每一件 一圓

每一紙五角  
每一紙一百字  
每一紙五百字  
每一紙一千字  
每一紙一千五百字  
每一紙二千字  
每一紙二千五百字  
每一紙三千字  
每一紙三千五百字  
每一紙四千字  
每一紙四千五百字  
每一紙五千字  
每一紙五千五百字  
每一紙六千字  
每一紙六千五百字  
每一紙七千字  
每一紙七千五百字  
每一紙八千字  
每一紙八千五百字  
每一紙九千字  
每一紙九千五百字  
每一紙一萬字

十六 文書之閱覽或謄寫之申請 每一件一時間亦  
角未滿一時間亦

第五十五條 註冊費及公費應以收入印紙繳納之

繳納註冊費及公費時商標局應發給收據

附則

第五十六條 本則自大同二年十一月二十日施行之

- 十二 商標法施行細則第五十三條第二項ノ請求 每一件 一圓
- 十三 指定期日又ハ指定期間ノ變更ノ請求 每一件 一圓
- 十四 證明ノ申請 每一件 一圓
- 十五 書類ノ謄本ノ申請 每一件 一圓

每一紙五角  
每一紙一百字  
每一紙五百字  
每一紙一千字  
每一紙一千五百字  
每一紙二千字  
每一紙二千五百字  
每一紙三千字  
每一紙三千五百字  
每一紙四千字  
每一紙四千五百字  
每一紙五千字  
每一紙五千五百字  
每一紙六千字  
每一紙六千五百字  
每一紙七千字  
每一紙七千五百字  
每一紙八千字  
每一紙八千五百字  
每一紙九千字  
每一紙九千五百字  
每一紙一萬字

十六 書類ノ閱覽又ハ謄寫ノ申請

每一件一時間亦  
角未滿一時間亦

第五十五條 登錄費及手数料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スベシ

登錄費又ハ手数料ノ納付アリタルトキハ商標局ハ領收證ヲ發給スベシ

附則

第五十六條 本則ハ大同二年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

附記

第一號書式

註冊第 號  
商標註冊證

國籍 (係外國人時)  
姓名 (名稱)  
住址

商標圖樣(貼附)

使用商標之商品名及其類別  
專用期間自 年 月 日至 年 月 日  
前具商標業經本局依法確定註冊取得專用權除登錄商標原簿外合亟發給註冊證以資信守此證

年 月 日  
商標局長 姓 名印

第二號書式

註冊第 號

聯合商標註冊證

別記

第一號書式

登錄第 號  
商標登錄證

國籍 (外國人ノ場合)  
住所 (營業所)  
氏 名(名稱)

商標見本(貼附)

商標ヲ使用スベキ商品名及其ノ類別  
專用期間自 年 月 日至 年 月 日  
前記商標ハ登錄スベキモノト確定ス原簿ニ登錄シ茲ニ登錄證ヲ發給ス

年 月 日  
商標局長 氏 名印

第二號書式

登錄第 號

聯合ノ商標ノ商標登錄證

國籍 (係外國人時)	姓名 (名稱)	住址
商標圖樣(貼附)		
使用商標之商品名及其類別		
聯合商標之商標專用權註冊第 號		
專用期間自 年 月 日至 年 月 日		
前具商標業經本局依法確定註冊取得專用權除登錄商標原簿外合亟發給註冊證以資信守此證		
年 月 日	商標局長 姓	名印

○關於商標手續代理之件

(大同二年九月二十一日)  
實業部令第七號

修正 實業部令第一號

茲制定關於商標手續代理之件公布之

國籍 (外國人ノ場合)	住所 (營業所)	氏 名(名稱)
商標見本(貼附)		
商標ヲ使用スベキ商品名及其ノ類別		
聯合ノ專用權登錄第 號		
專用期間自 年 月 日至 年 月 日		
前記商標ハ登錄スベキモノト確定ス原簿ニ登錄シ茲ニ登錄證ヲ發給ス		
年 月 日	商標局長 氏	名印

○商標局ニ對スル手續ノ代理ニ關スル件

(大同二年九月二十一日)  
實業部令第七號

修正 實業部令第一號

茲ニ商標局ニ對スル手續ノ代理ニ關スル件ヲ制定シ之ヲ公布

關於商標手續代理之件

第一條 關於商標之呈請、請求及其他程序以代理行為業者須經實業部大臣之許可

第二條 欲受前條規定之許可者應記載姓名、住所、事務所及經歷並其他必要事項繕具呈請書經由商標局呈送之

欲受前項許可者若係外國人時應呈具證明國籍之文書

第三條 按第一條規定已得許可者如其業務上有不法行為或辦理業務認為不適當時實業部大臣得取銷其許可

第四條 違背第一條規定者處以二個月以下之拘役或一百圓以下之罰金

附 則

本令自公布之日施行

ス

商標局ニ對スル手續ノ代理ニ關スル件

第一條 業トシハ商標ノ出願、請求其ノ他ノ手續ニ關シ代理行為ヲ爲ス者ハ實業部大臣ノ許可ヲ受クベシ

第二條 前條ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ氏名、住所、事務所及經歷其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル願書ヲ商標局ヲ經由シテ之ヲ差出スベシ

前項ノ許可ヲ受ケムトスル者外國人ナルトキハ其ノ國籍ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第三條 實業部大臣ハ第一條ノ許可ヲ得タル者業務上不都合ノ行為アリタル場合又ハ業務ヲ爲スニ不適當ナリト認メタル場合ニハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第四條 第一條ノ規定ニ違反シタル者ハ二月以下ノ拘役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

## ○商標註冊令

(大同二年十一月二十一日)  
實業部令第九號

茲制定商標註冊令公布之此令  
商標註冊令

### 第一章 總 則

第一條 關於商標之註冊依左列事項爲之

- 一 商標專用權之設定、移轉、變更或銷滅
- 二 註冊之效力或商標專用權範圍之評決

第二條 預告註冊於左列情形爲之

- 一 因註冊原因之無效或因註冊撤銷之註冊之塗銷或有提起回復之訴訟時
- 二 關於註冊之效力或商標專用權之範圍有請求評定時

第三條 左列各項之註冊依附記爲之

- 一 註冊名義人之表示之變更或更正
- 二 一部塗銷註冊之回復
- 三 註冊之更正

## ○商標登錄令

(大同二年十一月二十一日)  
實業部令第九號

茲制定商標登錄令ヲ制定シ之ヲ公布ス  
商標登錄令

### 第一章 總 則

第一條 商標ニ關スル登錄ハ左ニ掲グル事項ニ付之ヲ爲ス

- 一 商標專用權ノ設定、移轉、變更又ハ消滅
- 二 登錄ノ效力又ハ商標專用權ノ範圍ニ關スル評決

第二條 豫告登錄ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

- 一 登錄原因ノ無效又ハ取消ニ依ル登錄ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタルトキ
- 二 登錄ノ效力又ハ商標專用權ノ範圍ニ關スル評定ノ請求アリタルトキ

第三條 左ニ掲グル事項ノ登錄ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

- 一 登錄名義人ノ變更又ハ更正
- 二 一部抹消登錄ノ回復
- 三 登錄ノ更正

第四條 註冊之先後應依次序號數

附記註冊之次序依主註冊之次序附記註冊間之次序依其先後

第五條 註冊商標之圖樣及說明書視爲商標原簿之一部

依評決之原本爲第一條第二款所載事項之註冊時其原本視爲商標原簿之一部

第六條 商標原簿之式樣並關於其記載程序另定之

### 第二章 註冊程序

#### 第一節 通 則

第七條 註冊除有法令特別規定外非依聲請或囑託不得爲之

依囑託之註冊程序除有法令特別規定外準用關於聲請之註冊規定

第八條 左列事項之註冊以職權爲之

- 一 商標專用權之設定、註冊之無效或不依放棄之商標專用權之銷滅

第四條 登錄ノ前後ハ順位番號ニ依ル

附記登錄ノ順位ハ主登錄ノ順位ニ依リ附記登錄間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル

第五條 登錄商標見本及說明書ハ之ヲ商標原簿ノ一部ト看做ス

評決ノ原本ニ依リ第一條第二號ニ掲グル事項ノ登錄ヲ爲シタルトキハ其ノ原本ハ之ヲ商標原簿ノ一部ト看做ス

第六條 商標原簿ノ樣式並ニ其ノ記載ニ關スル手續ハ別ニ之ヲ定ム

### 第二章 登錄手續

#### 第一節 通 則

第七條 登錄ハ法令ニ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外申請又ハ囑託ニ依ルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

囑託ニ依ル登錄ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外申請ニ依ル登錄ニ關スル規定ヲ準用ス

第八條 左ニ掲グル事項ノ登錄ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

- 一 商標專用權ノ設定、登錄ノ無效又ハ放棄ニ依ラザル商標專用權ノ消滅

二 商標專用權存續期間之續展

三 關於註冊之效力或商標專用權範圍之評決

第九條 註冊之聲請應由註冊權利者及註冊義務者爲之但聲請書附有註冊義務者之承諾書時得僅由權利者爲之

第十條 依判決或繼承或其他普通受讓之註冊之聲請得僅由註冊權利者爲之

第十一條 註冊名義人之表示之變更或更正註冊之聲請得僅由註冊名義人爲之於註冊義務者不存在時之更正註冊之聲請亦同

第十二條 由受理第二條第一款之訴訟之法院添具訴狀謄本或抄本囑託預告註冊時即爲其預告註冊

有第二條第二款所載之請求時以職權爲其預告註冊

第十三條 註冊之聲請書須每一件具一份記載左列事項

由聲請人記名蓋章

一 註冊號數

二 商標專用權ノ存續期間ノ更新

三 登録ノ效力又ハ商標專用權ノ範圍ニ關スル評決

第九條 登録ノ申請ハ登録權利者及登録義務者之ヲ爲スベシ但シ申請書ニ登録義務者ノ承諾書ヲ添付シタルトキハ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第十條 判決又ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ依ル登録ノ申請ハ登録權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第十一條 登録名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登録ノ申請ハ登録名義人ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得登録義務者ノ存セザル場合ニ於ケル更正ノ登録ノ申請ニ付亦同ジ

第十二條 第二條第一款ニ掲グル訴ヲ受理シタル法院ヨリ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添付シテ豫告登録ノ囑託アリタルトキハ其ノ豫告登録ヲ爲ス

第二條第二款ニ掲グル請求アリタルトキハ職權ヲ以テ其ノ豫告登録ヲ爲ス

第十三條 登録ノ申請書ハ一件毎ニ一通ヲ作り之ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シ申請人記名捺印スベシ

一 登録番號

二 聲請人之姓名名稱及住所、居所或營業所並依代理人聲請時其姓名名稱及住所或居所

三 聲請人係外國人時註明國籍

四 註冊原因及其日期

五 註冊之目的

六 年月日

第十四條 註冊之聲請書應附呈左列文書

一 證明註冊原因之文書

二 關於註冊原因需第三者之同意時其證明文書

三 聲請人係外國人時證明國籍之文書

四 聲請人係外國法人時證明其法人之文書

五 依代理人或代表人聲請註冊時證明其權限之文書

第十五條 以數件聲請書聲請註冊時前條各款所載文書

二 申請人ノ氏名名稱及住所、居所、又ハ營業所並ニ代理人ニ依リテ申請スル場合ニ於テハ尙ホ其ノ氏名、名稱及住所又ハ居所

三 申請人ガ外國人ナル場合ニ在リテハ其ノ國籍

四 登録原因及其ノ日附

五 登録ノ目的

六 年月日

第十四條 登録ノ申請書ニハ左ノ書面ヲ添付スベシ

一 登録原因ヲ證スル書面

二 登録原因ニ付第三者ノ同意ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面

三 申請人ガ外國人ナル場合ニ在リテハ其ノ國籍ヲ證スル書面

四 申請人ガ外國法人ナル場合ニ在リテハ其ノ法人タルコトヲ證スル書面

五 代理人又ハ代表者ニ依リテ登録ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

第十五條 數箇ノ申請書ニ依リ登録ヲ申請スル場合ニ於テ前條

僅係一份則附呈一份其他呈請書應記載其情節

**第十六條** 有左列情形時註冊之聲請駁回之

- 一 案件非應註冊者
- 二 聲請書之方式不適合者
- 三 除聲請人係註冊權利者或註冊義務者之繼承人或  
其他普通受讓人時外聲請書所載註冊義務者之表示  
與商標原簿不符者
- 四 聲請人爲註冊名義人時其表示與商標原簿不符者
- 五 聲請書所載事項與證明註冊原因之文書不符者
- 六 聲請書未附呈必要文書者
- 七 未繳納註冊費者

依前項規定之駁回應附理由

**第十七條** 行政區劃或其名稱有變更時商標原簿所記載  
行政區劃或其名稱視爲已經變更者

各號ニ掲グル書面ガ一通ナルトキハ一ノ申請書ニ之ヲ添附シ  
他ノ申請書ニハ其ノ旨ヲ記載スベシ

**第十六條** 左ノ場合ニ於テハ登録ノ申請ハ之ヲ却下ス

- 一 事件ガ登録スベキモノニ非ザルトキ
- 二 申請書ガ方式ニ適合セザルトキ
- 三 申請人ガ登録權利者又ハ登録義務者ノ相續人其ノ他ノ一  
般承繼人ナル場合ヲ除クノ外申請書ニ掲グル登録義務者ノ  
表示ガ商標原簿ト符合セザルトキ
- 四 申請人ガ登録名義人ナル場合ニ於テ其ノ表示ガ商標原簿  
ト符合セザルトキ
- 五 申請書ニ掲グル事項ガ登録原因ヲ證スル書面ト符合セザ  
ルトキ
- 六 申請書ニ必要ナル書面ヲ添附セザルトキ
- 七 登録稅ヲ納付セザルトキ

前項ノ規定ニ依ル却下ニハ理由ヲ附スベシ

**第十七條** 行政區劃又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ商標原  
簿ニ載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ハ之ヲ變更シタルモノト  
看做ス

**第十八條** 註冊完畢後發見其註冊有錯誤或遺漏時應從  
速通知註冊權利者及註冊義務者或註冊名義人

依前項規定之通知於註冊權利者、註冊義務者或註冊  
名義人係多數而無其代表人時得通知其中一人以代表  
之

**第十九條** 於前條情形其註冊之錯誤或遺漏僅係商標局  
之錯誤時應從速更正其註冊並通知註冊權利者及註冊  
義務者或註冊名義人

前條第二項之規定於前項之情形亦準用之

**第二節** 關於商標專用權之註冊程序

**第二十條** 聲請商標專用權移轉之註冊時其聲請書應附  
呈證明營業一併移轉之文書

**第三節** 關於塗銷之註冊程序

**第二十一條** 因放棄商標專用權塗銷註冊或因廢止營業  
塗銷商標專用權之註冊得僅由註冊名義人聲請之

因廢止商標法第五條之規定所指定商品一部之營業爲

**第十八條** 登録ヲ完了シタル後其ノ登録ニ付錯誤又ハ遺漏アル  
コトヲ發見シタルトキハ遲延ナク其ノ旨ヲ登録權利者及登録  
義務者又ハ登録名義人ニ通知スベシ

前項ノ規定ニ依ル通知ハ登録權利者、登録義務者又ハ登録名  
義人ガ多數ナル場合ニ於テ其ノ代表者ナキトキハ其ノ一人ニ  
對スル通知ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

**第十九條** 前條ノ場合ニ於テ登録ノ錯誤又ハ遺漏ガ商標局ノミ  
ノ過誤ニ出デタルトキハ遲延ナク其ノ登録ノ更正ヲ爲シ其ノ  
旨ヲ登録權利者及登録義務者又ハ登録名義人ニ通知スベシ

**第二節** 商標專用權ニ關スル登録手續

**第二十條** 商標專用權移轉ノ登録ヲ申請スル場合ニ於テハ申請  
書ニ營業ト共ニスルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

**第三節** 抹消ニ關スル登録手續

**第二十一條** 商標專用權ノ放棄ニ依ル登録ノ抹消又ハ營業廢止  
ニ依ル商標專用權ノ登録ノ抹消ハ登録名義人ノミニテ之ヲ申  
請スルコトヲ得

商標法第五條ノ規定ニ依リ指定シタル商品ノ一部ニ係ル營業



塗銷註冊之一部或因放棄商品之一部爲塗銷商標專用權註冊之一部時其註冊證書應記載廢止其營業之商品或所放棄之商品

**第二十二條** 依第二條第一款有預告註冊時駁回訴訟之裁判或對於起訴人宣告收訴之裁判確定時或有撤回訴訟時或有放棄請求時或於請求之目的或和解時由第一審法院添具裁判謄本或抄本或撤回起訴或放棄請求或證明和解之法院書記官之文書囑託預告註冊之塗銷時卽爲塗銷其預告註冊

因第二條第二款有預告註冊情形而有駁回請求評定之決定時、有否認請求之評決時或有撤回請求時以職權塗銷預告註冊

### 第三章 異議

**第二十三條** 關於註冊之處分爲不當者自其處分完畢之日起三十日以内得對於商標局長聲請異議

ノ廢止ニ依ル登録ノ一部抹消又ハ商品ノ一部拋棄ニ依ル商標專用權ノ登録ノ一部抹消ノ登録ノ申請書ニハ其ノ營業ノ廢止ニ係ル商品又ハ拋棄ニ係ル商品ヲ記載スベシ

**第二十二條** 第二條第一號ノ豫告登録アリタル場合ニ於テ訴ヲ却下シタル裁判若ハ之ヲ提起シタル者ニ對シテ收訴ヲ言渡シタル裁判ガ確定シタルトキ、訴ノ取下アリタルトキ、請求ノ拋棄アリタルトキ又ハ請求ノ目的ニ付和解アリタルトキ、第一審法院ヨリ裁判ノ謄本若ハ抄本又ハ訴ノ取下、請求ノ拋棄若ハ和解ヲ證スル法院書記官ノ書面ヲ添附シテ豫告登録ノ抹消ノ囑託アリタルトキハ其ノ豫告登録ヲ抹消ス

第二條第二款ノ豫告登録アリタル場合ニ於テ評定ノ請求ヲ却下シタル決定アリタルトキ、請求ヲ否認シタル評決アリタルトキ又ハ請求ノ取下アリタルトキハ職權ヲ以テ豫告登録ヲ抹消ス

### 第三章 異議

**第二十三條** 登録ニ關スル處分ヲ不當トスル者ハ其ノ處分ノ了リタル日ヨリ三十日以内ニ商標局長ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得

異議之決定應附理由  
前項之決定不得不服

### 附則

本令自大同二年十一月二十日施行之

## ○商標註冊令施行細則

(大同二年十一月二十一日)  
實業部令第一〇號

茲制定商標註冊令施行細則公布之此令

商標註冊令施行細則

### 第一章 關於註冊之簿冊

**第一條** 商標原簿須依第一條式樣製之

**第二條** 商標原簿每一用紙備一商標專用權之用

**第三條** 受理簿須依第二號式樣每年製之

**第四條** 商標原簿註冊號數欄記載註冊號數

於表題部之表示欄爲商標專用權之表示並記載關於其變更、銷滅及註冊之效力或商標專用權範圍確認之評決事項表示號數欄記載表示欄所記註冊事項之次序

異議ノ決定ハ理由ヲ附シテ之ヲ爲スベシ

前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

### 附則

本令ハ大同二年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

## ○商標登録令施行細則

(大同二年十一月二十一日)  
實業部令第一〇號

茲ニ商標登録令施行細則ヲ制定シ之ヲ公布ス

商標登録令施行細則

### 第一章 登録ニ關スル帳簿

**第一條** 商標原簿ハ第一號樣式ニ依リ之ヲ作ルベシ

**第二條** 商標原簿ハ一商標專用權ニ付一用紙ヲ備フ

**第三條** 受付簿ハ第二號樣式ニ依リ毎年之ヲ作ルベシ

**第四條** 商標原簿ノ登録番號欄ニハ登録番號ヲ記載ス

表題部ノ表示欄ニハ商標專用權ノ表示ヲ爲シ並ニ其ノ變更消滅及登録ノ效力又ハ商標專用權ノ範圍ノ確認ニ關スル評決ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登録事項ヲ記載

事項區之事項欄記載關於商標專用權之設定及移轉事項

次序號數欄記載於事項欄所記載註冊事項之次序  
聯合商標註冊號數欄記載與其註冊商標所聯合之商標  
註冊號數

**第二章 聲請及囑託程序**

**第五條** 註冊聲請書係數頁時聲請人須於每頁連續處蓋  
騎縫印但聲請人爲多數時只蓋其一人之印爲足

無前項蓋印者須由註冊官吏蓋印  
前二項之規定於囑託程序亦準用之

**第三章 註冊程序**

**第一節 通則**

**第六條** 於表示欄爲註冊時在表示號數欄記載號數於事  
項欄爲註冊時在次序號數欄記載號數

**第七條** 記載依附記之註冊號數時應記載主註冊之號數  
並於其左方依附記之次序記載附記幾號

シタル順序ヲ記載ス

事項區ノ事項欄ニハ商標專用權ノ設定及移轉ニ關スル事項  
ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登錄事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス  
聯合商標登錄番號欄ニハ其ノ登錄商標ニ聯合スベキ商標ノ登  
錄番號ヲ記載ス

**第二章 申請及囑託手續**

**第五條** 登錄申請書方數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ  
契印スベシ但シ申請人ガ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以  
テ足ル

前項ノ契印ナキモノニ付テハ登錄官吏ニ於テ契印スベシ  
前二項ノ規定ハ囑託手續ニ付之ヲ準用ス

**第三章 登錄手續**

**第一節 通則**

**第六條** 表示欄ニ登錄ヲ爲ストキハ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ  
事項欄ニ登錄ヲ爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スベシ

**第七條** 附記ニ依ル登錄ノ番號ヲ記載スルニハ主登錄ノ番號ヲ  
記載シ其ノ左側ニ附記ノ順序ニ依リ附記何號ト記載スベシ

於前項情形時應於主註冊號數之左方記載前項之附記  
號數

**第八條** 於商標原簿記載住所時原無住所或居所者應記  
載營業所若係外國人時記載其國籍

**第九條** 依異議之決定爲註冊時應於相當欄記載原因及  
其日期

**第十條** 有變更或更正之註冊時應將所變更或更正之註  
冊事項用朱筆鈎銷之

**第十一條** 爲塗銷之註冊須於相當欄記載其原因、日期  
及其塗銷之情節後將所塗銷之註冊用朱筆鈎銷之  
因廢止商品一部之營業爲塗銷商標專用權一部之註冊  
或因放棄商品一部爲商標專用權註冊一部塗銷之註  
冊須於表示欄記載其原因、日期及其塗銷之情節後爲  
變更之註冊

**第十二條** 爲回復之註冊應記載其原因、日期及其回復  
之情節後係塗銷之註冊爲同一註冊

**第十三條** 表示欄或事項欄爲註冊時應於其末尾記載註

前項ノ場合ニ於テハ主登錄ノ番號ノ左側ニ前項ノ附記ノ番號  
ヲ記載スベシ

**第八條** 商標原簿ニ住所ヲ記載スベキ場合ニ於テ住所又ハ居所  
ナキ者ニ付テハ營業所ヲ記載シ外國人ニ付テハ尙ホ其ノ國籍  
ヲ記載スベシ

**第九條** 異議ノ決定ニ依リ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ相當欄ニ原  
因及其ノ日附ヲ記載スベシ

**第十條** 變更又ハ更正ノ登錄ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正ア  
リタル登錄事項ヲ朱抹スベシ

**第十一條** 抹消ノ登錄ヲ爲スニハ相當欄ニ其ノ原因、日附及抹  
消ヲ爲ス旨ヲ記載シタル後抹消スベキ登錄ヲ朱抹スベシ  
商品ノ一部ニ係ル營業ノ廢止ニ依ル商標專用權ノ一部抹消ノ  
登錄又ハ商品ノ一部拋棄ニ依ル商標專用權ノ一部抹消  
ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ其ノ原因、日附及抹消ヲ爲ス旨ヲ  
記載シタル後變更ノ登錄ヲ爲スベシ

**第十二條** 回復ノ登錄ヲ爲スニハ其ノ原因、日附及回復ヲ爲ス  
旨ヲ記載シタル後抹消ニ係ル登錄ト同一ノ登錄ヲ爲スベシ

**第十三條** 表示欄又ハ事項欄ニ登錄ヲ爲シタルトキハ其ノ末尾

事項區之事項欄記載關於商標專用權之設定及移轉事項

次序號數欄記載於事項欄所記載註冊事項之次序  
聯合商標註冊號數欄記載與其註冊商標所聯合之商標  
註冊號數

### 第二章 聲請及囑託程序

第五條 註冊聲請書係數頁時聲請人須於每頁連續處蓋  
騎縫印但聲請人爲多數時只蓋其一人之印爲足

無前項蓋印者須由註冊官吏蓋印

前二項之規定於囑託程序亦準用之

### 第三章 註冊程序

#### 第一節 通 則

第六條 於表示欄爲註冊時在表示號數欄記載號數於事  
項欄爲註冊時在次序號數欄記載號數

第七條 記載依附記之註冊號數時應記載主註冊之號數  
並於其左方依附記之次序記載附記號數

シタル順序ヲ記載ス

事項區ノ事項欄ニハ商標專用權ノ設定及移轉ニ關スル事項  
記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登錄事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス  
聯合商標登錄番號欄ニハ其ノ登錄商標ニ聯合スベキ商標ノ登  
錄番號ヲ記載ス

### 第二章 申請及囑託手續

第五條 登錄申請書方數葉ニ涉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ  
契印スベシ但シ申請人ガ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以  
テ足ル

前項ノ契印ナキモノニ付テハ登錄官吏ニ於テ契印スベシ

前二項ノ規定ハ囑託手續ニ付之ヲ準用ス

### 第三章 登錄手續

#### 第一節 通 則

第六條 表示欄ニ登錄ヲ爲ストキハ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ  
事項欄ニ登錄ヲ爲ストキハ順位番號欄ニ番號ヲ記載スベシ

第七條 附記ニ依ル登錄ノ番號ヲ記載スルニハ主登錄ノ番號ヲ  
記載シ其ノ左側ニ附記ノ順序ニ依リ附記何號ト記載スベシ

於前項情形時應於主註冊號數之左方記載前項之附記  
號數

第八條 於商標原簿記載住所時原無住所或居所者應記  
載營業所若係外國人時記載其國籍

第九條 依異議之決定爲註冊時應於相當欄記載原因及  
其日期

第十條 有變更或更正之註冊時應將所變更或更正之註  
冊事項用朱筆鈎銷之

第十一條 爲塗銷之註冊須於相當欄記載其原因、日期  
及其塗銷之情節後將所塗銷之註冊用朱筆鈎銷之  
因廢止商品一部之營業爲塗銷商標專用權一部之註冊  
或因放棄商品一部爲商標專用權註冊一部塗銷之註  
冊須於表示欄記載其原因、日期及其塗銷之情節後爲  
變更之註冊

第十二條 爲回復之註冊應記載其原因、日期及其回復  
之情節後係塗銷之註冊爲同一註冊

第十三條 表示欄或事項欄爲註冊時應於其末尾記載註

前項ノ場合ニ於テハ主登錄ノ番號ノ左側ニ前項ノ附記ノ番號  
ヲ記載スベシ

第八條 商標原簿ニ住所ヲ記載スベキ場合ニ於テ住所又ハ居所  
ナキ者ニ付テハ營業所ヲ記載シ外國人ニ付テハ尙ホ其ノ國籍  
ヲ記載スベシ

第九條 異議ノ決定ニ依リ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ相當欄ニ原  
因及其ノ日附ヲ記載スベシ

第十條 變更又ハ更正ノ登錄ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正ア  
リタル登錄事項ヲ朱抹スベシ

第十一條 抹消ノ登錄ヲ爲スニハ相當欄ニ其ノ原因、日附及抹  
消ヲ爲ス旨ヲ記載シタル後抹消スベキ登錄ヲ朱抹スベシ  
商品ノ一部ニ係ル營業ノ廢止ニ依ル商標專用權ノ一部抹消ノ  
登錄又ハ商品ノ一部拋棄ニ依ル商標專用權ノ登錄ノ一部抹消  
ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ其ノ原因、日附及抹消ヲ爲ス旨ヲ  
記載シタル後變更ノ登錄ヲ爲スベシ

第十二條 回復ノ登錄ヲ爲スニハ其ノ原因、日附及回復ヲ爲ス  
旨ヲ記載シタル後抹消ニ係ル登錄ト同一ノ登錄ヲ爲スベシ

第十三條 表示欄又ハ事項欄ニ登錄ヲ爲シタルトキハ其ノ末尾

冊年月日由註冊官吏蓋印

**第十四條** 表示欄爲註冊時應於表示號數欄及表示欄劃

一縱線於事項欄爲註冊時於次序號數欄及事項欄劃一  
縱線以爲空白之分界

**第十五條** 註冊用紙中之一欄至無註冊或記載之餘白時  
添用註冊用紙應於註冊號數欄抄記前用紙之號數並於  
其左方註明「第二」之字樣並記載編綴前用紙之商標原  
簿之冊數、頁數及爲繼續之旨

於前項之情形須於前用紙中註冊號數之左方註明「第  
一」之字樣於註冊號數欄記載編綴新用紙之商標原簿  
之冊數、頁數及與此繼續之旨

前用紙中之他欄有空白時應於其欄內註冊或記載之事  
項應用其欄註冊或記載

**第十六條** 前條規定於添用第三以下之繼續用紙時準用  
之

**第二節 依職權之註冊程序**

**第十七條** 依職權之註冊應隨其原因發生之次序爲之但

ニ登録年月日ヲ記載シ登録官吏之ニ捺印スベシ

**第十四條** 表示欄ニ登録ヲ爲シタトキルハ表示番號欄及表示欄

ニ縱線ヲ劃シ事項欄ニ登録ヲ爲シタルトキハ順位番號欄及事  
項欄ニ縱線ヲ劃シ餘白ト分界スベシ

**第十五條** 登録用紙中或欄方登録又ハ記載ヲ爲スベキ餘白ナキ  
ニ至リタルトキハ新ニ登録用紙ヲ起シ登録番號欄ニ前用紙ノ  
登録番號ヲ轉寫シ其ノ左側ニ「第二」ノ文字ヲ記載シ且前用  
紙ヲ編綴セル商標原簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナル旨ヲ  
記載スベシ

前項ノ場合ニ於テハ前用紙中登録番號ノ左側ニ「第一」ノ文字  
ヲ記載シ登録番號欄ニ新用紙ヲ編綴セル商標原簿ノ冊數、丁  
數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スベシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登録又ハ記載スベ  
キ事項ハ仍ホ其ノ欄ニ登録又ハ記載スベシ

**第十六條** 前條ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之  
ヲ準用ス

**第二節 職權ニ依ル登録手續**

**第十七條** 職權ニ依ル登録ハ其ノ原因ノ發生シタル順序ニ從ヒ

商標專用權之設定及商標專用權存續期間續展之註冊  
應隨繳納註冊費之次序爲之

**第十八條** 爲商標專用權設定之註冊應於註冊號數欄記  
載註冊號數於表示欄記載呈請日期、呈請號數、使用  
商標之商品類別及商品並審定確定或有決定之旨及其  
審定或決定之日期於事項區事項欄記載商標專用權者  
之姓名、名稱及住所、居所或營業所

**第十九條** 爲聯合之商標專用權設定之註冊除前條規定  
之事項外應於聯合商標註冊號數欄記載他聯合註冊商  
標之註冊號數並於他聯合商標之商標專用權之註冊用  
紙中之聯合商標註冊號數欄記載其註冊號數

**第二十條** 有聯合之商標之商標專用權設定之註冊後爲  
其一之商標專用權銷滅之註冊時須將他聯合之商標之  
商標專用權註冊用紙中聯合商標註冊號數欄之號數用  
朱筆鈎銷之

**第二十一條** 爲商標專用權存續期間續展之註冊應於表  
示欄記載呈請日期、呈請號數、審定確定或有決定之  
旨及其審定或決定之日期如有變更使用商標之商品時

テ之ヲ爲スベシ但シ商標專用權ノ設定及商標專用權存續期間  
更新ノ登録ハ料金納付ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲スベシ

**第十八條** 商標專用權設定ノ登録ヲ爲スニハ登録番號欄ニ登録  
番號ヲ記載シ表示欄ニ出願日附、願書番號、商標ヲ使用スル  
商品ノ類別及商品並ニ審定確定シ又ハ決定アリタル旨及其ノ  
審定又ハ決定ノ日附ヲ記載シ事項區事項欄ニ商標專用權者ノ  
氏名、名稱及住所、居所又ハ營業所ヲ記載スベシ

**第十九條** 聯合ノ商標專用權設定ノ登録ヲ爲スニハ前條ニ規定  
スル事項ノ外聯合商標登録番號欄ニ他ノ聯合ノ登録商標ノ登  
録番號ヲ記載シ他ノ聯合ノ商標ノ商標專用權ノ登録用紙中聯  
合商標登録番號欄ニ其ノ登録番號ヲ記載スベシ

**第二十條** 聯合ノ商標ノ商標專用權設定ノ登録アリタル後其ノ  
一ノ商標專用權ノ消滅ノ登録ヲ爲シタルトキハ他ノ聯合ノ商  
標ノ商標專用權ノ登録用紙中聯合商標登録番號欄ノ番號ヲ朱  
抹スベシ

**第二十一條** 商標專用權存續期間更新ノ登録ヲ爲スニハ表示欄  
ニ出願日附、願書番號、審定確定シ又ハ決定アリタル旨及其  
ノ審定又ハ決定ノ日附ヲ記載シ尙ホ商標ヲ使用スル商品ニ變

須記載其商品

**第二十二條** 爲註冊之效力或商標專用權範圍之評決之註冊應於表示欄記載評定或其請求號數、有評決之旨、其日期及評決之要綱

**第二十三條** 註冊除爲無效或商標專用權因放棄之時外有銷滅時應塗銷其商標專用權之註冊

註冊除有商品之一部爲無效或商標專用權因放棄之時外就商品之一部有銷滅時表示欄爲變更之註冊

**第二十四條** 爲商標註冊令第二條第二款規定之預告註冊於表示欄有請求評定時應記載評定請求書受理之年、月、日、評定號數及一定之聲明

**第三節** 依聲請及囑託之註冊程序

**第二十五條** 有呈送聲請註冊書時應於受理簿記載受理年月日、受理號數、註冊號數、註冊之目的及聲請人之姓名名稱並於聲請書記載受理年月日及受理號數前項受理號數應依受理之次序記之關於同一商標專用

更アリタル場合ニ在リテハ其ノ商品ヲ記載スベシ

**第二十二條** 登録ノ效力又ハ商標專用權ノ範圍ニ關スル評決ノ登録ヲ爲スニハ表示欄ニ評定又ハ請求ノ番號、評決アリタル旨、其ノ日附及評決ノ要旨ヲ記載スベシ

**第二十三條** 登録ガ無効ト爲リ又ハ商標專用權ガ放棄ニ依ル場合ヲ除クノ外消滅シタルトキハ其ノ商標專用權ノ登録ヲ抹消スベシ

商品ノ一部ニ付登録ガ無効ト爲リ又ハ商標專用權ガ放棄ニ依ル場合ヲ除クノ外商品ノ一部ニ付消滅シタルトキハ表示欄ニ變更ノ登録ヲ爲スベシ

**第二十四條** 商標登録令第二條第二號ノ豫告登録ヲ爲スニハ表示欄ニ評定ノ請求アリタル場合ニ在リテハ評定請求書受付ノ年月日、評定番號及一定ノ申立ヲ記載スベシ

**第三節** 申請及囑託ニ依ル登録手續

**第二十五條** 登録申請書ヲ提出アリタルトキハ受付簿ニ受付年月日、受付番號、登録番號、登録ノ目的及申請人ノ氏名、名稱ヲ記載シ申請書ニ受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スベシ前項ノ受付番號ハ受付ノ順序ニ依リ之ヲ附スベシ同一ノ商標

權同時有數件之聲請時應記同一號數

於第一項之情形其聲請人係多數時應記載呈請書所載代表者或爲首人之姓名名稱及其餘人員之數

**第二十六條** 受理號數須每年更提之

**第二十七條** 註冊依受理號數之次序爲之

依第二十五條第二項規定記有同一受理號數者應記載同一次序號數

**第二十八條** 表示欄爲註冊時應記載受理聲請書之年、月、日、受理號數、註冊原因及其日期並註冊之目的

事項欄爲註冊時應記載受理聲請書之年、月、日、受理號數、註冊權利者之姓名名稱及住所、居所或營業所註冊原因及其日期並註冊之目的

**第二十九條** 依商標註冊令第二條第一款之預告註冊應於註冊用紙中事項區事項欄爲之

**第三十條** 完畢註冊時應於證明註冊原因之文書記載註冊號數、受理聲請書之年、月、日、受理號數、次序號數、註冊年月日及已經註冊之旨蓋商標局印章發還註冊權

專用權ニ關シ同時ニ數箇ノ申請アリタルトキハ同一ノ受付番號ヲ附スベシ

第一項ノ場合ニ於テ申請人ガ多數ナルトキハ申請書ニ掲グル代表者又ハ筆頭者ノ氏名名稱及他ノ人員ノ數ヲ記載スベシ

**第二十六條** 受付番號ハ毎年之ヲ更新スベシ

**第二十七條** 登録ハ受付番號ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲スベシ  
第二十五條第二項ノ規定ニ依リ同一ノ受付番號ヲ附シタルモノニ付テハ同一ノ順位番號ヲ記載スベシ

**第二十八條** 表示欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受付ノ年月日、受付番號、登録原因及其ノ日附並ニ登録ノ目的ヲ記載スベシ

事項欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受付ノ年月日、受付番號、登録權利者ノ氏名、名稱及住所、居所又ハ營業所、登録原因及其ノ日附並ニ登録ノ目的ヲ記載スベシ

**第二十九條** 商標登録令第二條第一款ニ依ル豫告登録ハ登録用紙中事項區事項欄ニ之ヲ爲スベシ

**第三十條** 登録ヲ完了シタルトキハ登録原因ヲ證スル書面ニ登録番號、申請書受付ノ年月日、受付番號、順位番號、登録年月日及登録済ノ旨ヲ記載シ商標局ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登録權

須記載其商品

**第二十二條** 爲註冊之效力或商標專用權範圍之評決之註冊應於表示欄記載評定或其請求號數、有評決之旨、其日期及評決之要綱

**第二十三條** 註冊除爲無效或商標專用權因放棄之時外有銷滅時應塗銷其商標專用權之註冊

註冊除有商品之一部爲無效或商標專用權因放棄之時外就商品之一部有銷滅時表示欄爲變更之註冊

**第二十四條** 爲商標註冊令第二條第二款規定之預告註冊於表示欄有請求評定時應記載評定請求書受理之年、月、日、評定號數及一定之聲明

**第三節** 依聲請及囑託之註冊程序

**第二十五條** 有呈送聲請註冊書時應於受理簿記載受理年月日、受理號數、註冊號數、註冊之目的及聲請人之姓名名稱並於聲請書記載受理年月日及受理號數前項受理號數依受理之次序記之關於同一商標專用

更アリタル場合ニ在リテハ其ノ商品ヲ記載スベシ

**第二十二條** 登録ノ效力又ハ商標專用權ノ範圍ニ關スル評決ノ登録ヲ爲スニハ表示欄ニ評定又ハ請求ノ番號、評決アリタル旨、其ノ日附及評決ノ要旨ヲ記載スベシ

**第二十三條** 登録方無効ト爲リ又ハ商標專用權方放棄ニ依ル場合ヲ除クノ外消滅シタルトキハ其ノ商標專用權ノ登録ヲ抹消スベシ

商品ノ一部ニ付登録方無効ト爲リ又ハ商標專用權方放棄ニ依ル場合ヲ除クノ外商品ノ一部ニ付消滅シタルトキハ表示欄ニ變更ノ登録ヲ爲スベシ

**第二十四條** 商標登録令第二條第二號ノ豫告登録ヲ爲スニハ表示欄ニ評定ノ請求アリタル場合ニ在リテハ評定請求書受付ノ年月日、評定番號及一定ノ申立ヲ記載スベシ

**第三節** 申請及囑託ニ依ル登録手續

**第二十五條** 登録申請書ノ提出アリタルトキハ受付簿ニ受付年月日、受付番號、登録番號、登録ノ目的及申請人ノ氏名、名稱ヲ記載シ申請書ニ受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スベシ前項ノ受付番號ハ受付ノ順序ニ依リ之ヲ附スベシ同一ノ商標

權同時有數件之聲請時應記同一號數

於第一項之情形其聲請人係多數時應記載呈請書所載代表者或爲首人之姓名名稱及其餘人員之數

**第二十六條** 受理號數須每年更提之

**第二十七條** 註冊依受理號數之次序爲之  
依第二十五條第二項規定記有同一受理號數者應記載同一次序號數

**第二十八條** 表示欄爲註冊時應記載受理聲請書之年月日、受理號數、註冊原因及其日期並註冊之目的  
事項欄爲註冊時應記載受理聲請書之年月日、受理號數、註冊權利者之姓名名稱及住所、居所或營業所註冊原因及其日期並註冊之目的

**第二十九條** 依商標註冊令第二條第一款之預告註冊應於註冊用紙中事項欄爲之

**第三十條** 完畢註冊時應於證明註冊原因之文書記載註冊號數、受理聲請書之年月日、受理號數、次序號數、註冊年月日及已經註冊之旨蓋商標局印章發還註冊權

專用權ニ關シ同時ニ數箇ノ申請アリタルトキハ同一ノ受付番號ヲ附スベシ

第一項ノ場合ニ於テ申請人ガ多數ナルトキハ申請書ニ掲グル代表者又ハ筆頭者ノ氏名名稱及他ノ人員ノ數ヲ記載スベシ

**第二十六條** 受付番號ハ毎年之ヲ更新スベシ

**第二十七條** 登録ハ受付番號ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲スベシ  
第二十五條第二項ノ規定ニ依リ同一ノ受付番號ヲ附シタルモノニ付テハ同一ノ順位番號ヲ記載スベシ

**第二十八條** 表示欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受付ノ年月日、受付番號、登録原因及其ノ日附並ニ登録ノ目的ヲ記載スベシ  
事項欄ニ登録ヲ爲スニハ申請書受付ノ年月日、受付番號、登録權利者ノ氏名、名稱及住所、居所又ハ營業所、登録原因及其ノ日附並ニ登録ノ目的ヲ記載スベシ

**第二十九條** 商標登録令第二條第一號ニ依ル豫告登録ハ登録用紙中事項欄ニ之ヲ爲スベシ

**第三十條** 登録ヲ完了シタルトキハ登録原因ヲ證スル書面ニ登録番號、申請書受付ノ年月日、受付番號、順位番號、登録年月日及登録済ノ旨ヲ記載シ商標局ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登録權

利者

於前項之情形將註冊號數、註冊權利者之姓名名稱、註冊之原因及其日期、註冊之目的、註冊年月日並已經註冊之旨通知於註冊義務者但註冊義務者係為共有者一人時仍須通知於其他共有者

附則

本細則自大同二年十一月二十日施行之

第一號樣式

註冊	表題部	事項區	聯合商標
號數	表示	次序	註冊號數
表示	表示	事項	註冊號數
表示	表示	事項	註冊號數
表示	表示	事項	註冊號數
表示	表示	事項	註冊號數
表示	表示	事項	註冊號數
表示	表示	事項	註冊號數
表示	表示	事項	註冊號數
表示	表示	事項	註冊號數
表示	表示	事項	註冊號數

第二號樣式

受理	受理	註冊	註冊	註冊	註冊	註冊	註冊	註冊	註冊
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數
年月日	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數	號數

### ○商標公報發行規程

(康德元年四月十四日 實業部令第三號)

茲制定商標公報發行規程如左

商標公報發行規程

第一條 商標公報由商標局發行之

第二條 商標公報除刊登法令所定登載之事項外並得登載廣告

第三條 商標公報每月一日、十五日定期發行二次但有

必要時得臨時發行

第四條 商標公報應一般臣民之購閱

商標局長遇必要時得指定商標公報寄售人

商標局將商標公報發交於前項寄售人時得將報價許以

適宜之折扣

第五條 商標公報定價如左

商標公報 每冊 五角

同 分冊 每冊 三分

第六條 商標公報之廣告由商標局長定之

利者ニ還付スベシ

前項ノ場合ニ於テハ登錄義務者ニ登錄番號、登錄權利者ノ氏名、名稱、登錄ノ原因及其ノ日附、登錄ノ目的、登錄年月日並ニ登錄濟ノ旨ヲ通知スベシ但シ登錄義務者ガ共有者ノ一人ナル場合ニ於テハ尙ホ他ノ共有者ニ其ノ旨ヲ通知スベシ

附則

本細則ハ大同二年十一月二十日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

登錄	表題部	事項區	聯合商標
番號	表示	順位	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號
表示	表示	事項	登錄番號

第二號樣式

受付	受付	登錄	登錄	登錄	登錄	登錄	登錄	登錄	登錄
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號
年月日	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號	番號

### ○商標公報發行規程

(康德元年四月十四日 實業部令第三號)

茲ニ商標公報發行規程ヲ左ノ通制定ス

商標公報發行規程

第一條 商標公報ハ商標局ニ於テ之ヲ發行ス

第二條 商標公報ニハ法令ニ定ムル掲載事項ノ外廣告ヲ掲載スルコトヲ得

第三條 商標公報ハ毎月一日、十五日ノ定期ニ二回之ヲ發行ス但

シ必要アルトキ臨時發行ヲ爲スコトヲ得

第四條 商標公報ハ一般臣民ノ購閱ニ應ズ

商標局長ハ必要ニ應ジ商標公報賣捌人ヲ指定スルコトヲ得

商標局ハ前項ノ賣捌人ニ商標公報ヲ交付スル場合ニ於テハ報

價ヲ適宜割引スルコトヲ得

第五條 商標公報ノ定價ヲ左ノ如ク定ム

商標公報 一部ニ付 五角

同 分冊 一部ニ付 三分

第六條 商標公報ノ廣告料ハ商標局長之ヲ定ム

第七條 關於商標公報之廣告事務得使依照第四條第二項之規定由商標局長指定之商標公報寄售人辦理之

附則

本令自公布日施行

### ○商標公報寄售人之指定

(康德元年四月二十五日)  
政 府 公 報

茲依照商標公報發行規程第四條第二項之規定指定滿洲國辦理士會理事長古宇田晶爲商標公報寄售人

### ○關於商標印版輸入稅免除之件

(大同三年二月六日)  
財政部訓令第四九號

各稅關長

爲令遵事查大同二年教令第七十七號商標法第二十三條暨同法施行細則第三十八條第一項會規定商標登錄手續

第七條 商標公報ノ廣告ニ關スル事務ハ第四條第二項ノ規定ニ依リ商標局長ノ指定スル商標公報賣捌人ニ之ヲ取扱ハシムルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

### ○商標公報賣捌人ノ指定

(康德元年四月二十五日)  
政 府 公 報

商標公報發行規程第四條第二項ノ規定ニ依リ商標公報賣捌人トシテ滿洲國辦理士會理事長古宇田晶ヲ指定ス

### ○商標印版ノ輸入稅免除方ニ關スル件

(大同三年二月六日)  
財政部訓令第四九號

各稅關長ニ令ス

大同二年教令第七十七號商標法第二十三條並同法施行細則第三十八條第一項ノ規定ニ依リ商標登錄手續代理人ニ於テ外國在住

代理人收到由外國住在之登錄呈請人寄來應呈送於商標局之商標印版對於其由輸入日起在一個年以內重行輸出者應一律照左開各款免稅處理除分行外合亟令仰該稅關長即便遵照辦理此令

計開

一 欲受商標印版輸入稅之免除時應使商標登錄手續代理人將詳載印版之種類、名稱、個數、價格、製作地、運往地及登錄呈請人住所姓名之呈請書連同可發證明其爲商標手續代理人之文件一併呈遞於輸入地之稅關

二 輸入之際應使其提交等於輸入稅額之擔保託存或保證書

三 輸入原物之再輸出手續應使其在最初爲輸入手續之稅關行之

四 爲前款所載之再輸出手續時應使其呈繳在輸入時發給之放行單或此代用之證據文件

五 對於以郵政包裹輸出入之商標印版則不照前列各款之例應依實業部商標局之證明以免除或退還其輸出入

ノ登錄出願人ヨリ取寄セ商標局ニ提出スル爲メ輸入スル商標印版ニシテ輸入ノ日ヨリ一年以內ニ再ビ輸出スルモノニ對シテハ左記各號ニ依リ免稅ノ取扱ヲ爲スベシ

記

一 商標印版ノ輸入稅ノ免除ヲ受ケントスル場合ハ商標登錄手續代理人ヲシテ印版ノ種類、名稱、箇數、價格、製作地、仕出地及登錄出願人ノ住所氏名ヲ記載シクル申請書ニ商標手續代理人タルコトヲ證スベキ書類ヲ添ヘ輸入地ノ稅關ニ提出セシム

二 輸入ノ際ハ輸入稅ニ相當スル擔保ノ供託又ハ保證書ヲ提出セシムベシ

三 輸入原品ノ再輸出手續ヲ最初輸入手續ヲ爲シタル稅關ニ於テ之ヲ爲サシム

四 前號再輸出手續ヲ爲ス場合ハ輸入ノ際發給シタル旅行單又ハ之ニ代ハルベキ證據書類ヲ提出セシムベシ

五 小包郵便ニ依リ輸出入スル商標印版ニ付テハ前各號ノ例ニ依ラズ實業部商標局ノ證明ニ依リ其ノ輸出入稅ノ免稅又ハ拂



一日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關  
スル協定締結茲關係公文交換ノ件  
右別紙ノ通本院ニ於テ決議上奏候條此段  
及通牒候也

昭和十一年六月二十四日

樞密院議長男爵平沼騏一郎

內閣總理大臣廣田弘毅殿

臣等日本國滿洲國間工業所有權相互保護  
ニ關スル協定締結並關係公文交換ノ件  
諮詢ノ命ヲ恪ニ本月二十四日ヲ以テ審議ヲ  
盡シ之ヲ可決セリ乃チ謹テ上奏シ更ニ  
聖明ノ採擇ヲ仰ク

昭和十一年六月二十四日

樞密院議長男爵臣平沼騏一郎

極秘

日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關スル協定

日 本 國 本 日 十 二 月 十 六 年 十 和 昭 第 八 三 五 二 號 第 三 號

● 中華民國二十六年六月二十二日 第一四四四六號 外交部

## 日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關スル協定

大日本帝國政府及滿洲帝國政府ハ工業所有權ノ相互保護ヲ確保センガ爲左ノ如ク協定セリ

### 第一條

締約國ノ一方ノ臣民ハ法定ノ手續ヲ履行スルトキハ他方ノ領域内ニ於テ發明特許、實用新案、意匠及商標ニ付内國ノ臣民ト同一ノ保護ヲ受クベシ

### 第二條

締約國ノ一方ニ於テ發明特許ノ出願又ハ實用新案、意匠若ハ商標ノ登録出願ヲ合式ニ爲シタル者又ハ其ノ承繼人ハ他方ニ於テ出願ヲ爲スニ付優先權ヲ享有スベシ

前項ノ優先期間ハ發明特許、實用新案及意匠ニ在リテハ十二月、商標ニ在リテハ六月トス

### 第三條

締約國ノ一方ハ他方ニ於テ發明特許、實用新案及意匠ニ關シ手数料、特許料又ハ登録料ヲ徵セラ  
ルルコトナキモノトス

### 第四條

本協定ハ滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使ト滿洲帝國外交部大臣トノ間ニ協議ヲ以テ定ムル  
日ヨリ之ヲ實施ス

第五條

本協定ノ正文ハ日本文及漢文トシ日本文本文ト漢文本文トノ間ニ解釋ヲ異ニスルトキハ日本文本  
文ニ依リ之ヲ決ス

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本協定ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日即チ康德 年 月 日新京ニ於テ本書ニ通ヲ作成ス

滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使  
滿洲帝國外交部大臣

極秘

關於滿洲國與日本國間工業所有權互相保護之協定

(昭和十一年五月二十日 印刷)

## 關於滿洲國與日本國間工業所有權互相保護之協定

滿洲帝國政府及大日本帝國政府爲確保工業所有權之互相保護起見協定如左

### 第一條

締約國一方之臣民履行法定程序時在他方之領域內關於特許發明實用新案意匠及商標應享受與內國臣民相同之保護

### 第二條

在締約國一方合式爲特許發明之呈請或實用新案意匠及商標之註冊呈請者或其承繼人在他方關於爲呈請應享有優先權

前項優先期間在特許發明實用新案及意匠以十二箇月爲限在商標以六箇月爲限

### 第三條

締約國一方在他方關於特許發明實用新案及意匠免收手續費特許費或註冊費

### 第四條

本協定自滿洲帝國外交部大臣與滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使之間以協議所定之日起實施

之

第五條

本協定以漢文及日本文爲正文漢文原文與日本文原文間遇有解釋不同之處應以日本文原文爲準

爲此記名各員各奉本國政府之正當委任將本協定署名蓋印以昭信守

康德 年 月 日  
昭和 年 月 日  
於新京繕成本書兩份

滿洲帝國 外交部 大臣  
滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使



極秘

交換公文案

本公文ハ條約實施後モ之ヲ公表セズ

(昭和十一年五月二十日 印刷)

(往翰)

以書翰啓上致候陳者本使ハ本日附ノ日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關スル協定ニ關シ左ノ  
通閣下ニ提議スルノ光榮ヲ有シ候

「日滿兩國政府ノ一方ガ軍事上祕密ヲ要スル發明又ハ考案ニ付他方ニ於テ特許又ハ登録ノ出願  
ヲ爲シタル場合ニ於テ右一方ノ要請アリタルトキハ其ノ發明又ハ考案ハ他方ノ軍事上祕密ヲ要  
スル發明又ハ考案ト同一ノ取扱ヲ受クルモノトス」

本使ハ右ニ同意ナル旨ノ御回答ニ接スルヲ得バ幸甚ニ候  
本使ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

昭和 年 月 日 新京ニ於テ

滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使

滿洲帝國外交部大臣

閣下

(來翰)

滿洲帝國外交部大臣

爲

照復事關於本日關於滿洲國與日本國間工業所有權互相保護之協定接准本日  
貴大使照會內有左項提議業經閱悉

滿日兩國政府之一方關於軍事上須守秘密之發明或考案在他方爲特許或註冊呈請時遇有上開一方  
之照請則該發明或考案受與他方之軍事上須守秘密之發明或考案相同之對待  
本大臣茲向

貴大使通告本大臣對於此項提議表示同意相應照復

貴大使查照可也須至照會者

右 照 會

滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使

康德 年 月 日於新京

(來翰譯文)

以書翰啓上致候陳者本日附ノ滿洲國日本國間工業所有權相互保護ニ關スル協定ニ關シ本日附貴翰ヲ以テ左ノ通御提議相成敬承致候

「日滿兩國政府ノ一方ガ軍事上祕密ヲ要スル發明又ハ考案ニ付他方ニ於テ特許又ハ登録ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ右一方ノ要請アリタルトキハ其ノ發明又ハ考案ハ他方ノ軍事上祕密ヲ要スル發明又ハ考案ト同一ノ取扱ヲ受クルモノトス」

本大臣ハ右ニ對シ同意ナル旨閣下ニ通告スルノ光榮ヲ有シ候  
本大臣ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

康德 年 月 日新京ニ於テ

滿洲帝國外交部大臣

滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使

閣下

外甲六六

昭和十一年六月二十五日

内閣書記官長

内閣書記官

昭和十一年六月二十五日

内閣總理大臣 **近**

法制局長官



外務大臣

**近**

陸軍大臣

**近**

文部大臣

**近**

逓信大臣

**近**

内務大臣

**近**

海軍大臣

**近**

農林大臣

**近**

鐵道大臣

**近**

大藏大臣

**近**

司法大臣

**近**

商工大臣

**近**

拓務大臣

**近**

別紙外務大臣請議日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關スル協定公布方請議ノ件ヲ審査スルニ右ハ相當ノ儀



ト思考ス依テ請議ノ通條約公布ノコ  
トニ閣議決定セラレ可然ト認ム

條約公布案

呈案ノ通

法制局

川島

法制局外第一九号

六月廿四日

主任者 條約局第一課長

條一機密第三九八號

昭和十一年六月二十四日

外務大臣 有田 八郎



内閣總理大臣 廣田 弘毅 殿

日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關スル  
協定公布方請議ノ件

滿洲國新京ニ於テ帝國特命全權大使力滿洲帝國外交部大臣ト共ニ近  
ク署名調印スヘキ日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關スル協定  
公布方可然御取計相成様致度別紙公布案相添ヘ此段及請議候也  
追テ調印濟ノ節ハ其ノ旨直ニ通報ニ可及候

外甲六六

外務省

尙公布案文書ハ左記ノ通ニ有之候

記

一 上諭文案

二部

二 協定ノ日本文

五部

三 協定ノ漢文

五部

外務省

は(イ)



朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十一年六月二十九日新京ニ於テ帝國特命全權大使ガ滿洲帝國外交部大臣ト共ニ署名調印シタル日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關スル協定ヲ茲ニ公布セシム

御名 御璽

昭和十一年六月三十日

內閣總理大臣

外務大臣

商工大臣

# 條約第六號

## 日本國滿洲國間工業所有權相互保護ニ關スル協定

大日本帝國政府及滿洲帝國政府ハ工業所有權ノ相互保護ヲ確保センガ爲左ノ如ク協定セリ

### 第一條

締約國ノ一方ノ臣民ハ法定ノ手續ヲ履行スルトキハ他方ノ領域内ニ於テ發明特許、實用新案、意匠及商標ニ付内國ノ臣民ト同一ノ保護ヲ受クベシ

### 第二條

締約國ノ一方ニ於テ發明特許ノ出願又ハ實用新案、意匠若ハ商標ノ登録出願ヲ合式ニ爲シタル者又ハ其ノ承繼人ハ他方ニ於テ出願ヲ爲スニ付優先權ヲ享有スベシ

前項ノ優先期間ハ發明特許、實用新案及意匠ニ在リテハ十二月、商標ニ在リテハ六月トス

### 第三條

締約國ノ一方ハ他方ニ於テ發明特許、實用新案及意匠ニ關シ手数料、特許料又ハ登録料ヲ徵セラ  
ルルコトナキモノトス

### 第四條

本協定ハ滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使ト滿洲帝國外交部大臣トノ間ニ協議ヲ以テ定ムル  
日ヨリ之ヲ實施ス

第五條

本協定ノ正文ハ日本文及漢文トシ日本文本文ト漢文本文トノ間ニ解釋ヲ異ニスルトキハ日本文本  
文ニ依リ之ヲ決ス

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本協定ニ署名調印セリ

昭和十一年六月二十九日即チ康德三年六月二十九日新京ニ於テ本書ニ通ヲ作成ス

滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使

滿洲帝國外交部大臣

植田謙吉(印)  
張燕卿(印)

右漢文左ノ如シ

關於滿洲國與日本國間工業所有權互相保護之協定

滿洲帝國政府及大日本帝國政府爲確保工業所有權之互相保護起見協定如左

第一條

締約國一方之臣民履行法定程序時在他方之領域內關於特許發明實用新案意匠及商標應享受與內國臣民相同之保護

第二條

在締約國一方合式爲特許發明之呈請或實用新案意匠及商標之註冊呈請者或其承繼人在他方關於爲呈請應享有優先權

前項優先期間在特許發明實用新案及意匠以十二箇月爲限在商標以六箇月爲限

第三條

締約國一方在他方關於特許發明實用新案及意匠免收手續費特許費或註冊費

第四條

本協定自滿洲帝國外交部大臣與滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使之間以協議所定之日起實施